

2 生活介護における支援に関する調査

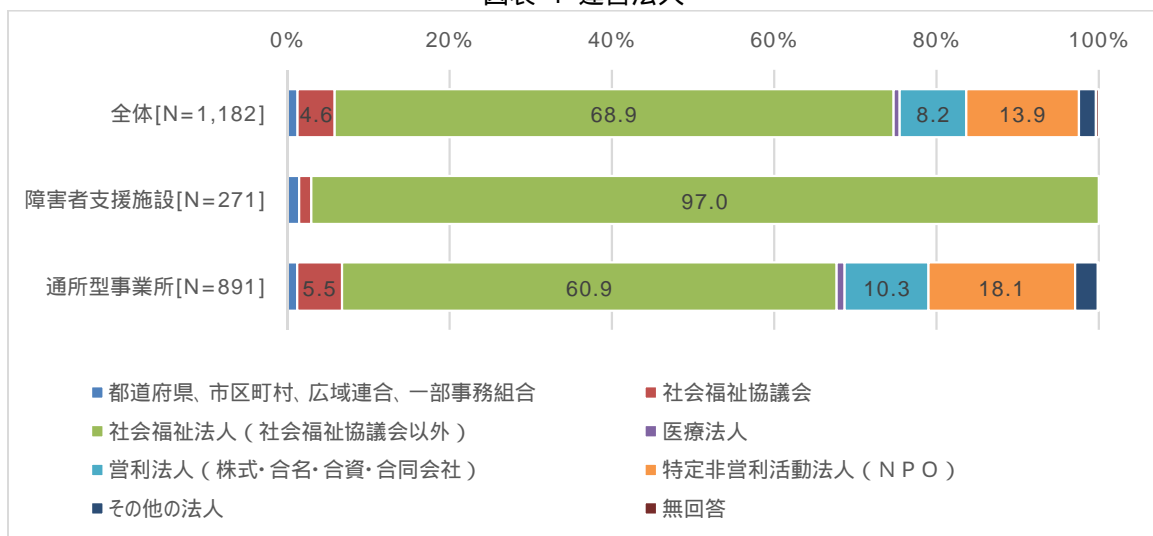
以下では、事業所の形態で、「障害者支援施設の昼間サービス」である事業所を「障害者支援施設」、それ以外を「通所型事業所」として事業所種別を区分し、集計値を表記している。

(1) 事業所の基本情報

運営法人

運営法人は、「社会福祉法人（社会福祉協議会以外）」が68.9%、「特定非営利活動法人（NPO）」が13.9%等となっている。

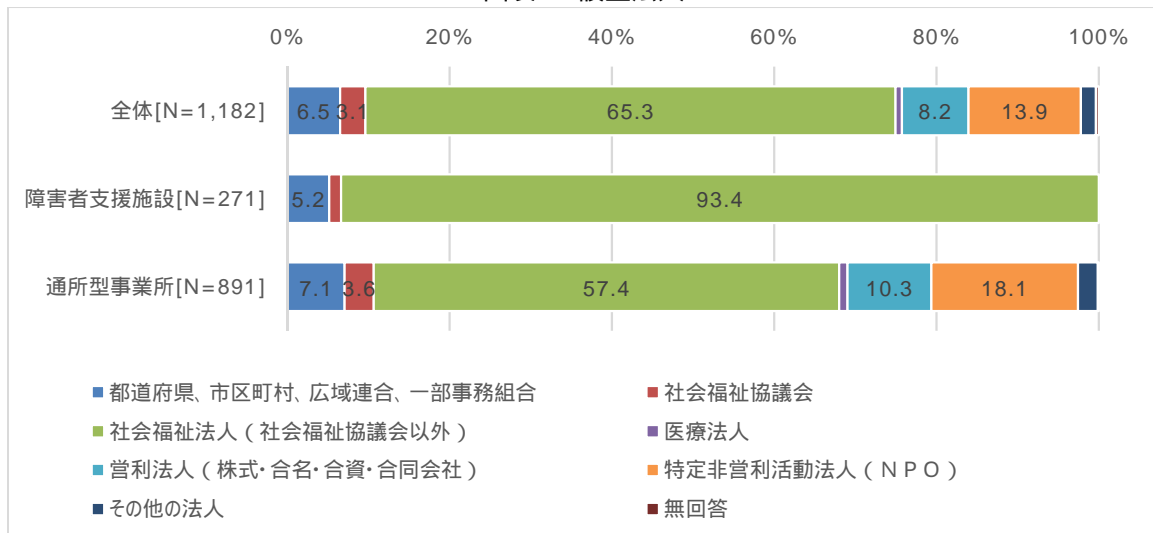
図表 1 運営法人



設置法人

設置法人は、「社会福祉法人（社会福祉協議会以外）」が65.3%、「特定非営利活動法人（NPO）」が13.9%等となっている。

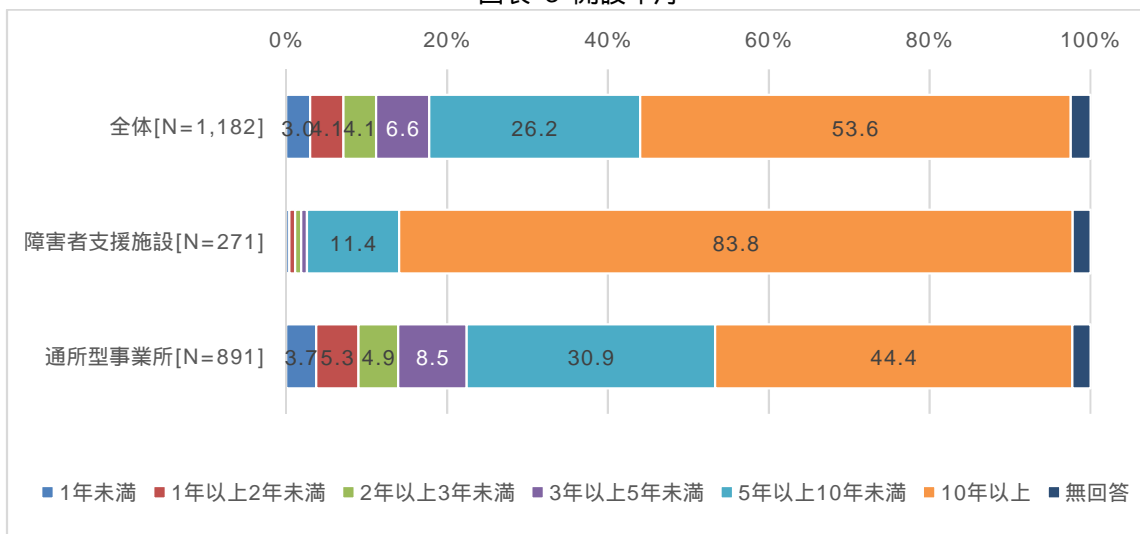
図表 2 設置法人



開設年月

事業所の開設年月は、「10年以上」が53.6%、「5年以上10年未満」が26.2%等となっている。

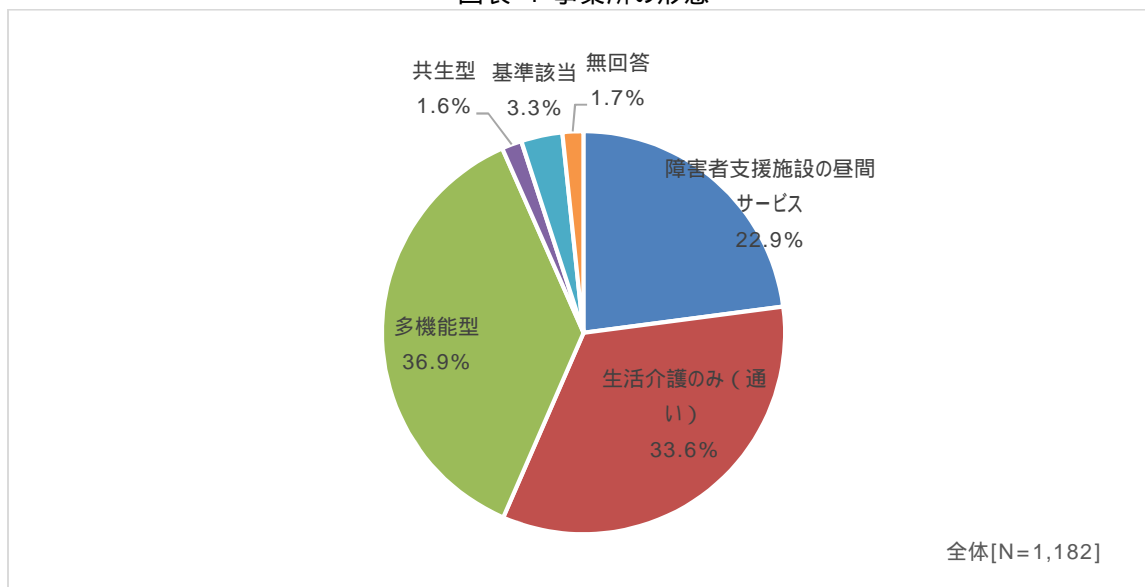
図表 3 開設年月



事業所の形態

事業所の形態は、「多機能型」が36.9%、「生活介護のみ（通い）」が33.6%、「障害者支援施設の昼間サービス」が22.9%となっている。

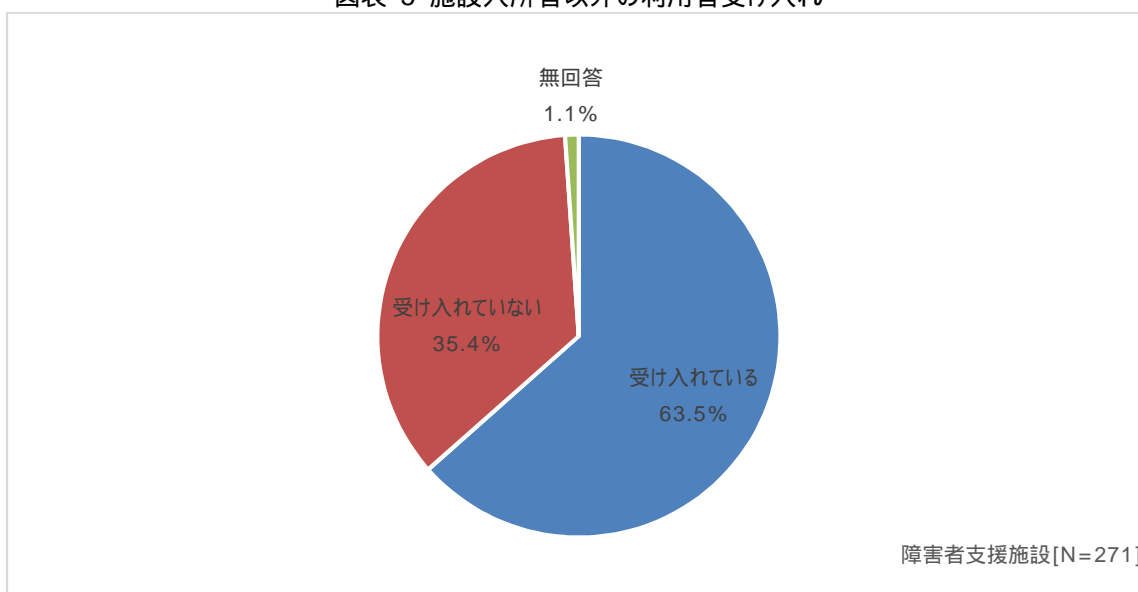
図表 4 事業所の形態



施設入所者以外の利用者受け入れ

「障害者支援施設の昼間サービス」の事業所に、施設入所者以外の利用者受け入れ状況について聞いたところ、「受け入れている」が63.5%、「受け入っていない」が35.4%となっている。

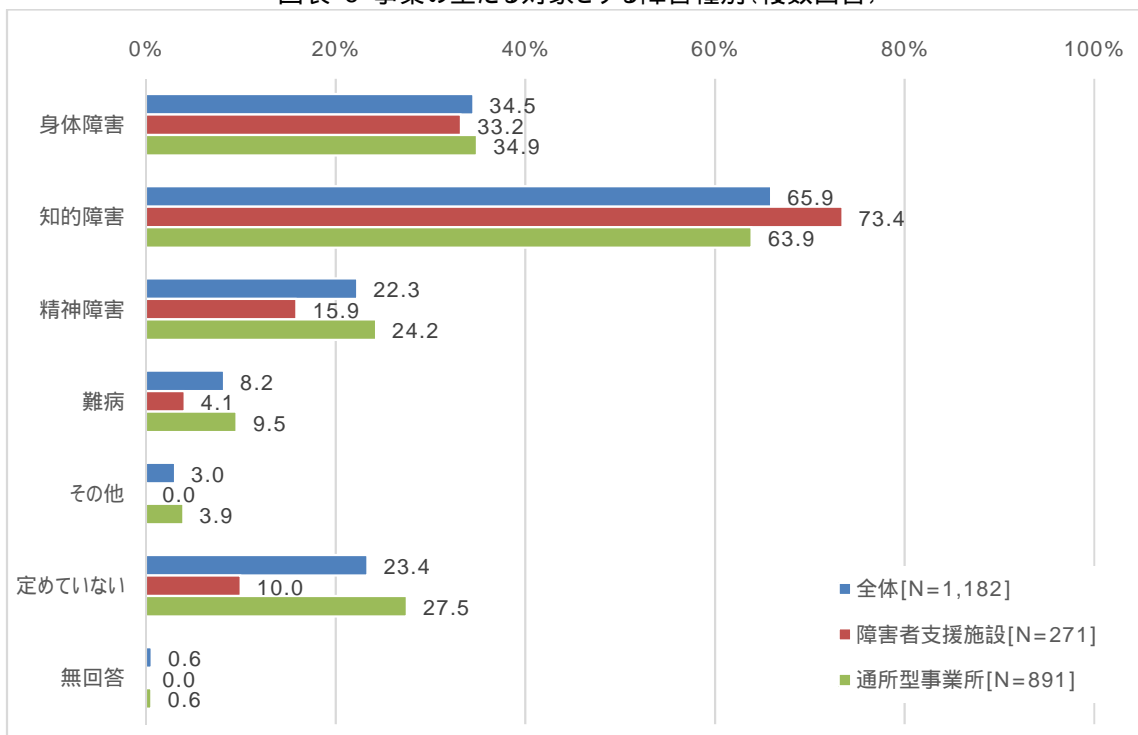
図表 5 施設入所者以外の利用者受け入れ



事業の主たる対象とする障害種別

事業の主たる対象とする障害種別は、「知的障害」が65.9%、「身体障害」が34.5%、「精神障害」が22.3%等となっている。「定めていない」は23.4%となっている。

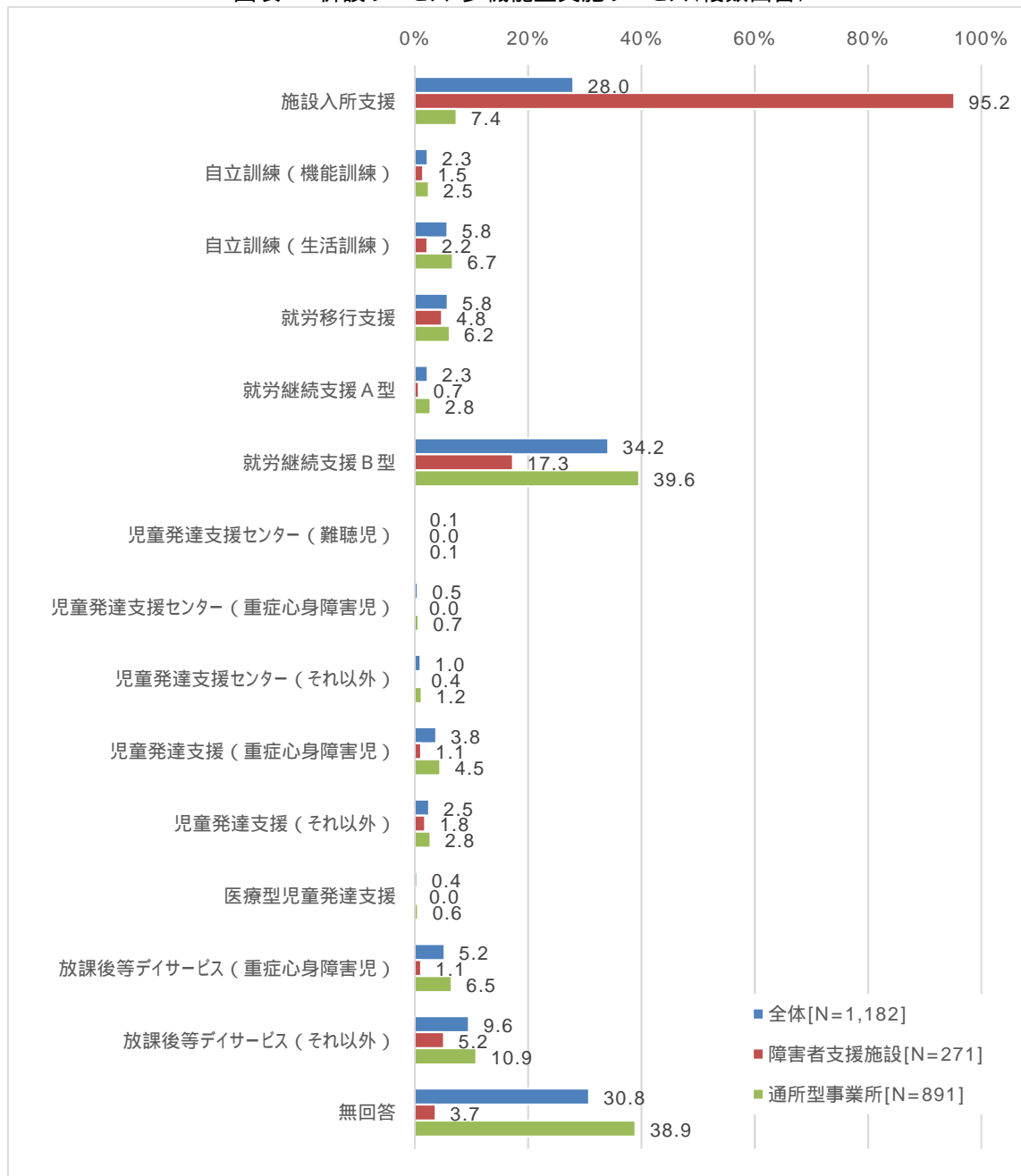
図表 6 事業の主たる対象とする障害種別 (複数回答)



併設サービス・多機能型実施サービス

事業所の併設サービス・多機能型実施サービスは、「就労継続支援B型」が34.2%、「施設入所支援」が28.0%等となっている。併設サービス・多機能型実施サービスのない事業所（無回答）は30.8%となっている。

図表 7 併設サービス・多機能型実施サービス(複数回答)



生活介護の定員数等

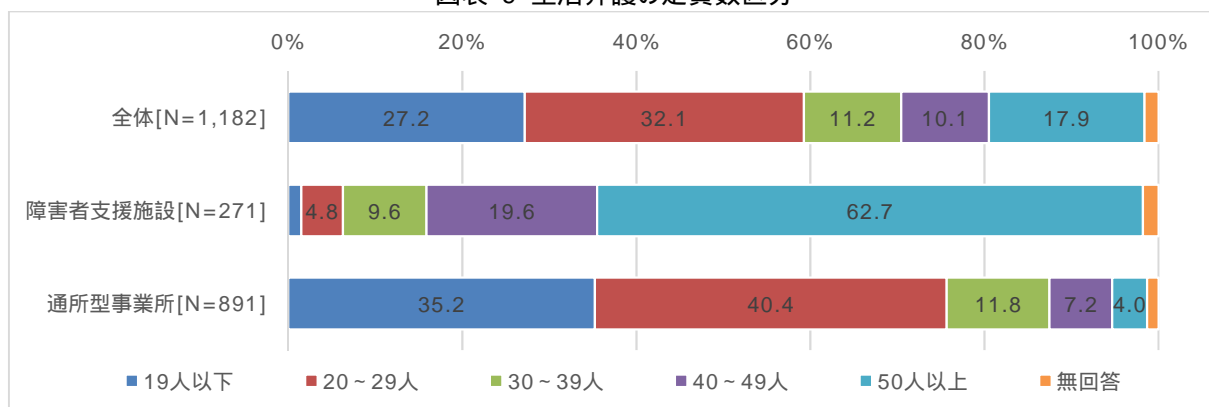
生活介護の定員数は平均で29.3人となっている。令和元年9月の開所日数は平均で21.7日となっている。

生活介護の定員数を区分して見ると、「20～29人」が32.1%、「19人以下」が27.2%、「19人以上」が17.9%、「30～39人」が11.2%、「40～49人」が10.1%となっている。障害者支援施設では「50人以上」、通所型事業所では「20～29人」と「19人以下」が多くなっている。

図表 8 生活介護の定員数等

平均値	全体[N=1,163]	障害者支援施設 [N=266]	通所型事業所 [N=879]
定員数(人)	29.3	53.8	21.6
開所日数(日/月)	21.7	22.8	21.4

図表 9 生活介護の定員数区分



運営規程上の営業日

運営規程上の営業日と営業時間を聞いたところ、平日は、ほとんどの事業所が営業日としており、令和元年9月の営業時間は平均で7.3時間となっている。令和元年9月の土曜日の営業は47.9%、日祝日の営業は20.3%となっている。

図表 10 営業日(平日)

(%)	令和元年9月			平成30年9月			平成30年3月		
	全体 [N=1,182]	障害者支援施設 [N=271]	通所型事業所 [N=891]	全体 [N=1,182]	障害者支援施設 [N=271]	通所型事業所 [N=891]	全体 [N=1,182]	障害者支援施設 [N=271]	通所型事業所 [N=891]
営業日	98.8	98.9	99.0	95.5	98.5	94.8	93.1	98.5	91.6
休業日	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3
無回答	1.2	1.1	1.0	4.2	1.5	4.8	6.7	1.5	8.1

図表 11 営業時間(平日)

平均値(時間)	令和元年9月			平成30年9月			平成30年3月		
	全体 [N=1,160]	障害者支援施設 [N=265]	通所型事業所 [N=878]	全体 [N=1,120]	障害者支援施設 [N=263]	通所型事業所 [N=841]	全体 [N=1,087]	障害者支援施設 [N=262]	通所型事業所 [N=810]
営業時間	7.3	7.8	7.2	7.3	7.8	7.2	7.3	7.8	7.2

図表 12 営業日(土曜日)

(%)	令和元年9月			平成30年9月			平成30年3月		
	全体 [N=1,182]	障害者支援施設 [N=271]	通所型事業所 [N=891]	全体 [N=1,182]	障害者支援施設 [N=271]	通所型事業所 [N=891]	全体 [N=1,182]	障害者支援施設 [N=271]	通所型事業所 [N=891]
営業日	47.9	48.7	47.9	45.9	48.7	45.5	44.0	48.3	43.1
休業日	48.1	48.7	47.7	46.2	48.3	45.3	45.7	48.0	44.7
無回答	4.1	2.6	4.4	7.9	3.0	9.2	10.3	3.7	12.2

図表 13 営業時間(土曜日)

平均値(時間)	令和元年9月			平成30年9月			平成30年3月		
	全体[N=551]	障害者支援施設 [N=131]	通所型事業所 [N=413]	全体[N=527]	障害者支援施設 [N=130]	通所型事業所 [N=391]	全体[N=512]	障害者支援施設 [N=130]	通所型事業所 [N=377]
営業時間	7.0	7.6	6.9	7.1	7.7	6.9	7.0	7.7	6.7

図表 14 営業日(日祝日)

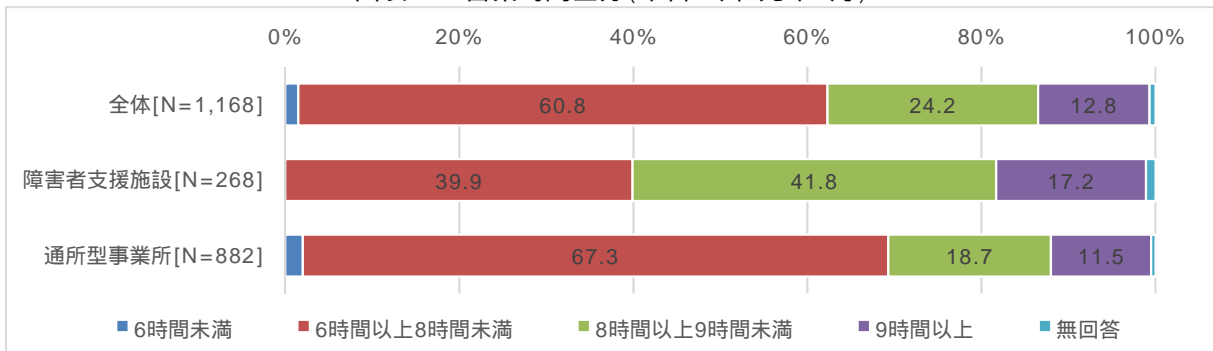
(%)	令和元年9月			平成30年9月			平成30年3月		
	全体 [N=1,182]	障害者支援施設 [N=271]	通所型事業所 [N=891]	全体 [N=1,182]	障害者支援施設 [N=271]	通所型事業所 [N=891]	全体 [N=1,182]	障害者支援施設 [N=271]	通所型事業所 [N=891]
営業日	20.3	31.4	17.3	18.2	30.3	14.8	17.9	28.8	14.8
休業日	74.5	64.2	77.4	72.6	64.6	75.0	70.3	65.3	71.7
無回答	5.2	4.4	5.3	9.2	5.2	10.2	11.8	5.9	13.5

図表 15 営業時間(日祝日)

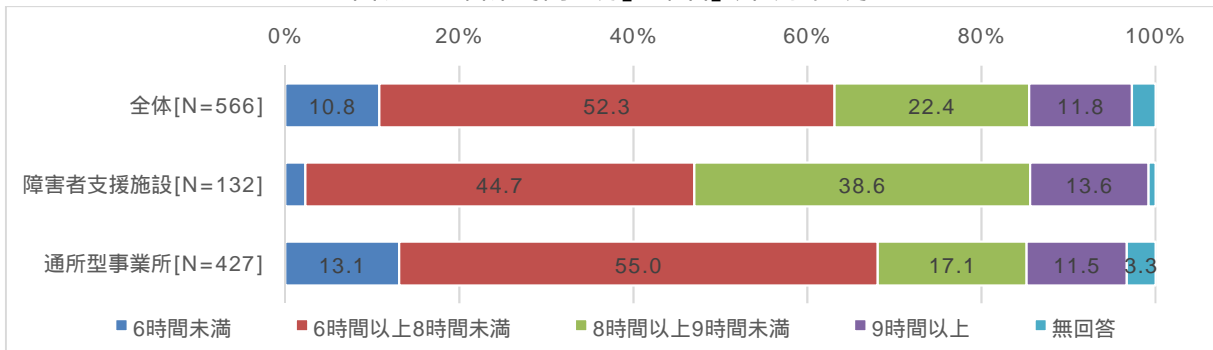
平均値(時間)	令和元年9月			平成30年9月			平成30年3月		
	全体[N=219]	障害者支援施設 [N=82]	通所型事業所 [N=136]	全体[N=195]	障害者支援施設 [N=79]	通所型事業所 [N=115]	全体[N=187]	障害者支援施設 [N=75]	通所型事業所 [N=111]
営業時間	7.5	7.9	7.2	7.6	7.9	7.4	7.5	7.9	7.3

営業時間について区分して見ると、令和元年9月では、平日で「6時間以上8時間未満」が60.8%、「8時間以上9時間未満」が24.2%となっている。土曜日は「6時間以上8時間未満」が52.3%、「8時間以上9時間未満」が22.4%となっている。日祝日は「6時間以上8時間未満」が50.0%、「8時間以上9時間未満」が25.8%となっている。

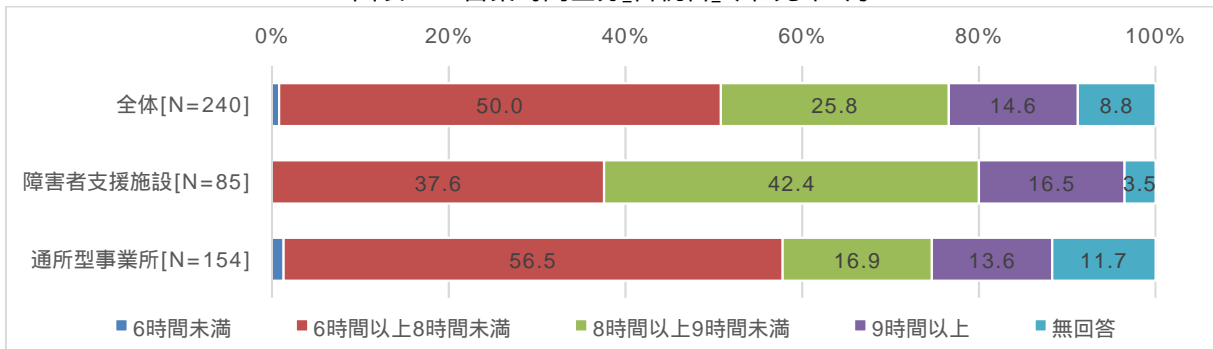
図表 16 営業時間区分(平日・令和元年9月)



図表 17 営業時間区分_土曜日_令和元年9月



図表 18 営業時間区分_日祝日_令和元年9月



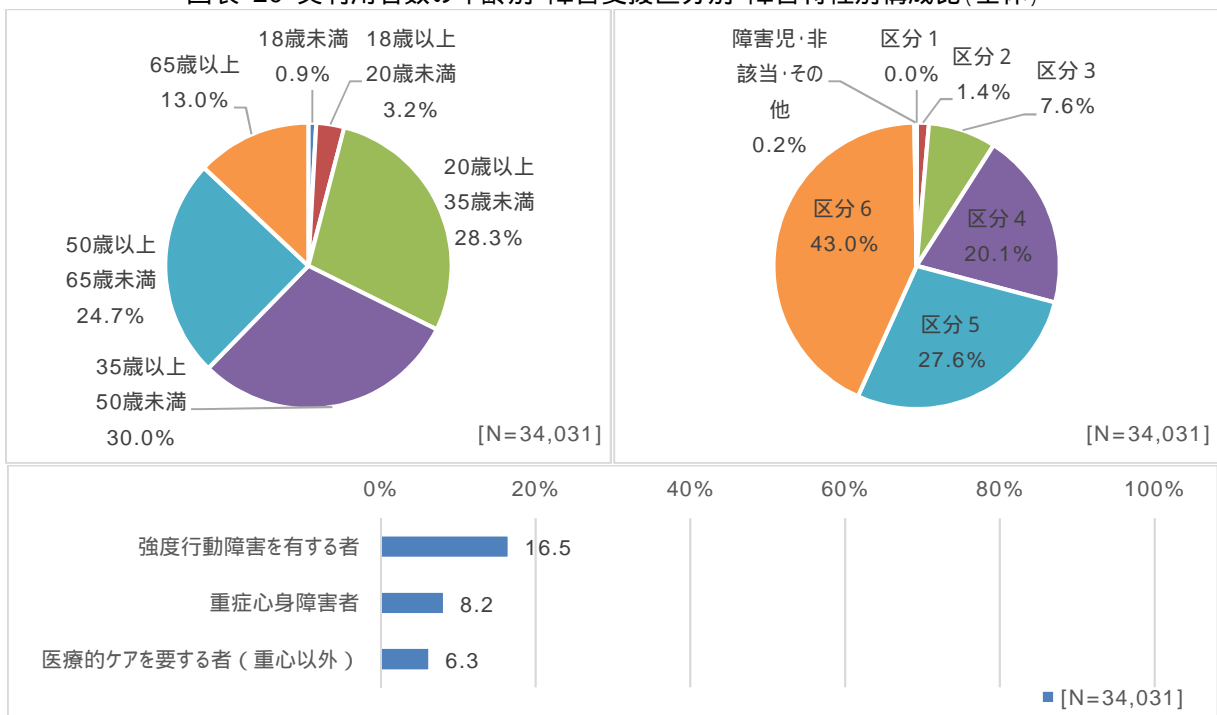
実利用者数

実利用者数は、平均で29.7人、年齢区分は35歳以上50歳未満が多くなっている。障害支援区分では区分6の利用者が多くなっている。

図表 19 実利用者数(全体)

平均値(人)	全体[N=1,145]						
	18歳未満	18歳以上 20歳未満	20歳以上 35歳未満	35歳以上 50歳未満	50歳以上 65歳未満	65歳以上	合計
区分1の利用者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
区分2の利用者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.4
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
区分3の利用者	0.0	0.1	0.4	0.6	0.8	0.4	2.3
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
区分4の利用者	0.0	0.2	1.7	1.8	1.5	0.7	6.0
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2
区分5の利用者	0.1	0.2	2.3	2.5	2.0	1.1	8.2
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.5	0.5	0.3	0.1	1.4
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1	0.4
区分6の利用者	0.1	0.4	4.0	3.9	2.8	1.6	12.8
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.1	1.0	1.3	0.7	0.2	3.2
うち、重症心身障害者	0.0	0.2	1.0	0.5	0.2	0.1	2.1
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.2	0.3	0.3	0.3	1.1
障害児・非該当・その他_その他の利用者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	0.3	0.9	8.4	8.9	7.3	3.9	29.7

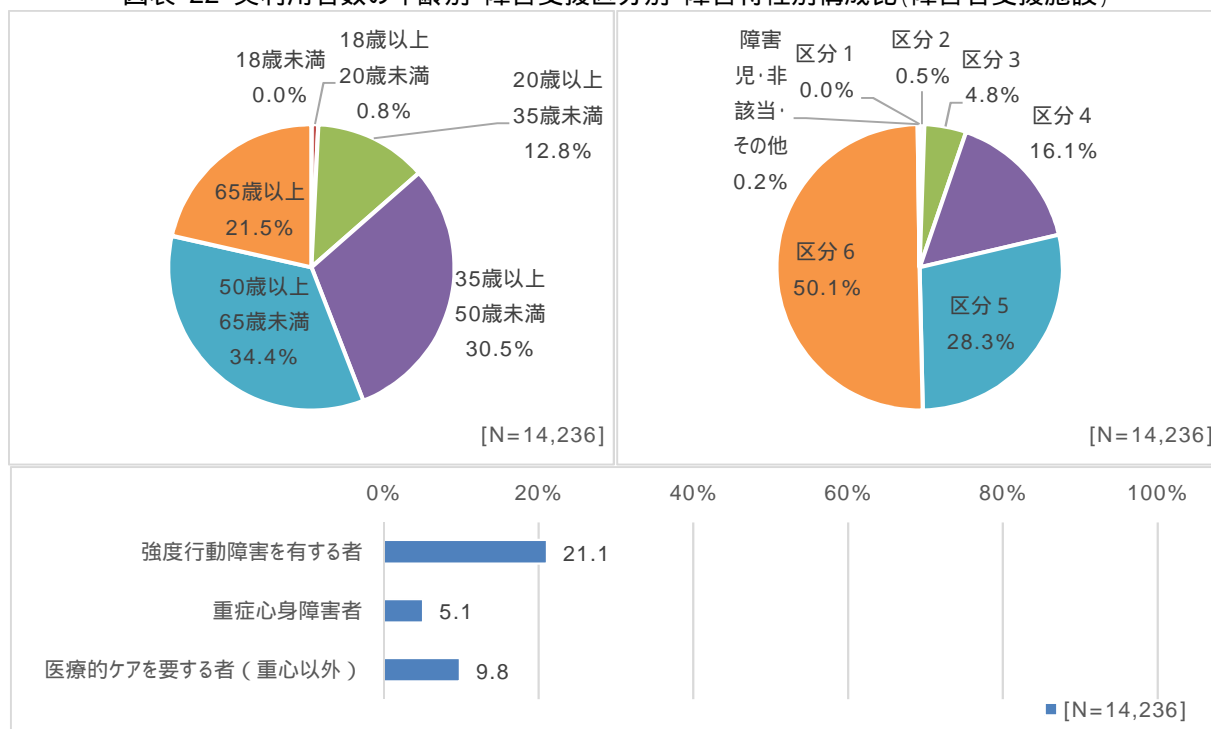
図表 20 実利用者数の年齢別・障害支援区分別・障害特性別構成比(全体)



図表 21 実利用者数(障害者支援施設)

平均値(人)	障害者支援施設[N=266]						
	18歳未満	18歳以上 20歳未満	20歳以上 35歳未満	35歳以上 50歳未満	50歳以上 65歳未満	65歳以上	合計
区分1の利用者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
区分2の利用者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
区分3の利用者	0.0	0.0	0.1	0.4	1.2	0.8	2.5
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
区分4の利用者	0.0	0.1	1.2	2.3	3.0	2.0	8.6
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.3
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.6
区分5の利用者	0.0	0.1	1.8	4.7	5.3	3.3	15.2
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.5	1.3	0.8	0.3	2.9
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.4
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.1	0.3	0.5	0.3	1.2
区分6の利用者	0.0	0.2	3.7	8.9	8.8	5.3	26.8
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	1.4	3.7	2.2	0.7	8.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.3	0.6	0.6	0.5	2.1
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.4	0.8	1.1	1.0	3.4
障害児・非該当・その他_その他の利用者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	0.0	0.4	6.8	16.3	18.4	11.5	53.5

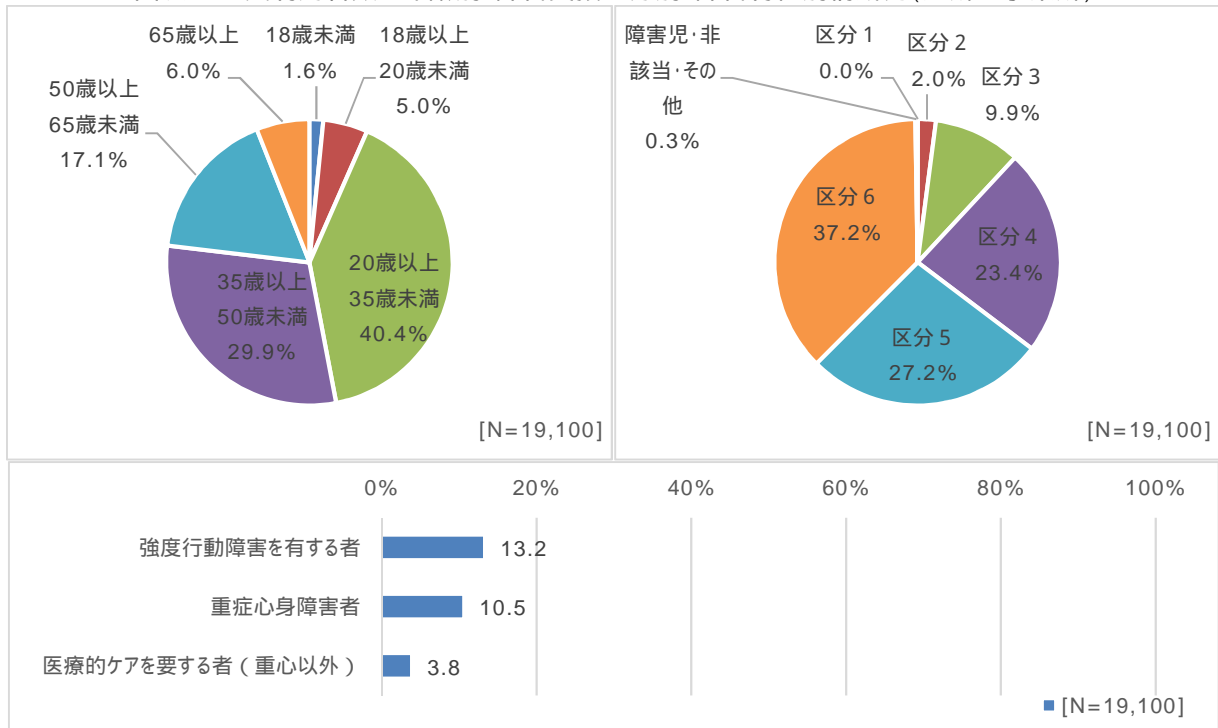
図表 22 実利用者数の年齢別・障害支援区分別・障害特性別構成比(障害者支援施設)



図表 23 実利用者数(通所型事業所)

平均値(人)	通所型事業所[N=863]						
	18歳未満	18歳以上 20歳未満	20歳以上 35歳未満	35歳以上 50歳未満	50歳以上 65歳未満	65歳以上	合計
区分1の利用者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
区分2の利用者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.4
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
区分3の利用者	0.0	0.1	0.5	0.6	0.7	0.2	2.2
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
区分4の利用者	0.1	0.3	1.9	1.7	1.0	0.3	5.2
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
区分5の利用者	0.1	0.3	2.5	1.9	1.0	0.3	6.0
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.5	0.3	0.1	0.0	1.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2
区分6の利用者	0.1	0.5	4.1	2.4	0.8	0.3	8.2
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.1	0.9	0.6	0.2	0.0	1.7
うち、重症心身障害者	0.0	0.2	1.2	0.5	0.1	0.0	2.1
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	0.5
障害児・非該当・その他_その他の利用者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	0.3	1.1	8.9	6.6	3.8	1.3	22.1

図表 24 実利用者数の年齢別・障害支援区分別・障害特性別構成比(通所型事業所)



障害種別の実利用者数

障害種別の実利用者数は、平均で身体障害が7.5人、知的障害が20.9人等となっている。

図表 25 障害種別の実利用者数

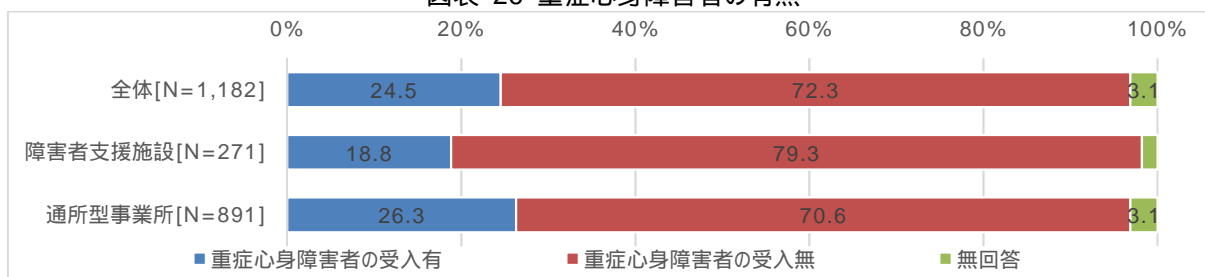
平均値（人）	全体[N=1,145]	障害者支援施設 [N=266]	通所型事業所 [N=863]
身体障害	7.5	15.4	5.1
知的障害	20.9	37.2	15.7
精神障害	1.1	0.8	1.1
難病等	0.2	0.1	0.2
合計	29.7	53.5	22.1
（再掲）発達障害	1.1	2.4	0.7
（再掲）高次脳機能障害	0.5	1.2	0.3

重症心身障害者の受け入れ

利用者に重症心身障害者がいる事業所（重症心身障害者の受け入れのある事業所）は72.3%、いない事業所は24.5%となっている。

利用者に重症心身障害者がいる事業所に、現在のサービス提供前に利用していたサービス別の重症心身障害者数を聞いたところ、平均で合計9.8人のうち、「日中支援サービスの利用なし」が3.3人、「他の事業所の生活介護」が2.7人等となっている。

図表 26 重症心身障害者の有無



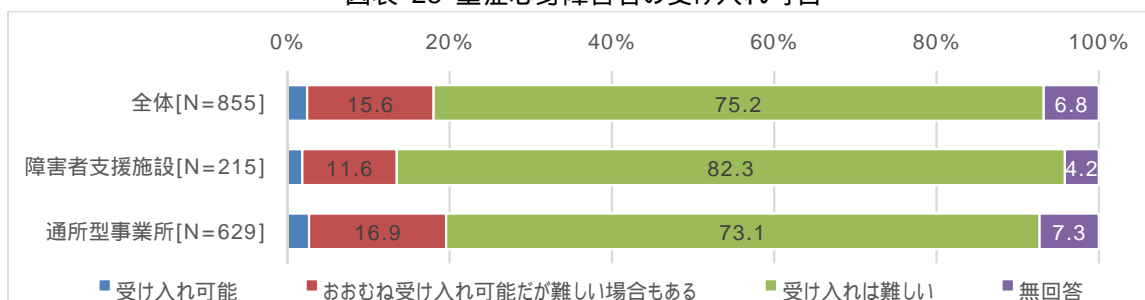
図表 27 重症心身障害者の従前利用サービス別人数

平均値（人）	全体[N=252]	障害者支援施設 [N=43]	通所型事業所 [N=206]
日中支援サービスの利用なし	3.3	4.1	3.0
他の事業所の生活介護	2.7	3.7	2.5
生活介護以外の日中支援サービス（障害者通所サービス）	0.8	0.7	0.8
障害児入所施設	0.7	2.8	0.2
放課後等デイサービス	1.0	0.1	1.2
その他	1.4	2.4	1.2
合計	9.8	13.8	8.9

重症心身障害者の受け入れ可否

利用者に重症心身障害者がいない事業所に、重症心身障害者の受け入れ可否について聞いたところ、「受け入れは難しい」が75.2%と多くなっている。

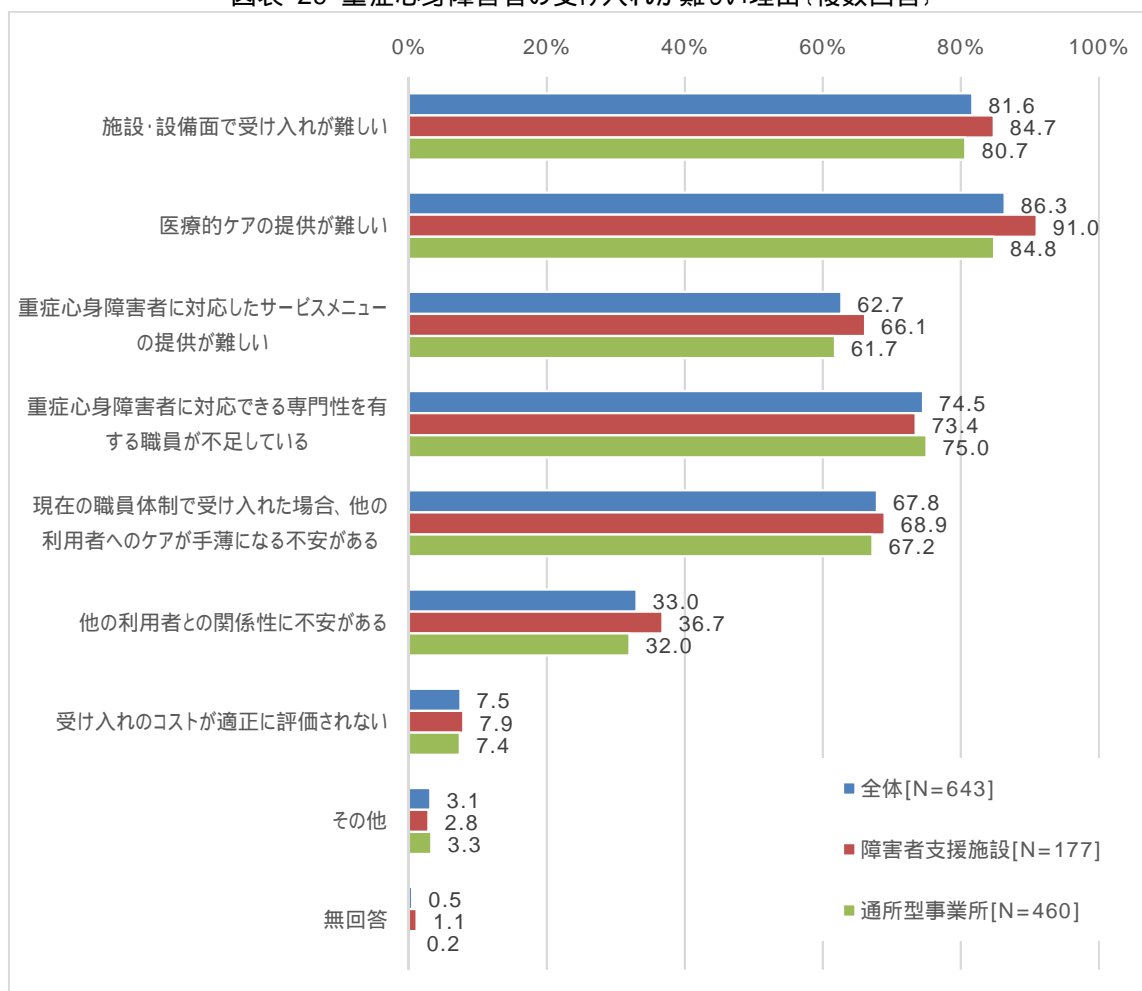
図表 28 重症心身障害者の受け入れ可否



重症心身障害者の受け入れが難しい理由

重症心身障害者の「受け入れは難しい」と回答した事業所に、その理由を聞いたところ、「医療的ケアの提供が難しい」が86.3%と最も多く、次いで、「施設・設備面で受け入れが難しい」が81.6%、「重症心身障害者に対応できる専門性を有する職員が不足している」が74.5%、「現在の職員体制で受け入れた場合、他の利用者へのケアが手薄になる不安がある」が67.8%等となっている。

図表 29 重症心身障害者の受け入れが難しい理由〔複数回答〕



1日平均利用時間別の実利用者数

令和元年9月における、1日平均利用時間別の実利用者数を聞いたところ、平均で「6時間以上7時間未満」が12.0人と最も多く、次いで、「7時間以上8時間未満」が6.4人となっている。また、「利用者1人あたりの1日平均利用時間」は、平均で378.6分（6.3時間）となっている。

図表 30 1日平均利用時間別の実利用者数

平均値（人）	全体 [N=1,124]	障害者支援施設 [N=264]	通所型事業所 [N=845]
3時間未満	0.3	0.2	0.4
3時間以上4時間未満	0.4	0.2	0.4
4時間以上5時間未満	0.7	0.5	0.8
5時間以上6時間未満	5.1	3.4	5.7
6時間以上7時間未満	12.0	14.2	11.4
7時間以上8時間未満	6.4	17.5	2.8
8時間以上	4.9	17.5	0.6
利用者1人あたりの1日平均利用時間（分）	378.6	428.5	361.2

生活介護の単位数

生活介護の単位数は1.0となっている。

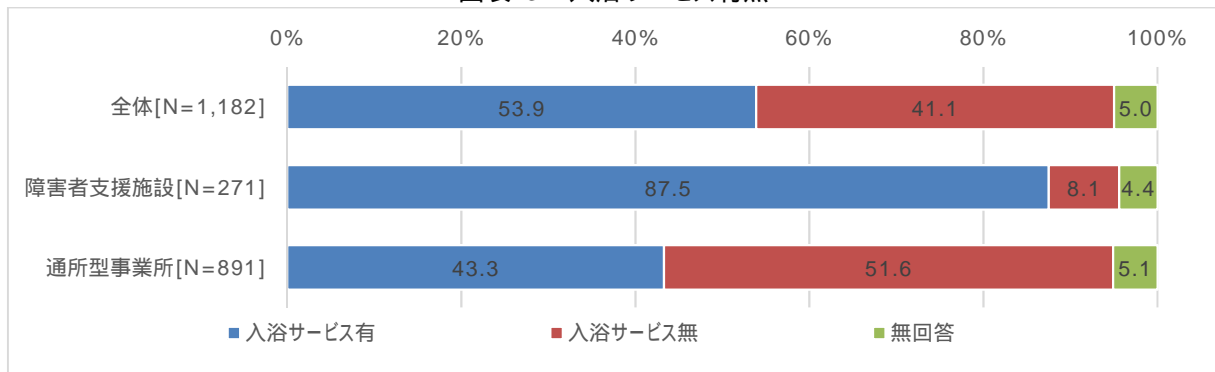
図表 31 生活介護の単位数

平均値（単位）	全体[N=969]	障害者支援施設 [N=231]	通所型事業所 [N=723]
生活介護の単位数	1.0	1.1	1.0

入浴サービスの延べ回数

令和元年9月の入浴サービスについて聞いたところ、入浴サービスの有無については、「入浴サービス有」が53.9%、「入浴サービス無」が41.1%となっている。入浴サービスを実施している事業所の延べ回数は、平均で149.9回となっている。

図表 32 入浴サービス有無



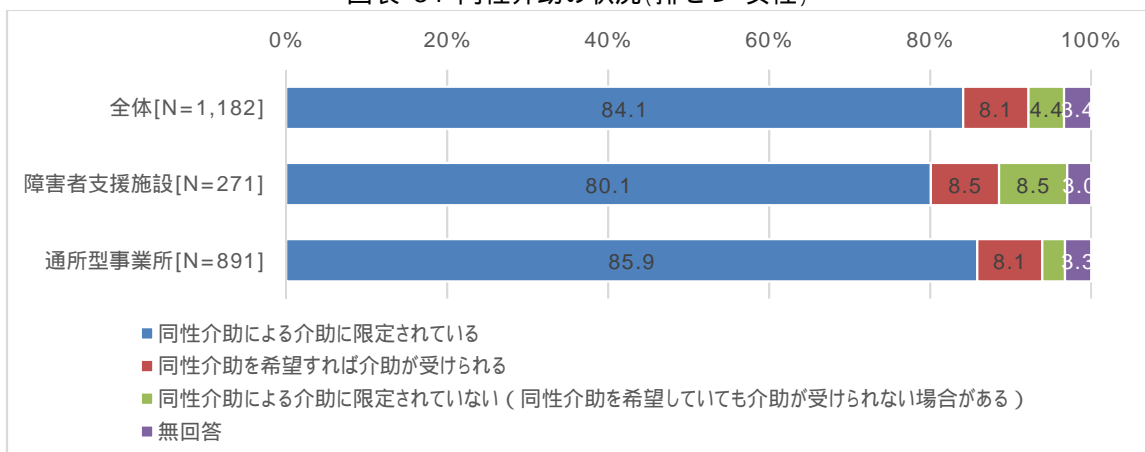
図表 33 入浴サービスの延べ回数

平均値（回）	全体[N=1,123]	障害者支援施設 [N=259]	通所型事業所 [N=846]
延べ回数	149.9	479.8	46.1

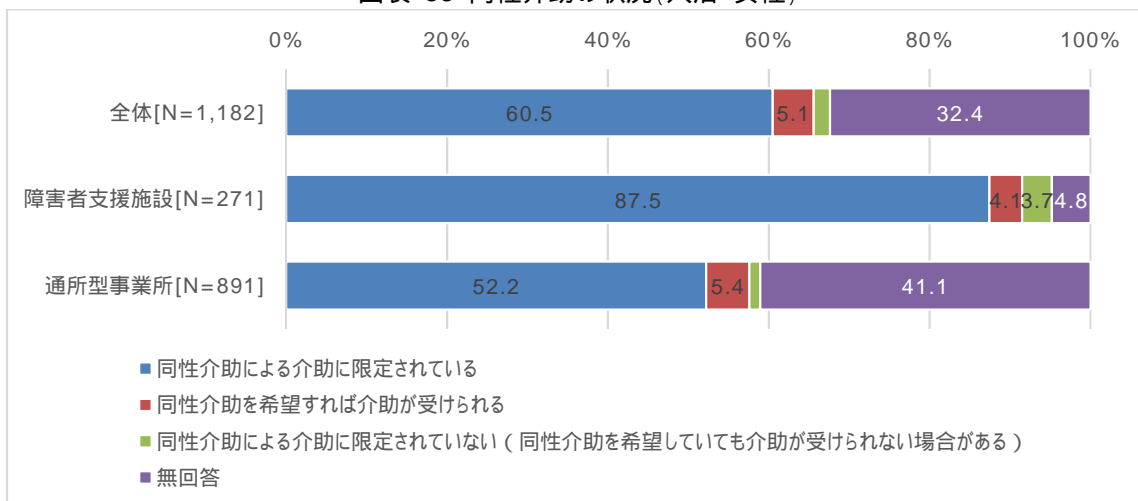
同性介助の状況

同性介助の状況は、女性で「同性介助による介助に限定されている」が比較的多くなっている。

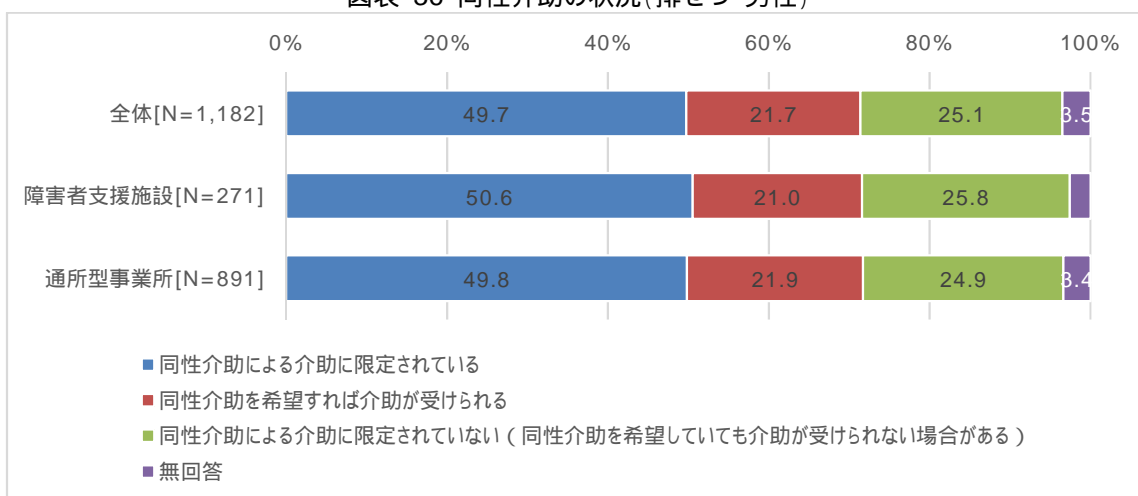
図表 34 同性介助の状況(排せつ・女性)



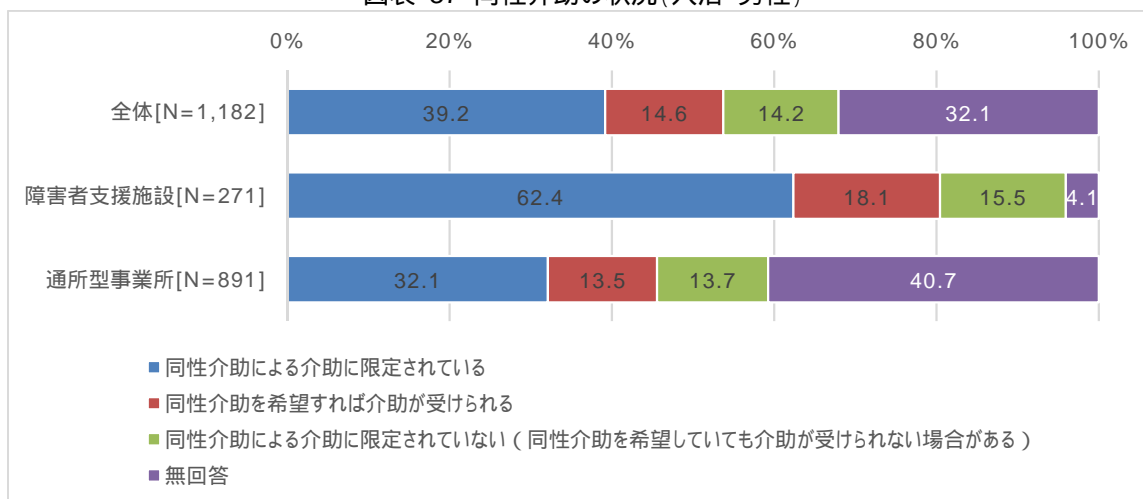
図表 35 同性介助の状況(入浴・女性)



図表 36 同性介助の状況(排せつ・男性)



図表 37 同性介助の状況(入浴・男性)



(2) 生活介護に従事する職員の状況等

生活介護に従事する職員の常勤換算数

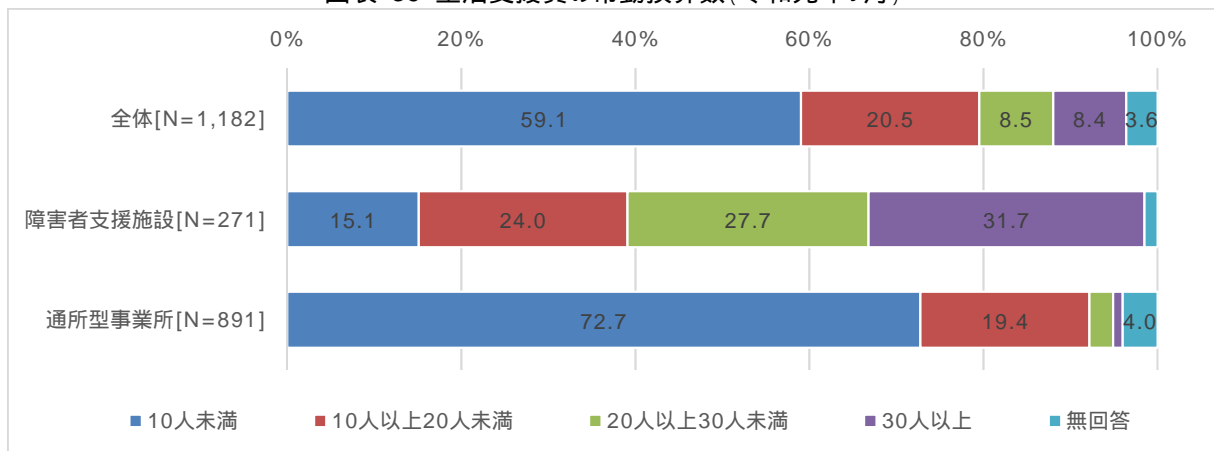
生活介護に従事する職員の常勤換算数を聞いたところ、令和元年9月で、「サービス管理責任者」が平均1.1人、「看護職員」が1.2人、「生活支援員」が11.7人となっている。

図表 38 生活介護に従事する職員の常勤換算数

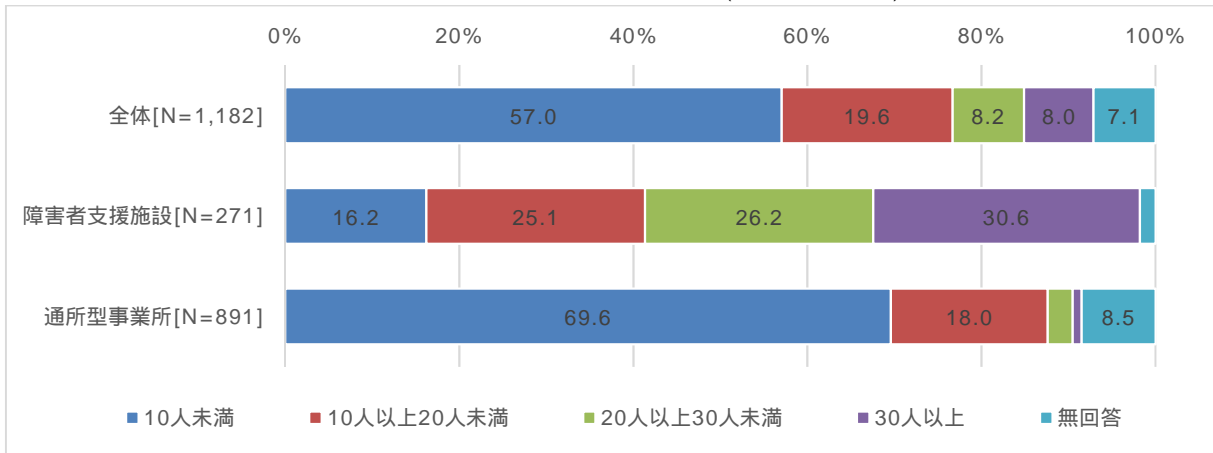
平均値（人）	全体		
	[N=1,139]	[N=1,098]	[N=1,067]
	令和元年9月	平成30年9月	平成30年3月
サービス管理責任者	1.1	1.1	1.1
看護職員	1.2	1.1	1.1
理学療法士	0.1	0.1	0.1
作業療法士	0.0	0.0	0.0
生活支援員	11.7	11.6	11.3
平均値（人）	障害者支援施設		
	[N=267]	[N=266]	[N=264]
	令和元年9月	平成30年9月	平成30年3月
サービス管理責任者	1.4	1.4	1.4
看護職員	2.0	1.9	1.9
理学療法士	0.2	0.2	0.2
作業療法士	0.1	0.1	0.1
生活支援員	25.8	25.0	23.6
平均値（人）	通所型事業所		
	[N=855]	[N=815]	[N=786]
	令和元年9月	平成30年9月	平成30年3月
サービス管理責任者	1.0	0.9	1.0
看護職員	0.9	0.9	0.9
理学療法士	0.1	0.1	0.1
作業療法士	0.0	0.0	0.0
生活支援員	7.2	7.1	7.1

生活支援員の常勤換算数の規模で区分すると、令和元年9月で、「10人未満」が59.1%、「10人以上20人未満」が20.5%、「20人以上30人未満」が8.5%、「30人以上」が8.4%となっている。

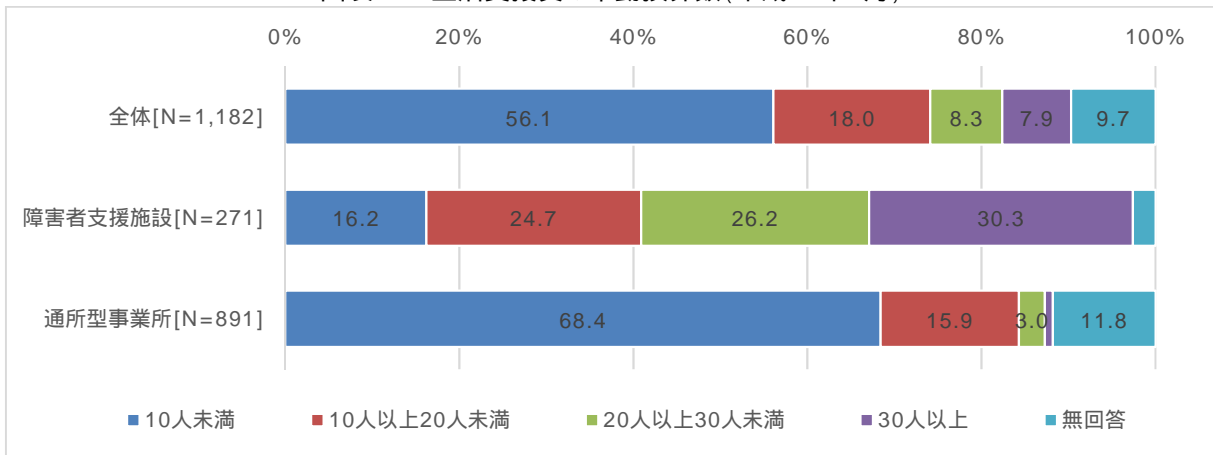
図表 39 生活支援員の常勤換算数(令和元年9月)



図表 40 生活支援員の常勤換算数(平成30年9月)

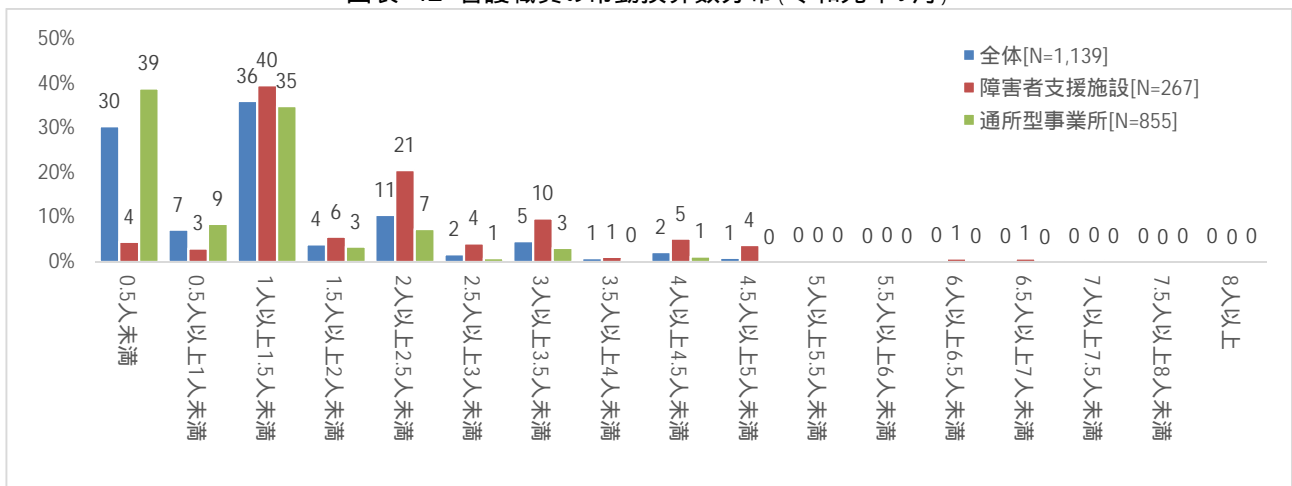


図表 41 生活支援員の常勤換算数(平成30年3月)

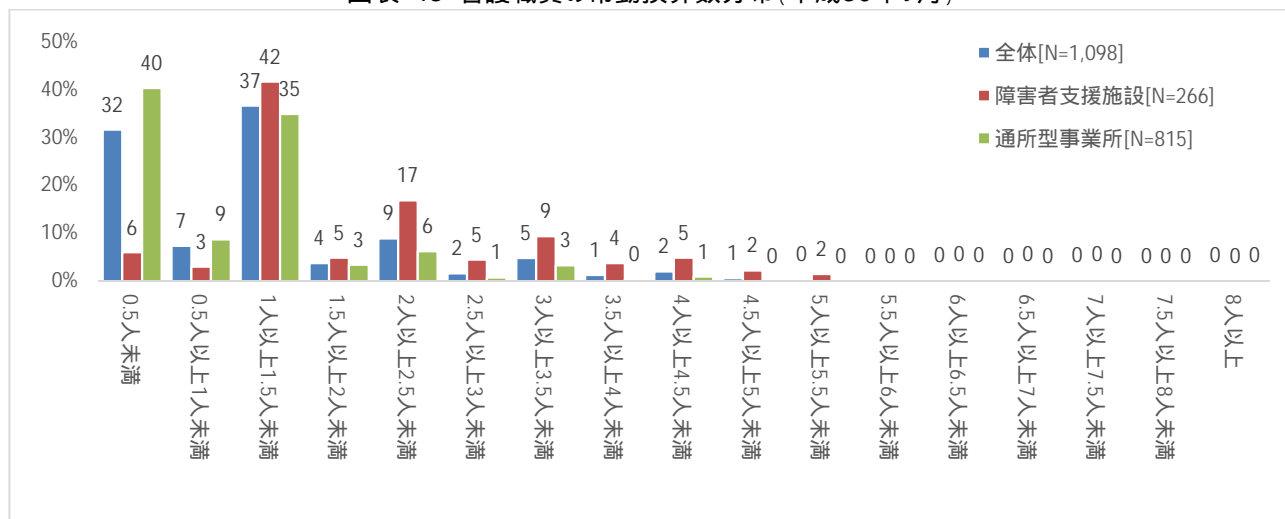


職員数のうち、看護職員と生活支援員の常勤換算職員数の分布は以下の通りとなっている。看護職員については1.0人以上1.5人未満、生活支援員については5人未満の事業所が多くなっている。

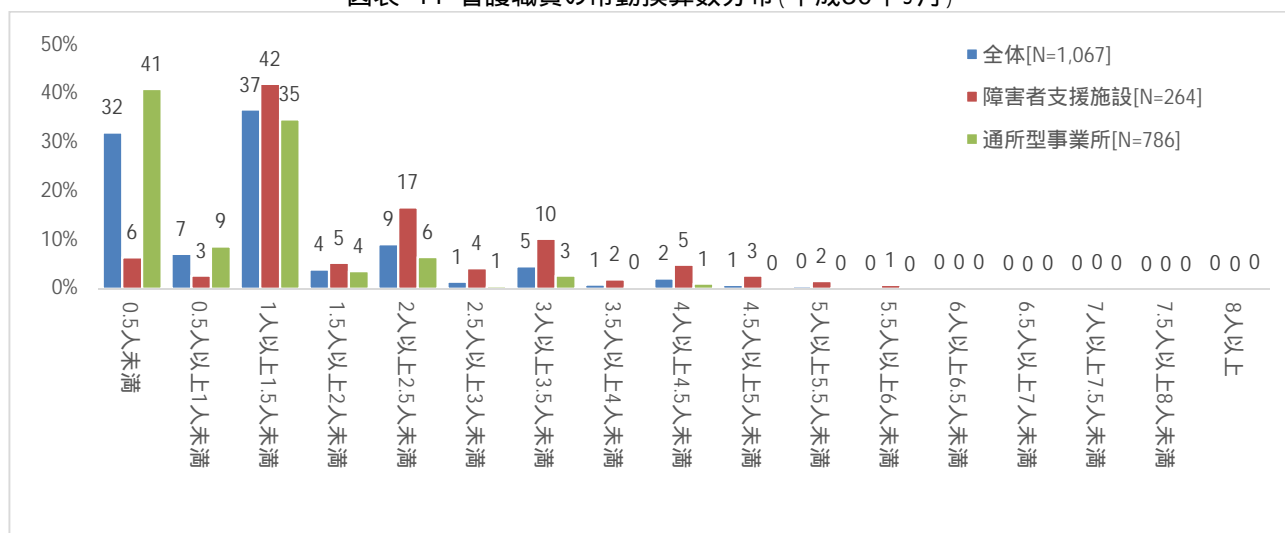
図表 42 看護職員の常勤換算数分布(令和元年9月)



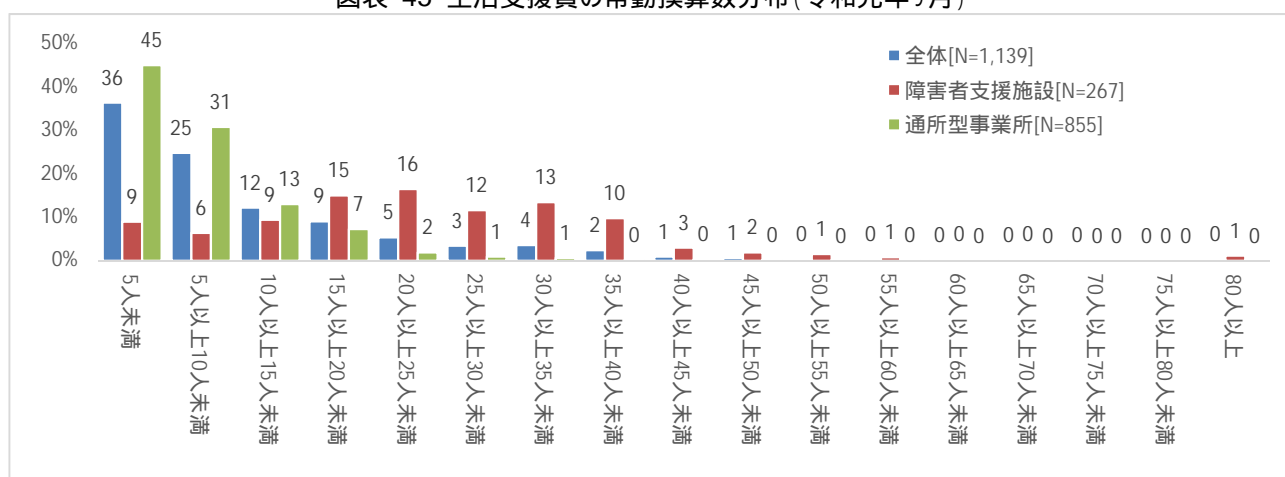
図表 43 看護職員の常勤換算数分布(平成30年9月)



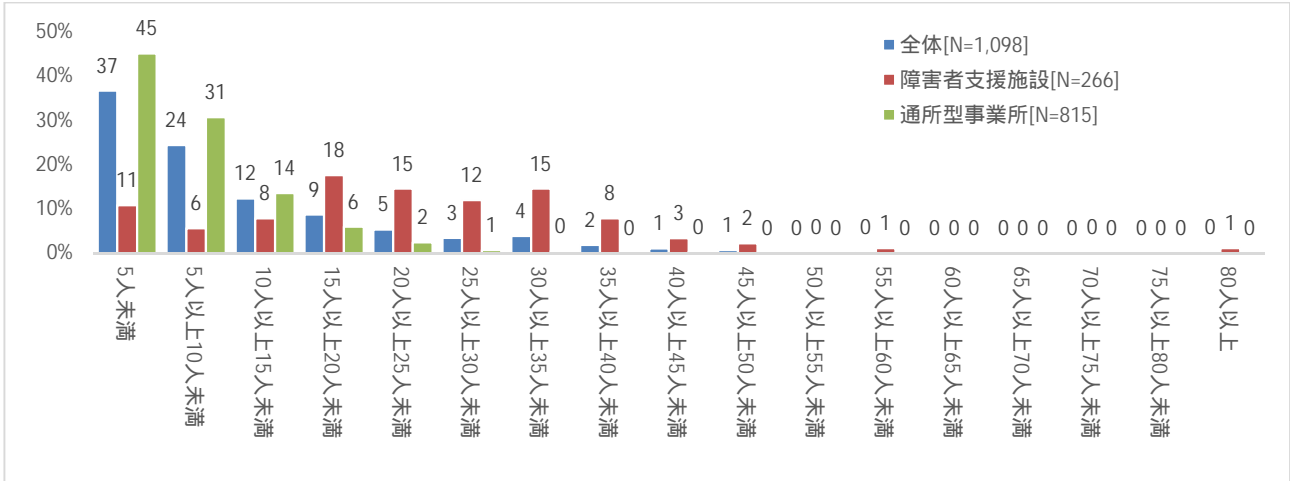
図表 44 看護職員の常勤換算数分布(平成30年3月)



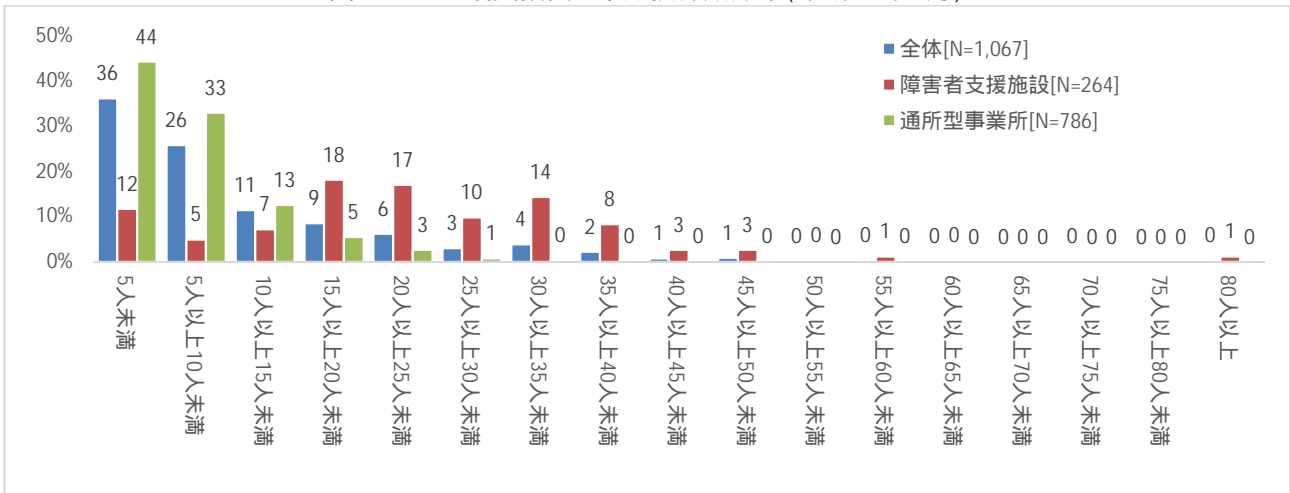
図表 45 生活支援員の常勤換算数分布(令和元年9月)



図表 46 生活支援員の常勤換算数分布 (平成30年9月)

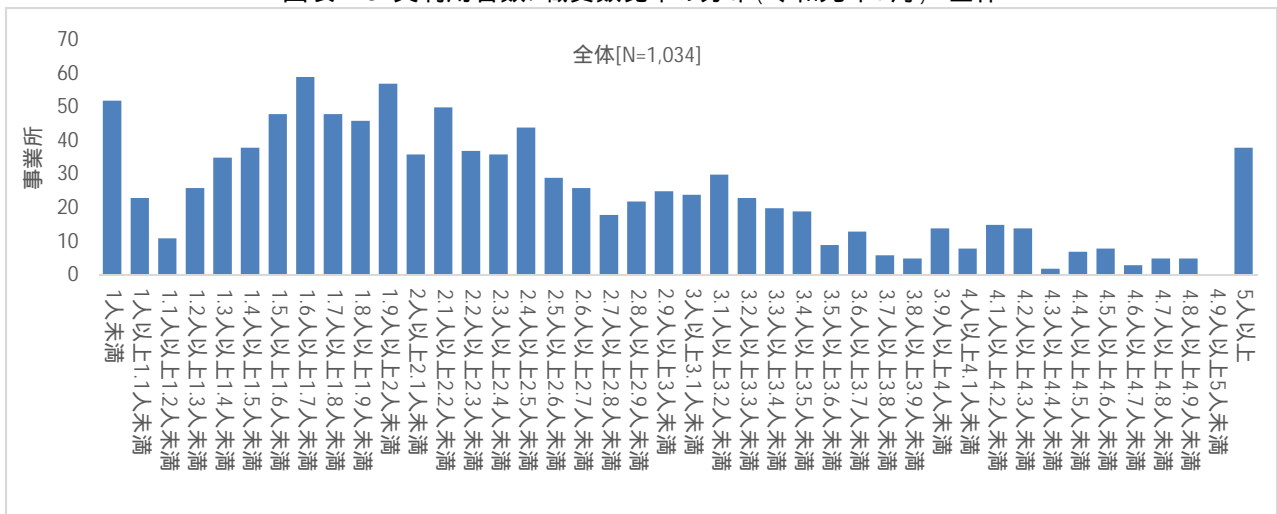


図表 47 生活支援員の常勤換算数分布 (平成30年3月)

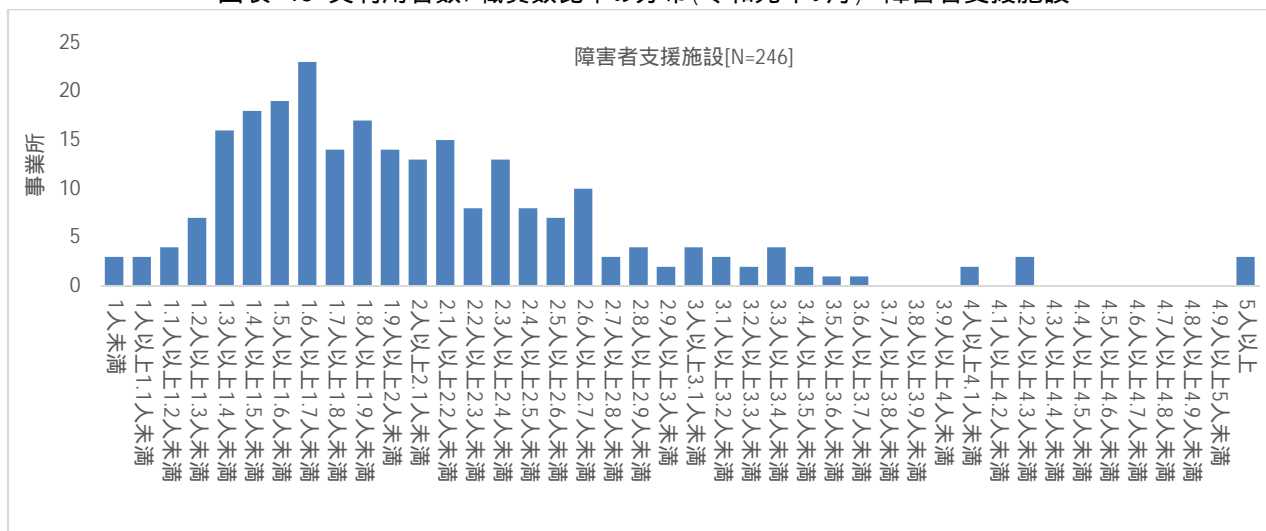


職員体制の規模を見るため、各事業所の令和元年9月の実利用者数と常勤換算職員数の比率（実利用者数/常勤換算職員数）を算定したところ、以下のようになった。「1.6以上1.7未満」～「1.9以上2.0未満」の層が多くなっている。

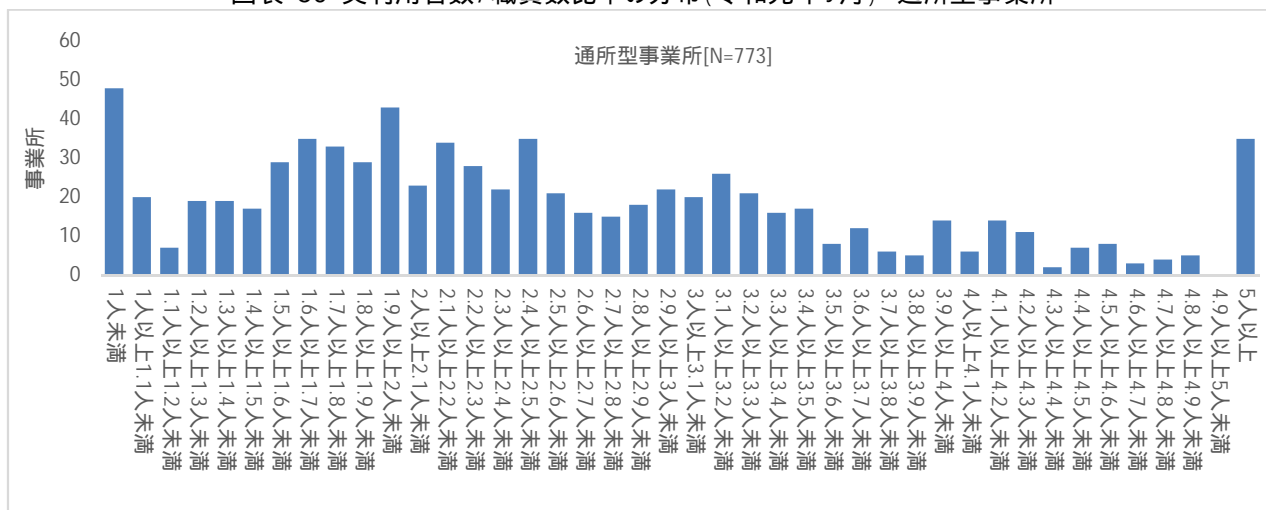
図表 48 実利用者数/職員数比率の分布 (令和元年9月) 全体



図表 49 実利用者数/職員数比率の分布(令和元年9月) 障害者支援施設



図表 50 実利用者数/職員数比率の分布(令和元年9月) 通所型事業所



職員の採用・退職状況

職員の採用・退職状況は、常勤の平均で採用1.6人、退職1.3人、非常勤の平均で採用1.2人、退職0.8人となっている。

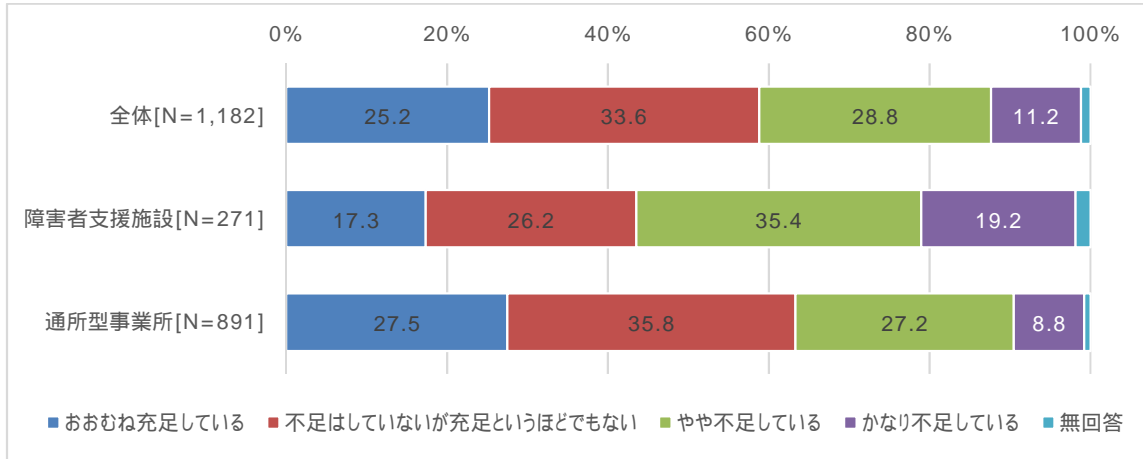
図表 51 職員の採用・退職状況

平均値(人)	全体[N=1,138]		障害者支援施設 [N=265]		通所型事業所[N=856]	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
採用	1.6	1.2	3.1	1.4	1.2	1.1
退職	1.3	0.8	2.7	1.0	0.8	0.8

生活介護に従事する職員の充足状況

生活介護に従事する職員の充足状況については、「不足はしていないが充足というほどでもない」が33.6%、「やや不足している」が28.8%、「やや不足している」が28.8%、「かなり不足している」が11.2%となっている。

図表 52 生活介護に従事する職員の充足状況

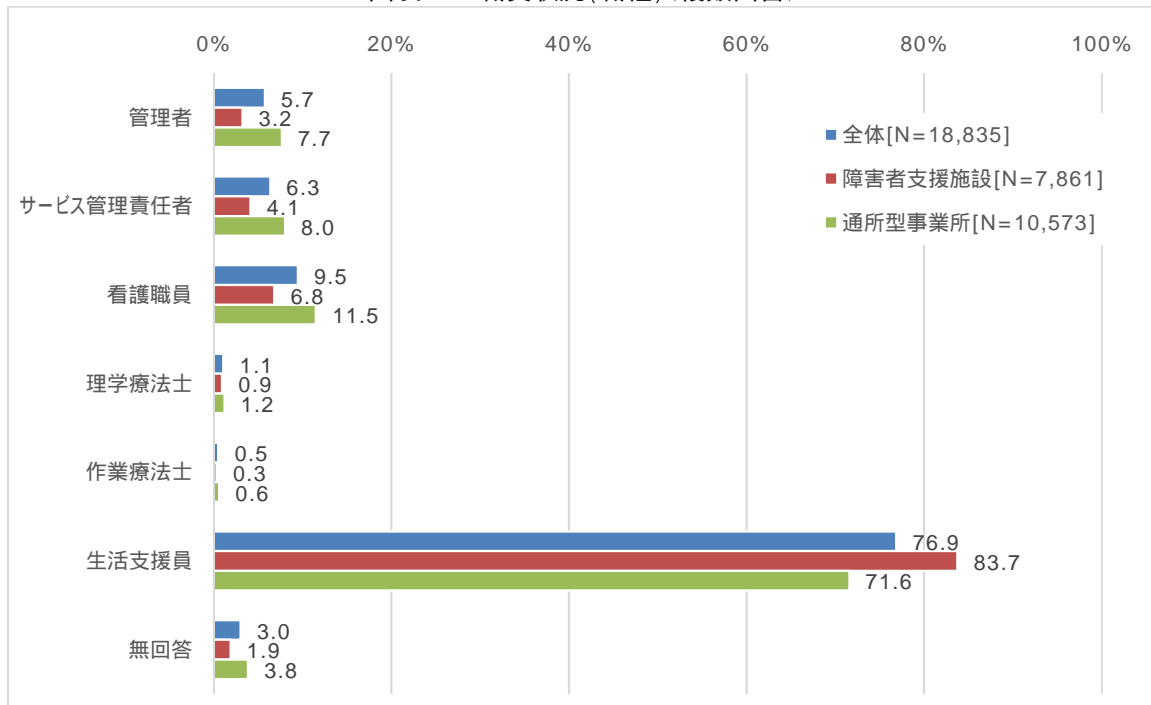


生活介護に従事する職員の状況

生活介護に従事する全職員の概要について聞いたところ、18,835人分の回答があった。

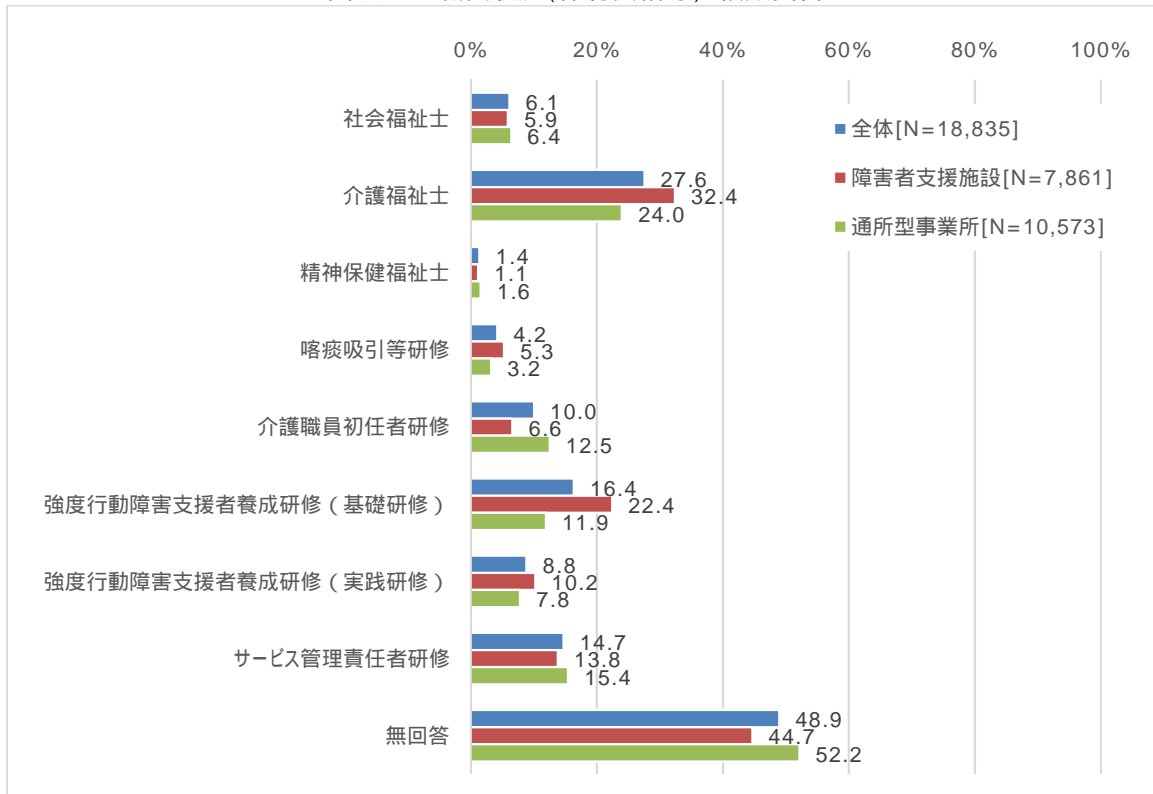
職種は、「生活支援員」が76.9%を占め、その他、「看護職員」が9.5%、「サービス管理責任者」が6.3%、「管理者」が5.7%等となっている。

図表 53 職員状況(職種)〔複数回答〕



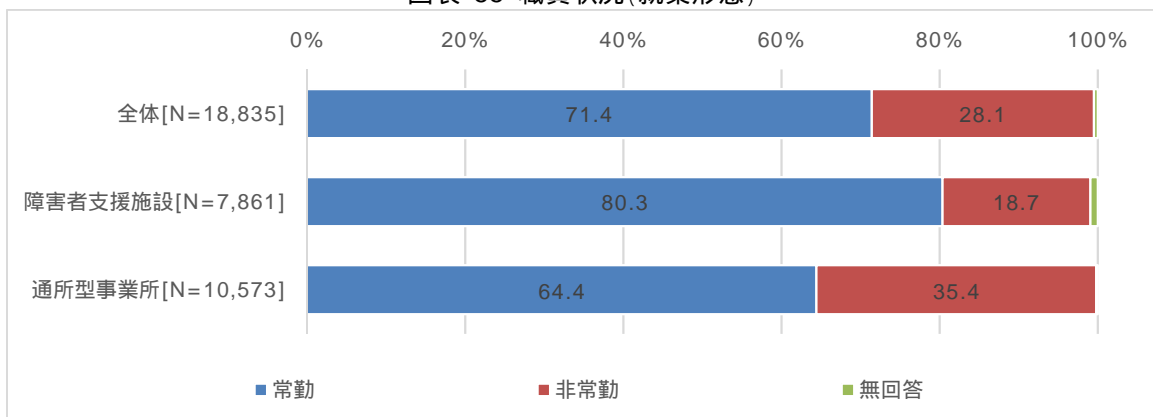
保有資格等は、該当なし(無回答)が48.9%とほぼ半数となっており、資格等については、「介護福祉士」が27.6%、「強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)」が16.4%、「サービス管理責任者研修」が14.7%、「介護職員初任者研修」が10.0%等となっている。

図表 54 職員状況(保有資格等)(複数回答)



就業形態は、「常勤」が71.4%、「非常勤」が28.1%となっている。

図表 55 職員状況(就業形態)



令和元年9月末時点での勤続年数は、平均で8.2年となっている。

図表 56 職員状況(令和元年9月末時点での勤続年数)

平均値(年)	全体[N=18,124]	障害者支援施設[N=7,599]	通所型事業所[N=10,135]
勤続年数	8.2	9.6	7.1

令和元年9月の勤務時間は、平均で、「生活介護」に従事した時間が105.4時間、「施設入所支援」に従事した時間が22.0時間、「その他のサービス」に従事した時間が8.1時間で、合計135.5時間となっている。

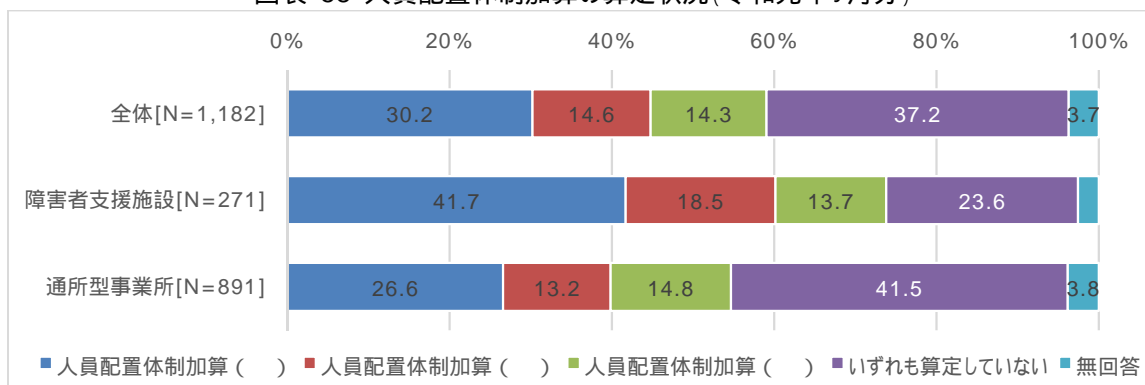
図表 57 職員状況(令和元年9月の勤務時間)

平均値(時間)	全体[N=17,683]	障害者支援施設 [N=7,159]	通所型事業所 [N=10,127]
生活介護	105.4	93.5	114.2
施設入所支援	22.0	46.6	3.6
その他のサービス	8.1	5.0	10.3
合計	135.5	145.1	128.1

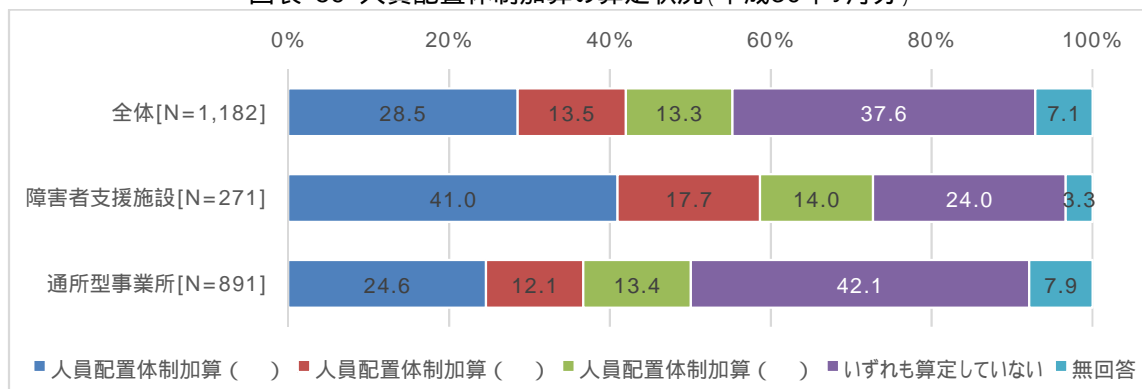
人員配置体制加算の算定状況

人員配置体制加算の算定状況は、各年月とも、「いずれも算定していない」が約4割、「人員配置体制加算()」が約3割となっている。

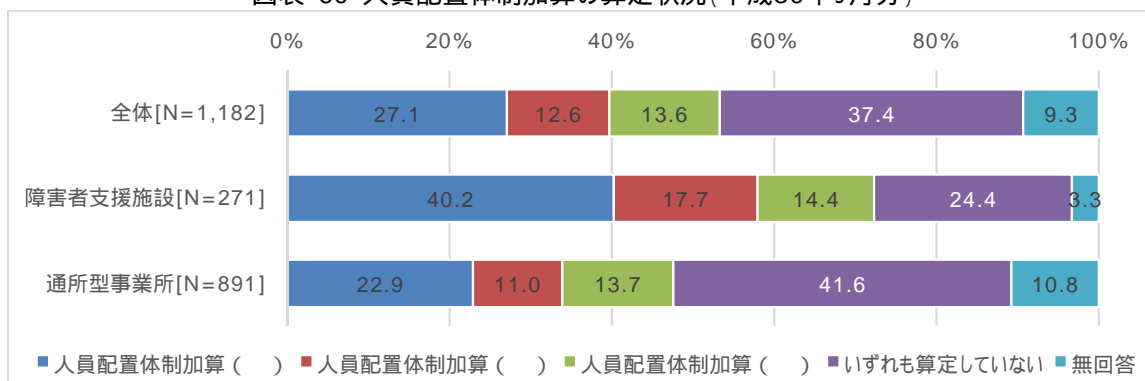
図表 58 人員配置体制加算の算定状況(令和元年9月分)



図表 59 人員配置体制加算の算定状況(平成30年9月分)



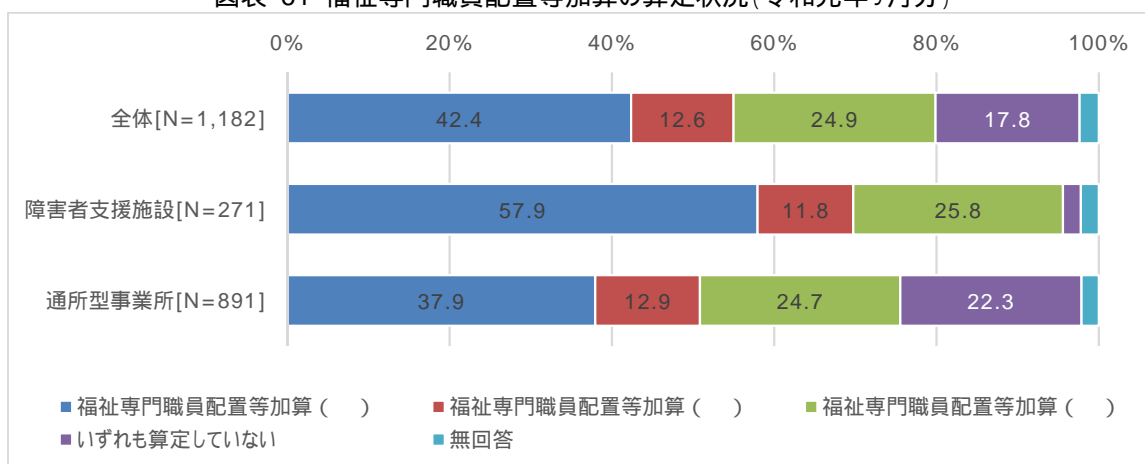
図表 60 人員配置体制加算の算定状況(平成30年3月分)



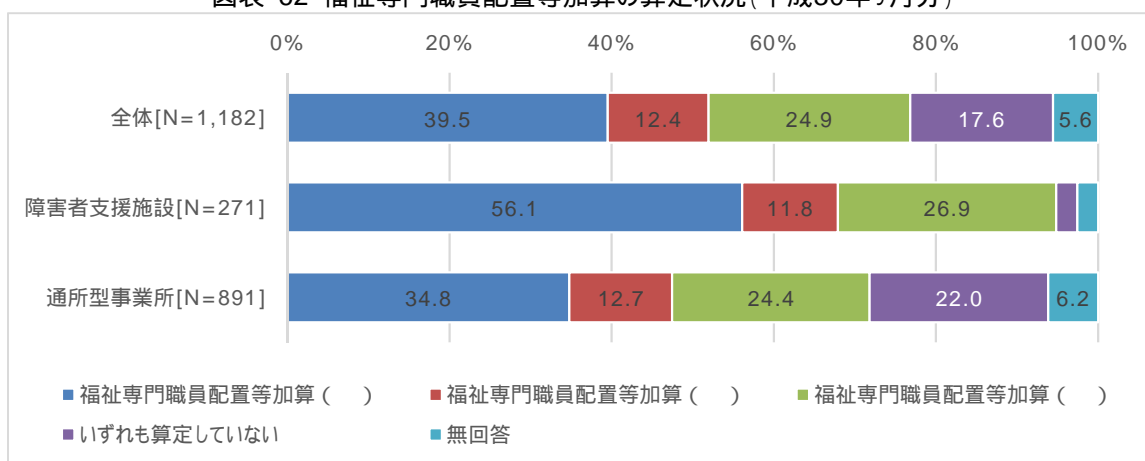
福祉専門職員配置等加算の算定状況

福祉専門職員配置等加算の算定状況は、各年月とも「福祉専門職員配置等加算（ ）」が約4割となっている。

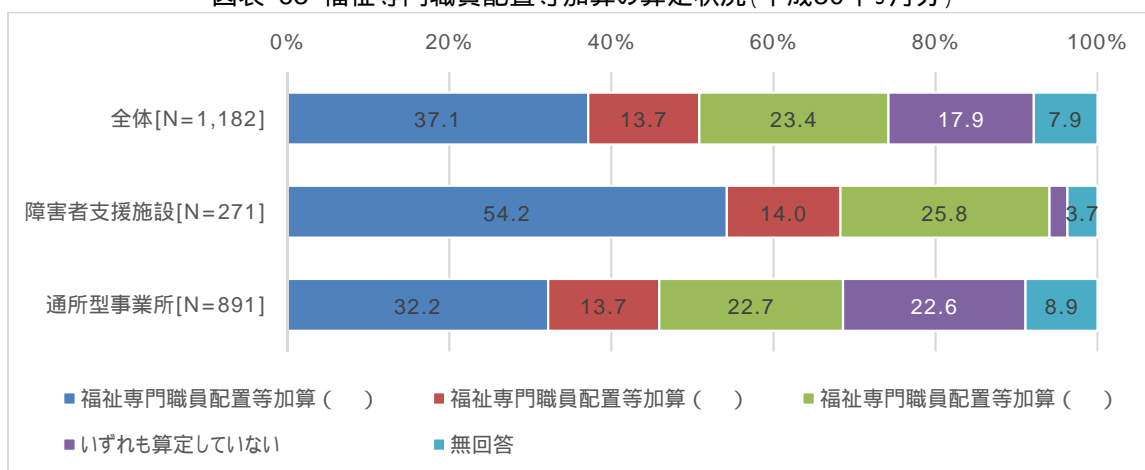
図表 61 福祉専門職員配置等加算の算定状況(令和元年9月分)



図表 62 福祉専門職員配置等加算の算定状況(平成30年9月分)



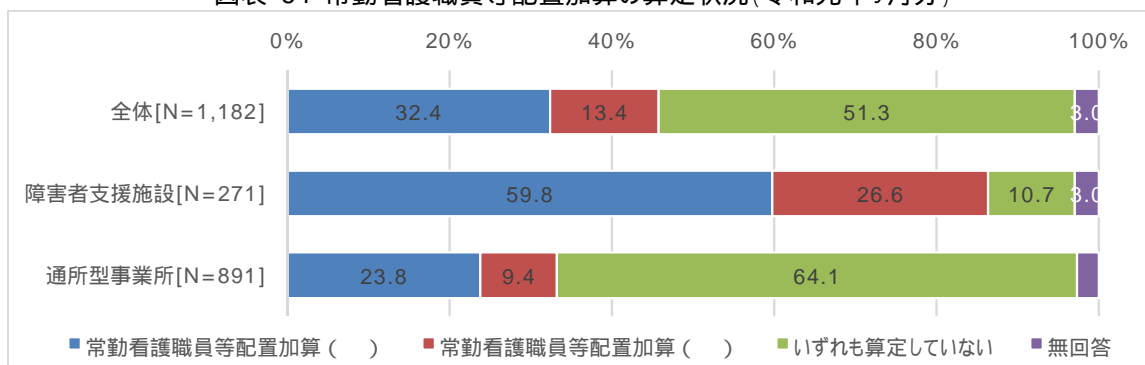
図表 63 福祉専門職員配置等加算の算定状況(平成30年3月分)



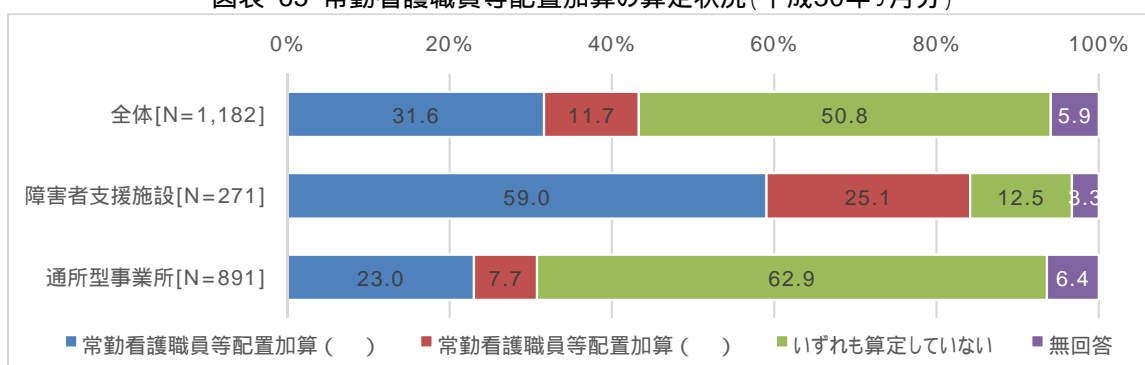
常勤看護職員等配置加算の算定状況

常勤看護職員等配置加算の算定状況は、各年月とも、「いずれも算定していない」が約半数、「常勤看護職員等配置加算（ ）」が約3割となっている。

図表 64 常勤看護職員等配置加算の算定状況(令和元年9月分)



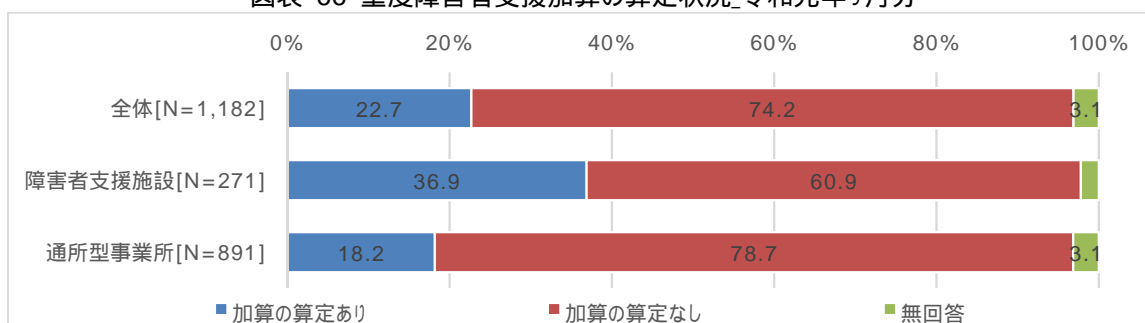
図表 65 常勤看護職員等配置加算の算定状況(平成30年9月分)



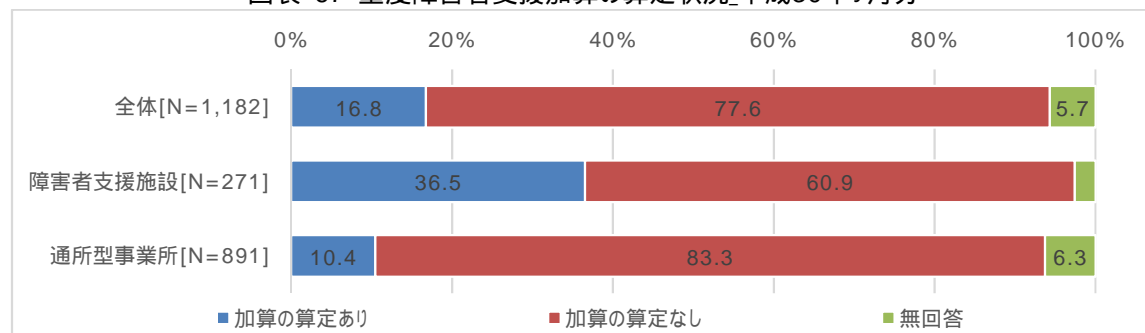
重度障害者支援加算の算定状況

重度障害者支援加算の算定状況は、平成30年9月から令和元年9月で、「加算の算定あり」の増加傾向が見られる。

図表 66 重度障害者支援加算の算定状況_令和元年9月分



図表 67 重度障害者支援加算の算定状況_平成30年9月分



配置医師

令和元年9月の配置医師の状況について聞いたところ、配置医師の総数は平均で1.3人、勤務日数は2.7日となっている。

図表 68 配置医師

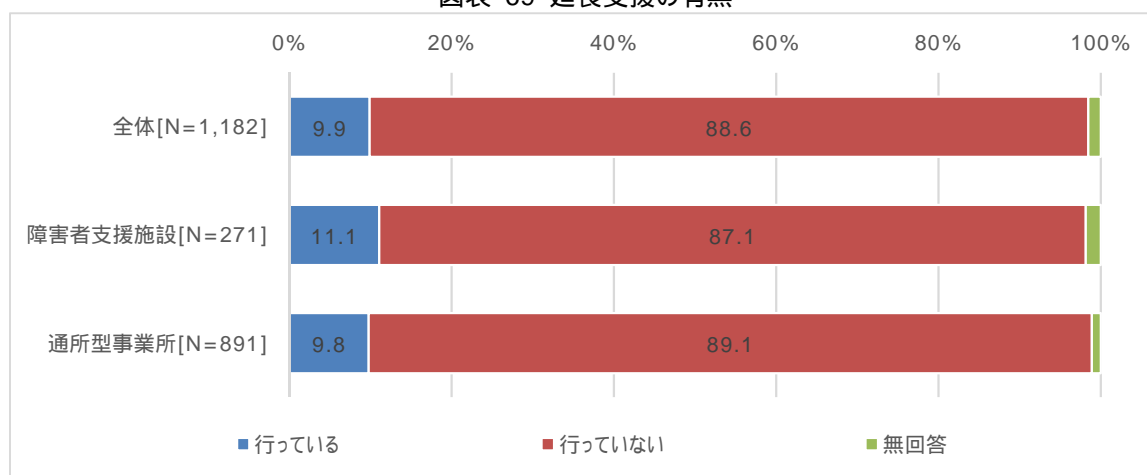
平均値(人、日)	全体[N=912]		障害者支援施設[N=241]		通所型事業所[N=659]	
	配置医師の人数	配置医師の勤務日数	配置医師の人数	配置医師の勤務日数	配置医師の人数	配置医師の勤務日数
配置医師総数	1.3	2.7	1.5	3.5	1.2	2.4
うち、常勤	0.1	0.8	0.0	0.3	0.1	0.9
うち、非常勤	0.2	0.5	0.3	0.8	0.2	0.4
うち、嘱託	0.8	1.1	0.9	1.8	0.8	0.9
うち、医療機関との契約による派遣	0.2	0.3	0.2	0.6	0.2	0.1

(3) 延長支援等の状況

延長支援の有無

延長支援については、「行っていない」が88.6%、「行っている」が9.9%となっている。

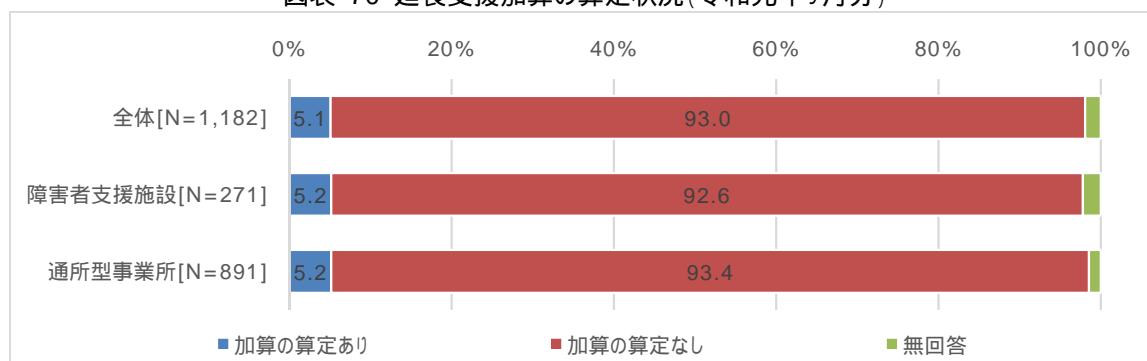
図表 69 延長支援の有無



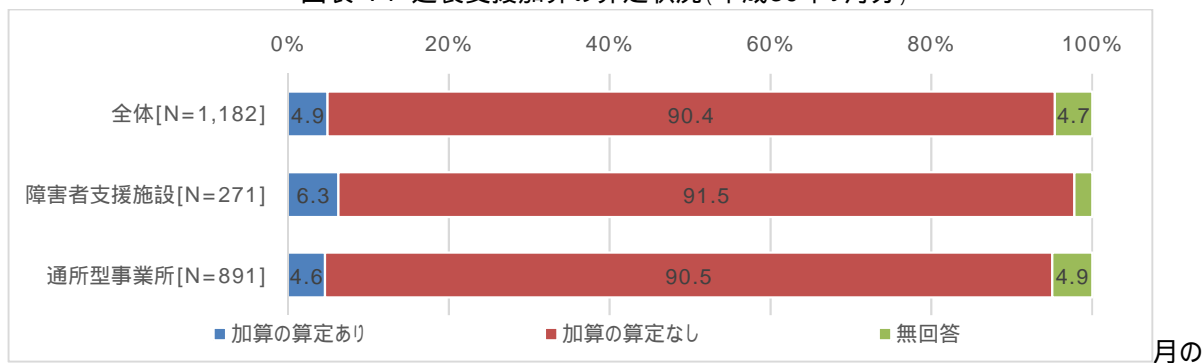
延長支援加算の算定状況

延長支援加算の算定状況は、「加算の算定あり」が4~5%となっている。

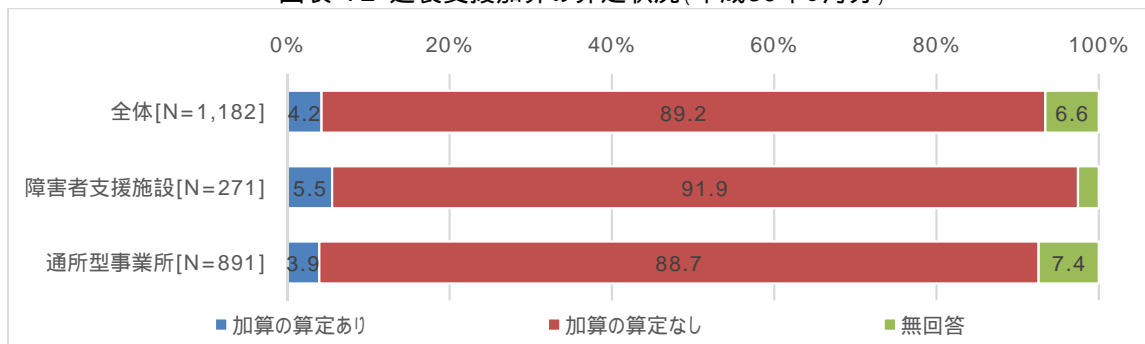
図表 70 延長支援加算の算定状況(令和元年9月分)



図表 71 延長支援加算の算定状況(平成30年9月分)



図表 72 延長支援加算の算定状況(平成30年3月分)



延長支援利用者の延べ人数等

令和元年9月の延長支援利用者の延べ人数は平均で57.3人、延長支援を行った日数は13.3日、延長支援の平均時間は64.7分となっている。

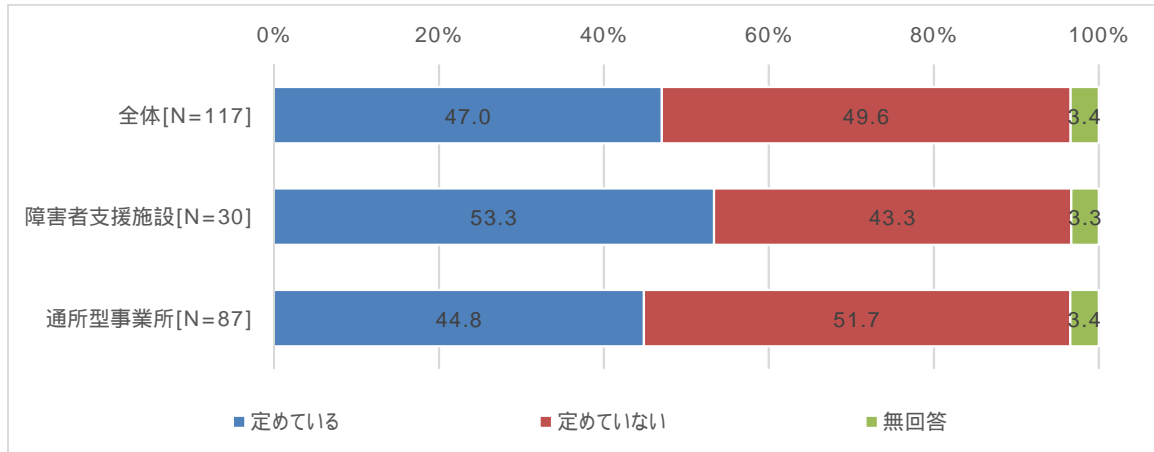
図表 73 延長支援利用者の延べ人数等

平均値	全体[N=69]			
	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
延長支援利用者の延べ人数(人)	57.3	13.6	0.7	23.2
延長支援を行った日数(日)	13.3	4.4	0.8	0.9
延長支援の平均時間(分)	64.7	20.2	9.2	3.7
平均値	障害者支援施設[N=18]			
	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
延長支援利用者の延べ人数(人)	160.1	37.7	0.0	88.2
延長支援を行った日数(日)	16.5	5.4	0.0	2.4
延長支援の平均時間(分)	66.2	17.5	0.0	3.3
平均値	通所型事業所[N=51]			
	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
延長支援利用者の延べ人数(人)	21.0	5.1	1.0	0.3
延長支援を行った日数(日)	12.1	4.1	1.0	0.3
延長支援の平均時間(分)	64.1	21.2	12.4	3.8

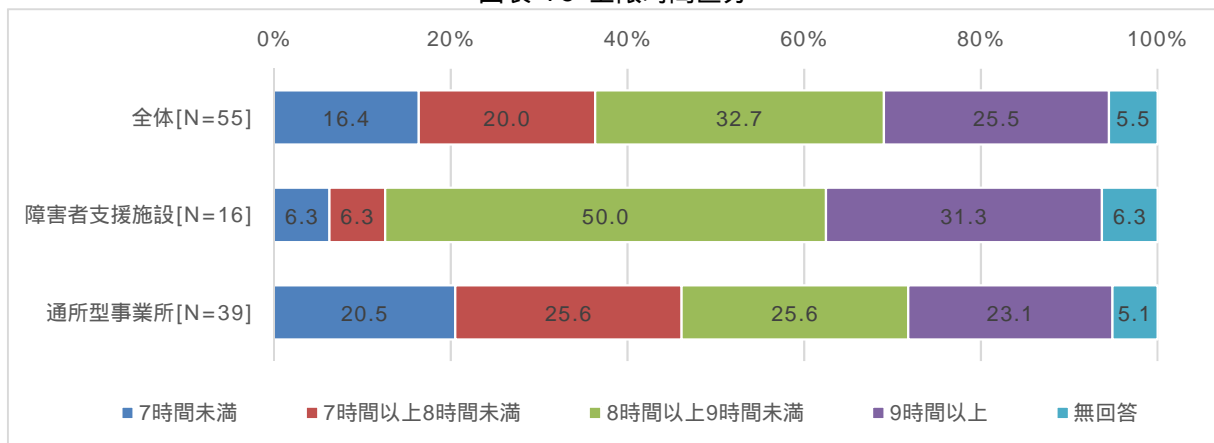
1日あたりのサービス利用時間の上限

1日あたりのサービス利用時間の上限を定めているかどうかを聞いたところ、「定めていない」が49.6%、「定めている」が47.0%となっている。なお、「定めている」場合の上限時間の平均は8.2時間であり、時間区分で見ると、「8時間以上9時間未満」が32.7%、「9時間以上」が25.5%、「7時間以上8時間未満」が20.0%、「7時間未満」が16.4%となっている。

図表 74 1日あたりのサービス利用時間の上限



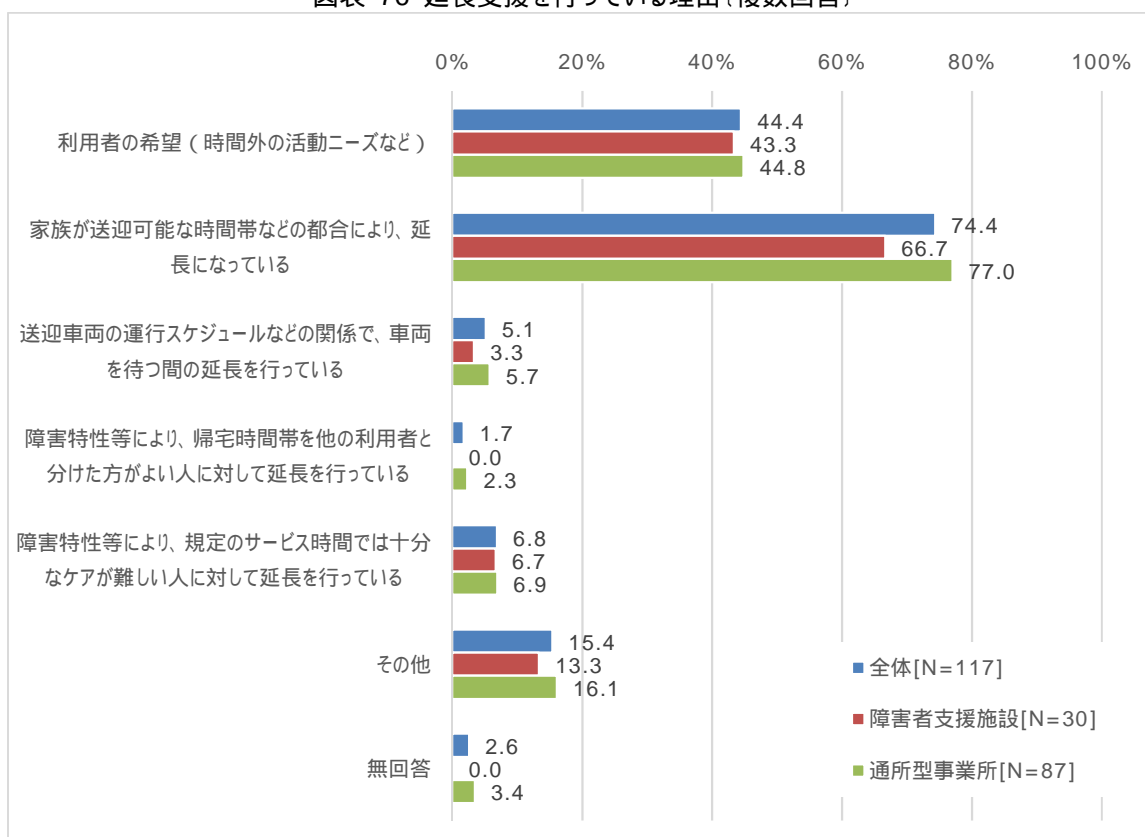
図表 75 上限時間区分



延長支援を行っている理由

延長支援を行っている理由としては、「家族が送迎可能な時間帯などの都合により、延長になっている」が74.4%と最も多く、次いで、「利用者の希望（時間外の活動ニーズなど）」が44.4%となっている。

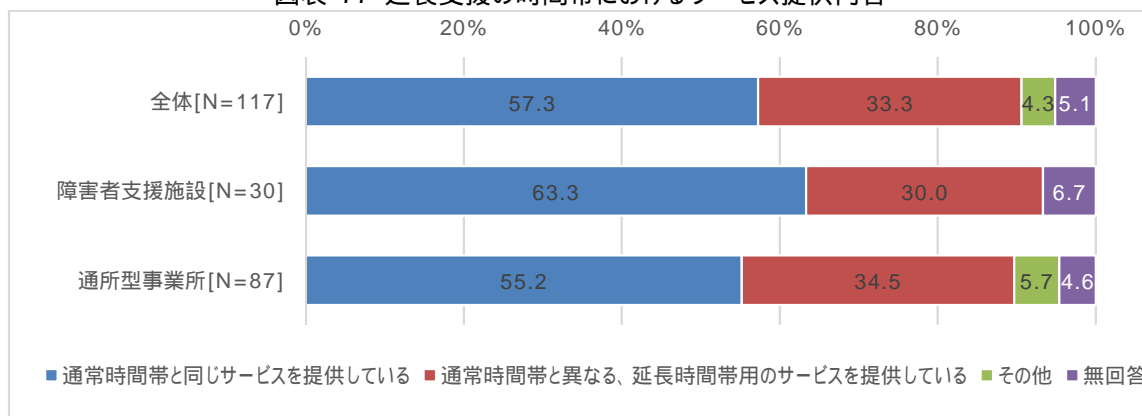
図表 76 延長支援を行っている理由（複数回答）



延長支援の時間帯におけるサービス提供内容

延長支援の時間帯におけるサービス提供内容について聞いたところ、「通常時間帯と同じサービスを提供している」が57.3%、「通常時間帯と異なる、延長時間帯用のサービスを提供している」が33.3%となっている。

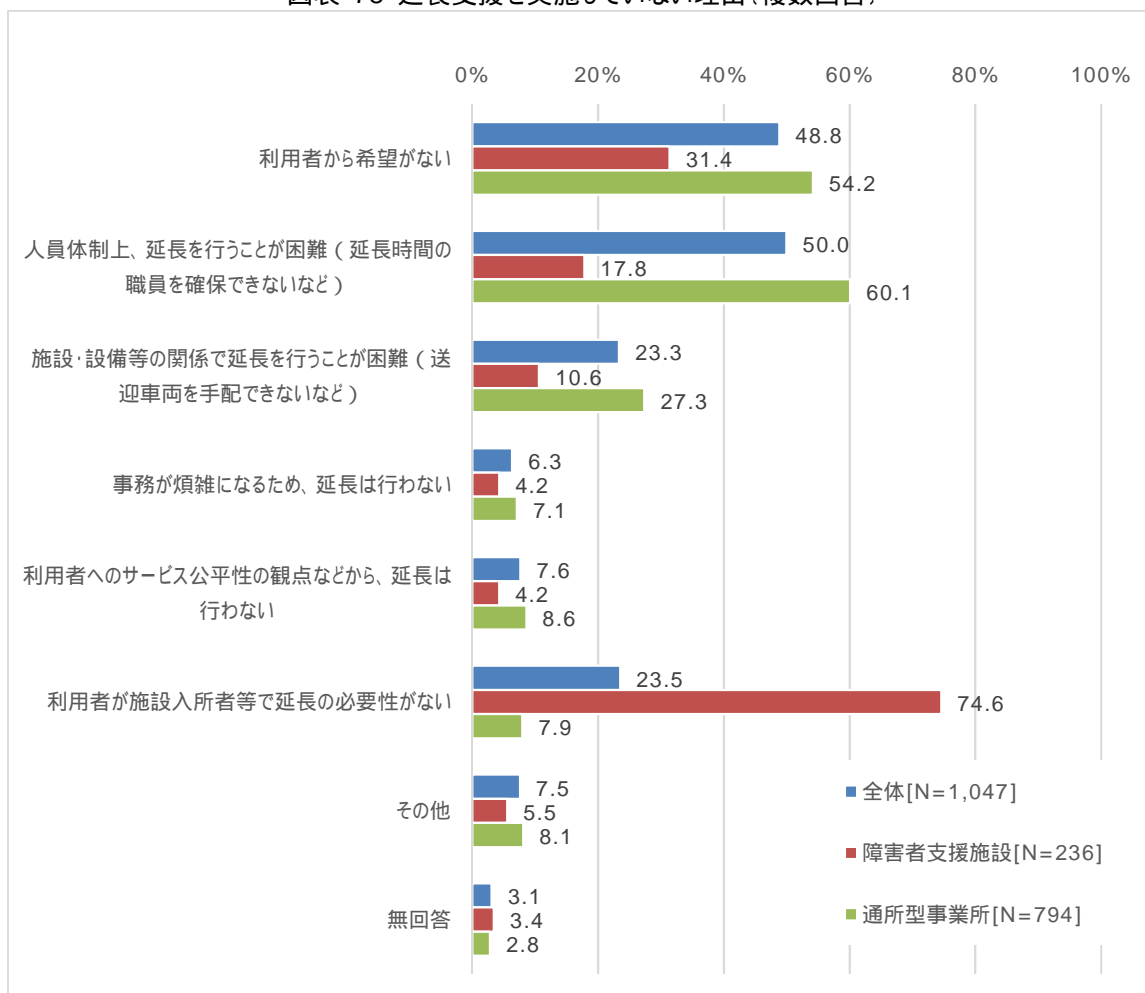
図表 77 延長支援の時間帯におけるサービス提供内容



延長支援を実施していない理由

延長支援を実施していない事業所に、その理由を聞いたところ、「人員体制上、延長を行うことが困難（延長時間の職員を確保できないなど）」が50.0%と最も多く、次いで、「利用者から希望がない」が48.8%となっている。

図表 78 延長支援を実施していない理由（複数回答）

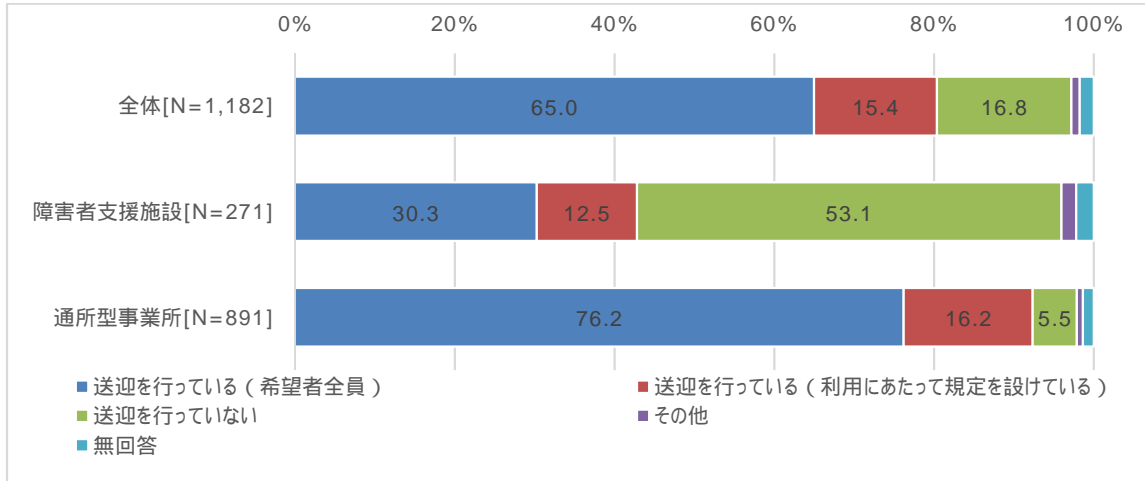


(4) 送迎等の状況

送迎の実施状況

送迎の実施状況については、「送迎を行っている（希望者全員）」が65.0%となっている。

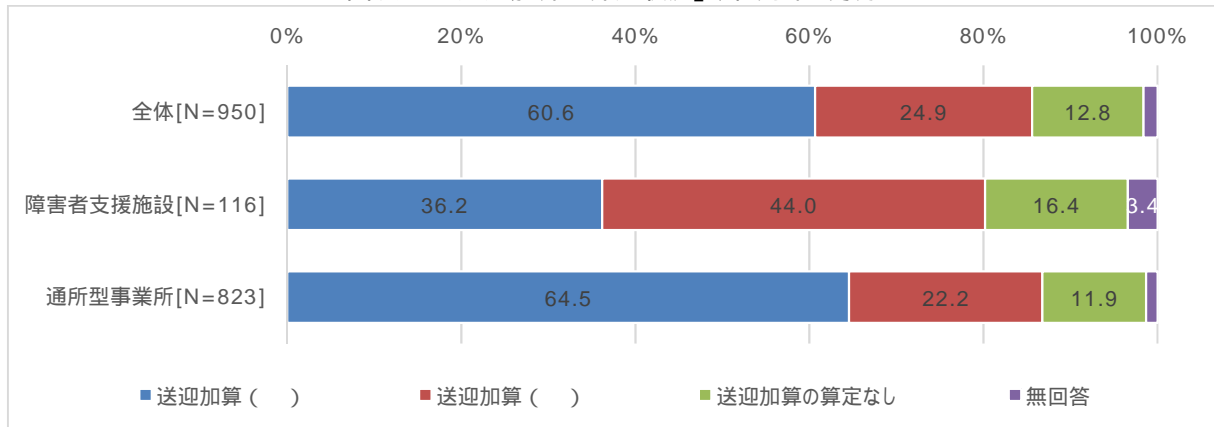
図表 79 送迎の実施状況



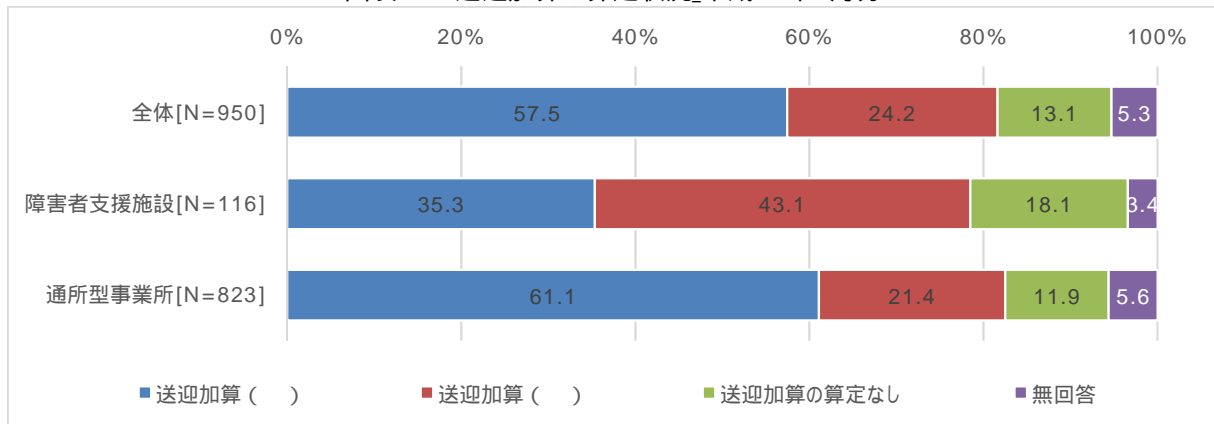
送迎加算の算定状況

送迎を実施している事業所の、送迎加算の算定状況を見ると、「送迎加算（ ）」が6割前後と多くなっている。障害者支援施設では「送迎加算（ ）」が多くなっている。

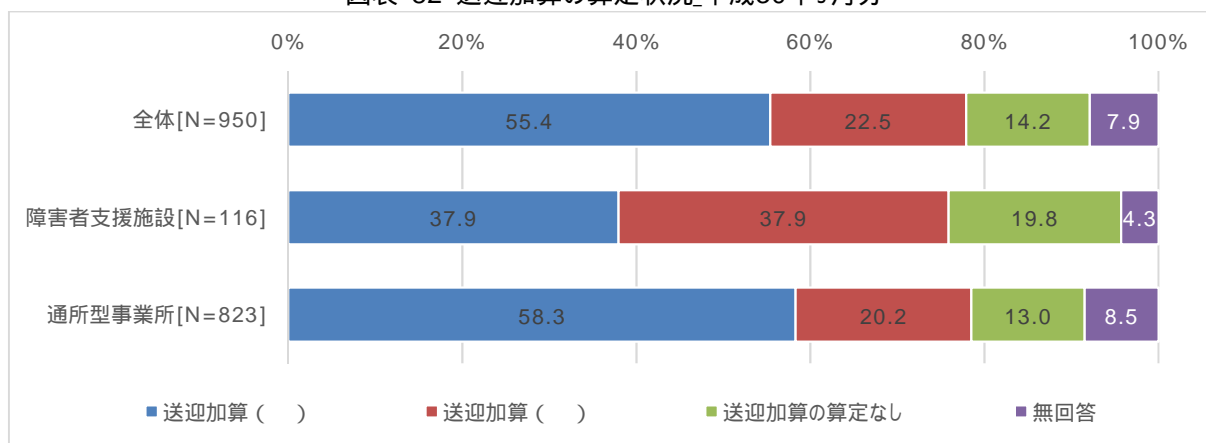
図表 80 送迎加算の算定状況_令和元年9月分



図表 81 送迎加算の算定状況_平成30年9月分



図表 82 送迎加算の算定状況_平成30年3月分



送迎した者の延べ人数等

送迎を行っている事業所に、令和元年9月の送迎の状況を聞いたところ、送迎した者の延べ人数は平均で328.2人、1回あたり平均送迎者数は15.7人/回、送迎を行った日数は20.7日となっている。

図表 83 送迎した者の延べ人数等

平均値	全体[N=914]			
	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
送迎した者の延べ人数(人)	328.2	39.2	29.9	9.0
1回あたり平均送迎者数(人/回)	15.7	1.5	1.2	0.3
送迎を行った日数(日)	20.7	5.7	4.2	2.0
平均値	障害者支援施設[N=114]			
	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
送迎した者の延べ人数(人)	228.7	17.5	24.1	14.4
1回あたり平均送迎者数(人/回)	19.0	0.7	0.6	0.4
送迎を行った日数(日)	21.4	3.9	2.8	1.7
平均値	通所型事業所[N=791]			
	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
送迎した者の延べ人数(人)	343.0	42.7	30.8	8.2
1回あたり平均送迎者数(人/回)	15.3	1.6	1.3	0.3
送迎を行った日数(日)	20.6	6.0	4.4	2.0

送迎方法別送迎者数

送迎方法別の送迎者数は、「送迎車両を使用」が324.8人、「付き添い(公共交通機関を利用)」が0.3人、「付き添い(徒歩のみ)」が3.2人となっている。

図表 84 送迎方法別送迎者数

平均値(人)	全体[N=914]			
	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
送迎車両を使用	324.8	39.2	28.1	8.3
付き添い(公共交通機関を利用)	0.3	0.0	0.0	0.0
付き添い(徒歩のみ)	3.2	0.3	0.3	0.0
平均値(人)	障害者支援施設[N=114]			
	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
送迎車両を使用	227.5	17.0	24.3	13.2
付き添い(公共交通機関を利用)	0.2	0.0	0.0	0.0
付き添い(徒歩のみ)	1.0	0.4	0.2	0.2
平均値(人)	通所型事業所[N=791]			
	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
送迎車両を使用	339.2	42.8	28.7	7.6
付き添い(公共交通機関を利用)	0.3	0.1	0.0	0.0
付き添い(徒歩のみ)	3.5	0.3	0.3	0.0

送迎先別送迎者数

送迎先別の送迎者数は、「利用者宅の玄関先まで」が253.6人、「利用者の居室・ベッドまで」が4.6人、「事業所の最寄り駅や利用者の居宅の近隣に設定した集合場所等」が64.7人、「その他」が5.3人となっている。

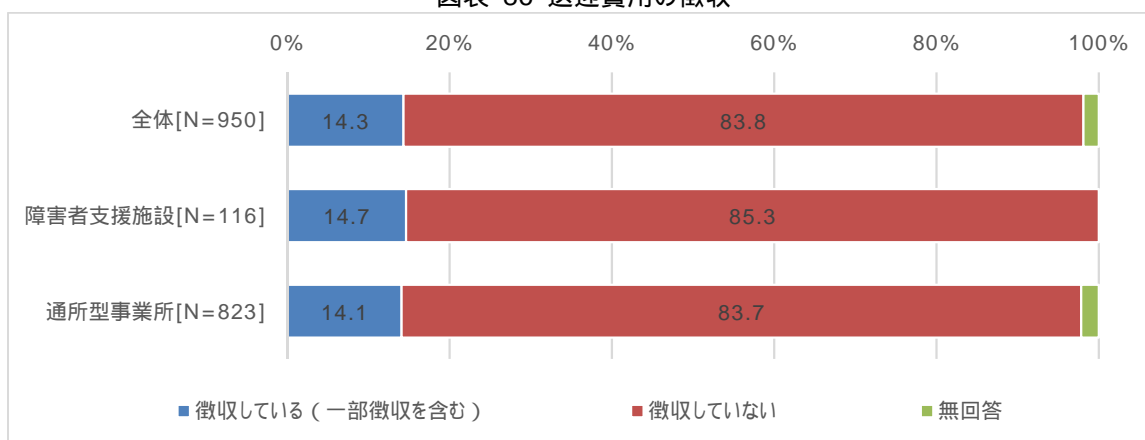
図表 85 送迎先別送迎者数

平均値(人)	全体[N=914]			
	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
利用者宅の玄関先まで	253.6	28.6	24.0	7.2
利用者の居室・ベッドまで	4.6	0.1	1.9	0.5
事業所の最寄り駅や利用者の居宅の近隣に設定した集合場所等	64.7	9.4	2.6	1.0
その他	5.3	0.5	0.2	0.2
平均値(人)	障害者支援施設[N=114]			
	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
利用者宅の玄関先まで	196.0	13.3	22.3	8.4
利用者の居室・ベッドまで	6.0	0.1	2.1	0.1
事業所の最寄り駅や利用者の居宅の近隣に設定した集合場所等	20.8	4.5	0.1	4.0
その他	5.9	0.1	0.0	0.9
平均値(人)	通所型事業所[N=791]			
	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
利用者宅の玄関先まで	262.5	31.1	24.4	7.1
利用者の居室・ベッドまで	4.2	0.1	1.8	0.5
事業所の最寄り駅や利用者の居宅の近隣に設定した集合場所等	71.0	10.2	2.9	0.6
その他	5.2	0.5	0.2	0.0

送迎費用の徴収

送迎費用の徴収について聞いたところ、「徴収していない」が83.8%、「徴収している(一部徴収を含む)」が14.3%となっている。

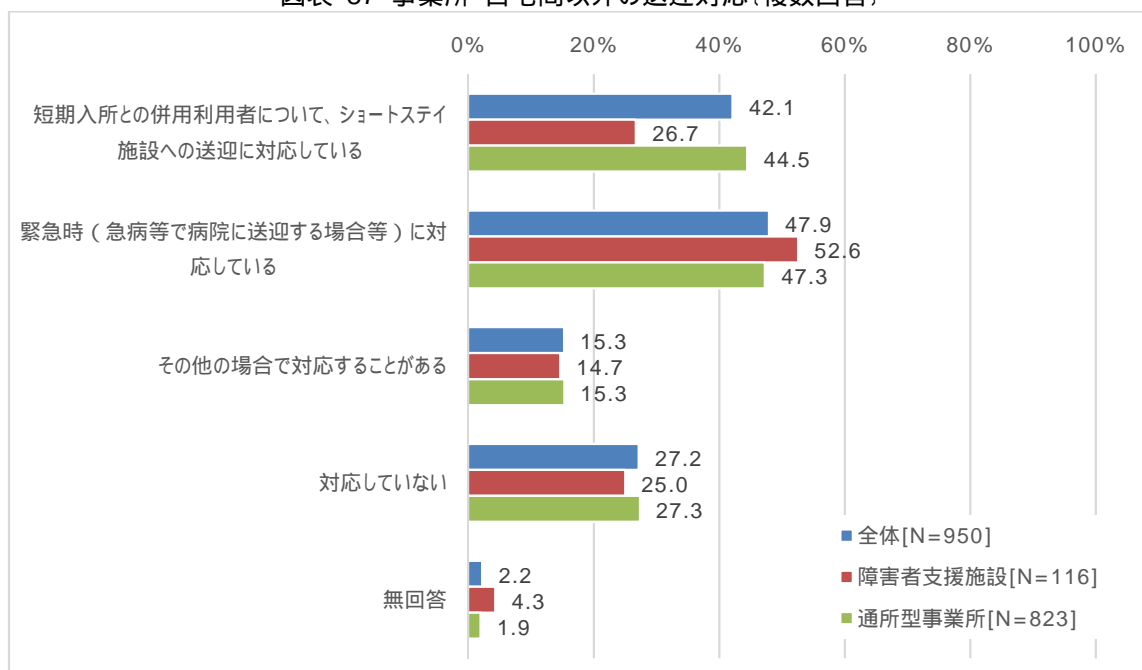
図表 86 送迎費用の徴収



事業所・自宅間以外の送迎対応

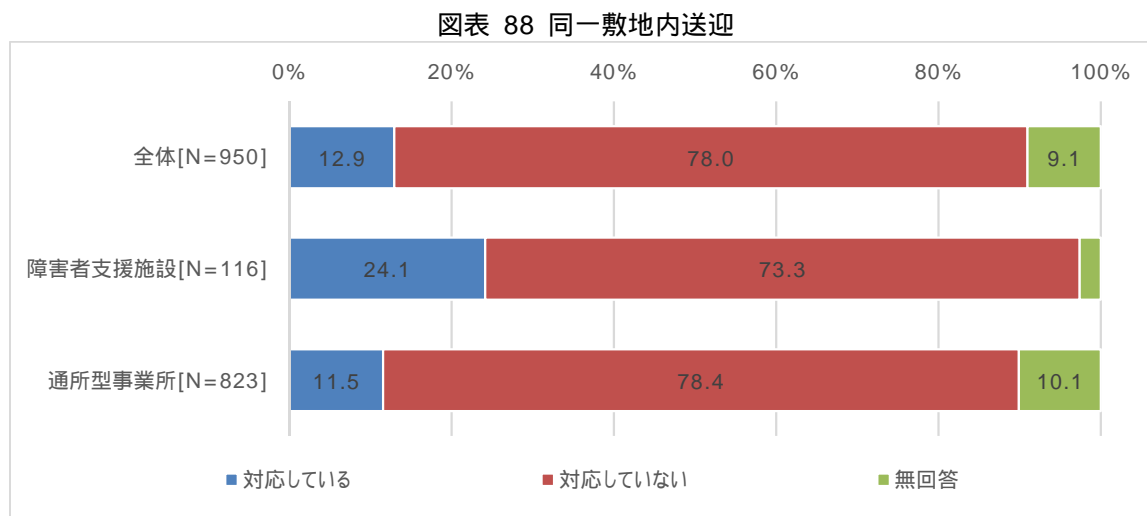
事業所・自宅間以外の送迎対応については、「緊急時(急病等で病院に送迎する場合等)に対応している」が47.9%、「短期入所との併用利用者について、ショートステイ施設への送迎に対応している」が42.1%となっている。一方、「対応していない」は27.2%である。

図表 87 事業所・自宅間以外の送迎対応(複数回答)



同一敷地内送迎

同一敷地内の送迎について聞いたところ、「対応していない」が78.0%、「対応している」が12.9%となっている。



同一敷地内の送迎を実施している事業所に、送迎先別の延べ人数を聞いたところ、平均で「グループホーム」が39.4人、「障害者支援施設」が21.0人、「その他」が2.8人となっている。

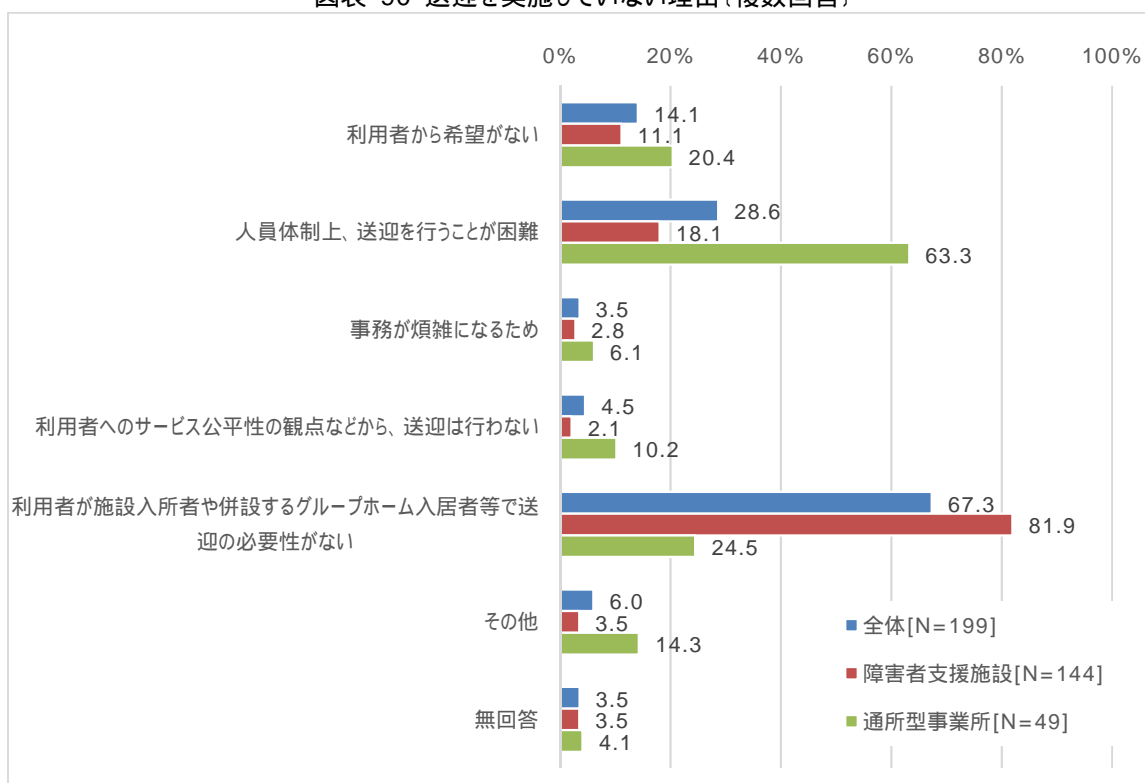
図表 89 同一敷地内送迎先別の延べ人数

平均値(人)	全体[N=107]			
	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
グループホーム	39.4	10.8	0.7	0.1
障害者支援施設	21.0	5.7	0.3	0.4
その他	2.8	0.4	0.3	0.1
平均値(人)	障害者支援施設[N=21]			
	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
グループホーム	30.1	2.9	1.1	0.0
障害者支援施設	67.1	16.0	1.8	0.1
その他	0.2	0.0	0.0	0.0
平均値(人)	通所型事業所[N=86]			
	総数	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)
グループホーム	41.6	12.7	0.6	0.1
障害者支援施設	9.8	3.1	0.0	0.5
その他	3.4	0.4	0.4	0.2

送迎を実施していない理由

送迎を実施していない事業所に、その理由を聞いたところ、「利用者が施設入所者や併設するグループホーム入居者等で送迎の必要性がない」が67.3%と最も多くなっている。

図表 90 送迎を実施していない理由（複数回答）

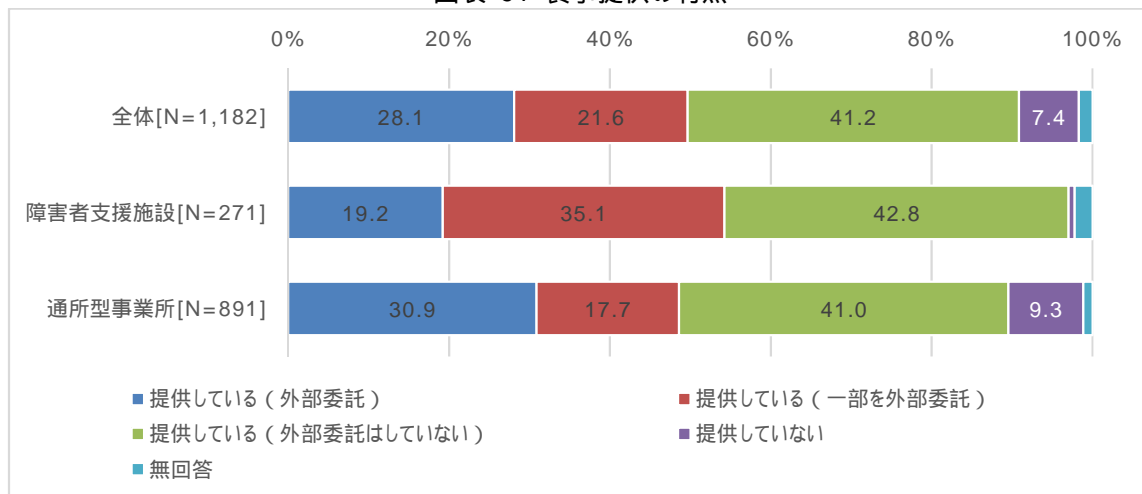


(5) 食事の提供

食事提供の有無

食事の提供については、「提供している（外部委託はしていない）」が41.2%、「提供している（外部委託）」が28.1%、「提供している（一部を外部委託）」が21.6%となっており、「提供していない」は7.4%と少なくなっている。

図表 91 食事提供の有無



食事提供人数

令和元年9月の食事提供について、食事形態別に提供実人数を聞いたところ、平均で「普通食（調整食ではない）」が20.6人、「きざみ食（栄養素の調整なし）」が4.6人等となっており、合計は30.7人である。

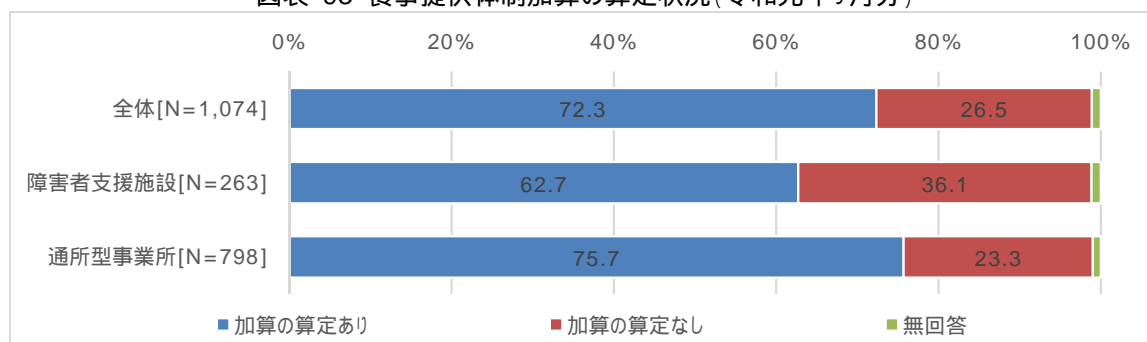
図表 92 (2)食事提供人数

平均値（人）	全体[N=1,005]	障害者支援施設 [N=245]	通所型事業所 [N=749]
きざみ食（栄養素の調整あり）	1.9	4.7	0.9
きざみ食（栄養素の調整なし）	4.6	10.1	2.8
ソフト食（栄養素の調整あり）	0.4	0.9	0.2
ソフト食（栄養素の調整なし）	0.6	1.5	0.4
流動食（栄養素の調整あり）	0.2	0.3	0.1
流動食（栄養素の調整なし）	0.4	0.7	0.3
経管栄養食（栄養素の調整あり）	0.2	0.3	0.1
経管栄養食（栄養素の調整なし）	0.4	0.6	0.3
栄養素の調整のみの食事	1.6	3.9	0.8
普通食（調整食ではない）	20.6	30.2	17.4
合計	30.7	53.2	23.2

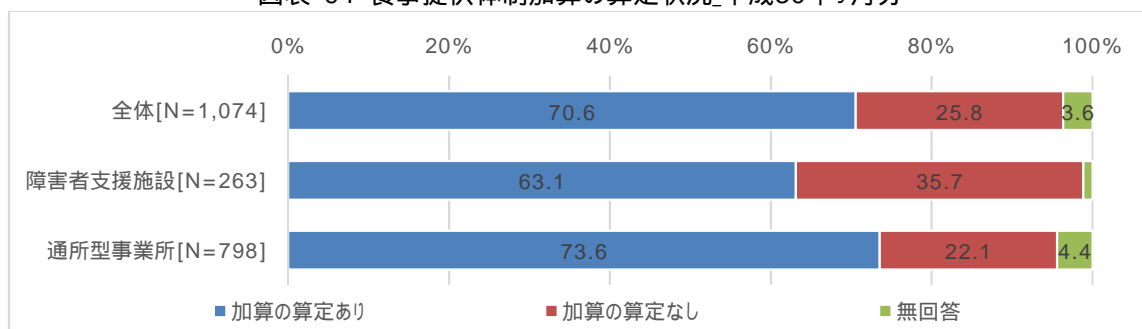
食事提供体制加算の算定状況

食事を提供している事業所の、食事提供体制加算の算定状況は、「加算の算定あり」が約7割となっている。

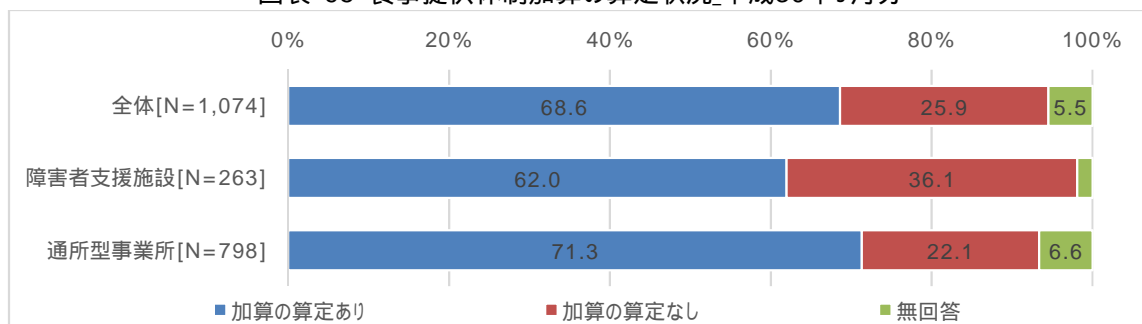
図表 93 食事提供体制加算の算定状況(令和元年9月分)



図表 94 食事提供体制加算の算定状況_平成30年9月分



図表 95 食事提供体制加算の算定状況_平成30年3月分



食事の提供に要する費用

食事の提供に要する費用については、以下の通りとなっている。令和元年9月分では、一般所得者の1人あたり徴収額は11,108.1円、低所得者等の1人あたり徴収額は3,557.5円となっている。

図表 96 食事の提供に要する費用

平均値		全体		
		徴収人数(人)	徴収金額(円)	1人あたり徴収額(円)
令和元年9月中[N=822]	一般所得者	11.7	129,851.4	11,108.1
	低所得者等	48.0	170,664.2	3,557.5
平成30年9月中[N=718]	一般所得者	11.0	133,790.8	12,152.0
	低所得者等	47.0	165,330.4	3,516.0
平成30年3月中[N=694]	一般所得者	12.3	141,486.1	11,524.8
	低所得者等	51.0	179,407.7	3,520.0
平均値		障害者支援施設		
		徴収人数(人)	徴収金額(円)	1人あたり徴収額(円)
令和元年9月中[N=191]	一般所得者	15.8	395,926.4	25,065.3
	低所得者等	67.6	487,368.6	7,208.3
平成30年9月中[N=172]	一般所得者	16.0	424,877.0	26,574.1
	低所得者等	59.4	461,118.3	7,757.5
平成30年3月中[N=169]	一般所得者	16.3	438,893.2	26,923.0
	低所得者等	63.9	487,108.1	7,622.3
平均値		通所型事業所		
		徴収人数(人)	徴収金額(円)	1人あたり徴収額(円)
令和元年9月中[N=620]	一般所得者	9.8	31,918.9	3,261.3
	低所得者等	42.5	73,579.7	1,732.9
平成30年9月中[N=539]	一般所得者	8.6	21,377.1	2,482.7
	低所得者等	43.4	72,145.7	1,662.2
平成30年3月中[N=518]	一般所得者	10.1	24,426.0	2,408.2
	低所得者等	47.2	80,384.8	1,704.6

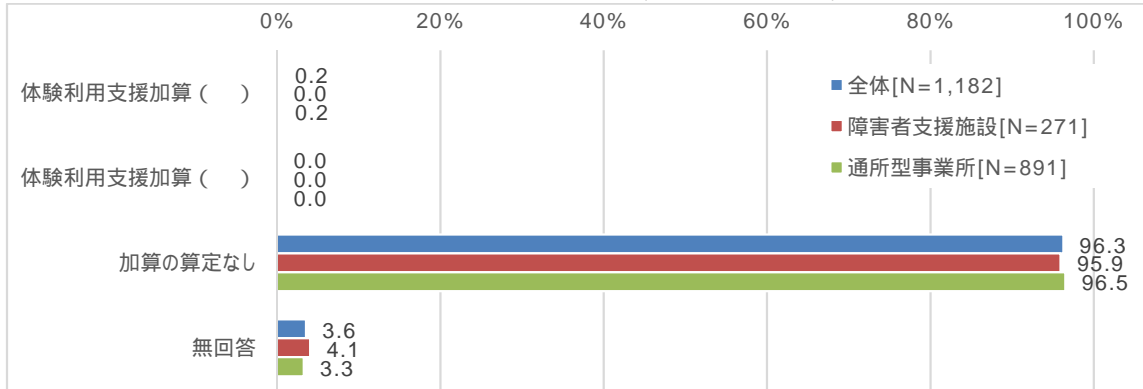
一般所得者：食事提供体制加算の対象外の者 低所得者等：食事提供体制加算の対象者

(6) 体験利用の状況

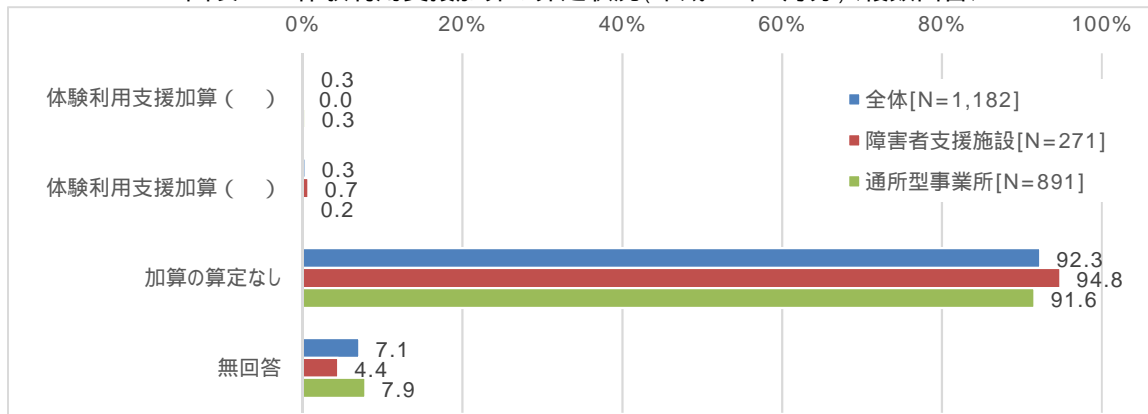
体験利用支援加算の算定状況

体験利用支援加算の算定状況は、「加算の算定なし」が多くなっている。

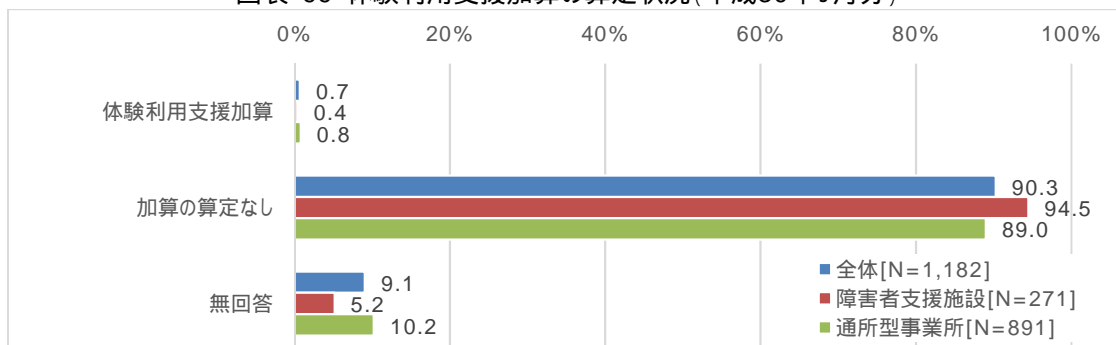
図表 97 体験利用支援加算の算定状況(令和元年9月分)(複数回答)



図表 98 体験利用支援加算の算定状況(平成30年9月分)(複数回答)



図表 99 体験利用支援加算の算定状況(平成30年3月分)



体験利用の支援日数

令和元年9月における体験利用の支援日数については、全体で822事業所のうち、支援日数1日以上が40事業所(1日:12事業所、2~3日:13事業所、4日以上:15事業所)となっており、支援日数の合計は126日となっている。うち、体験利用支援加算を算定した日数は全体で1日だった。

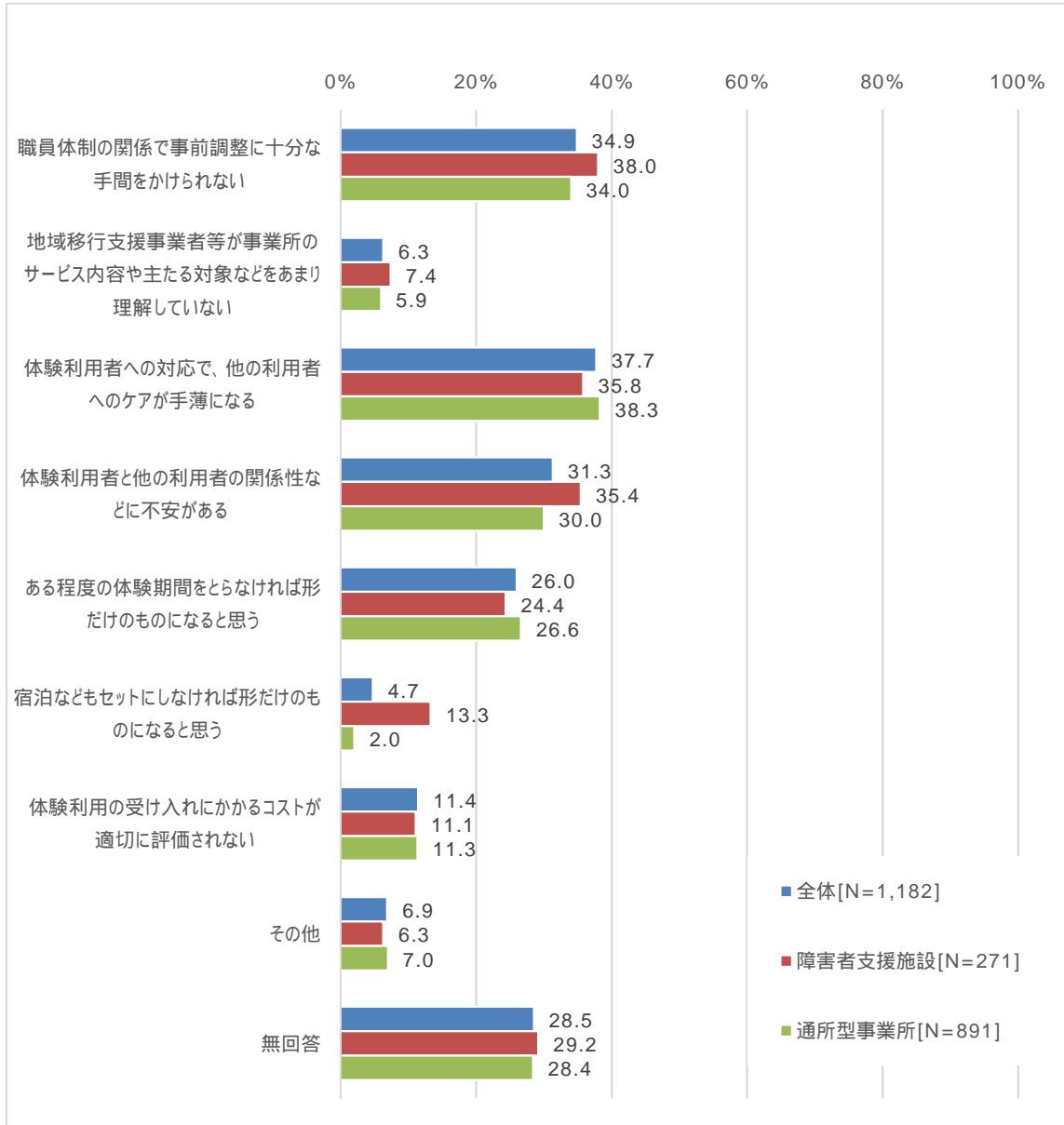
図表 100 体験利用の支援日数

実数値(日)	全体[N=822]	障害者支援施設[N=173]	通所型事業所[N=636]
体験利用の支援日数	126	7	119
うち、障害福祉サービスの体験利用支援加算を算定した日数	1	0	1

障害福祉サービスの体験利用を支援する際の課題

障害福祉サービスの体験利用を支援する際の課題を聞いたところ、「体験利用者への対応で、他の利用者へのケアが手薄になる」が37.7%、「職員体制の関係で事前調整に十分な手間をかけられない」が34.9%、「体験利用者と他の利用者の関係性などに不安がある」が31.3%等となっている。

図表 101 障害福祉サービスの体験利用を支援する際の課題(複数回答)

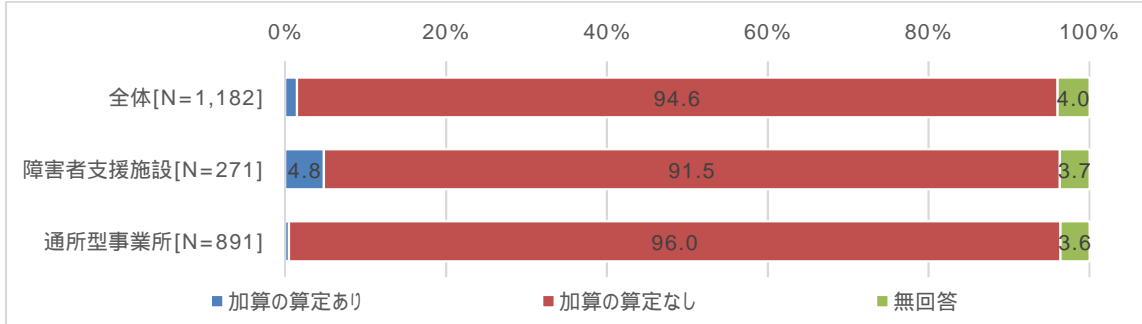


(7) 視覚・聴覚・言語障害への対応状況等

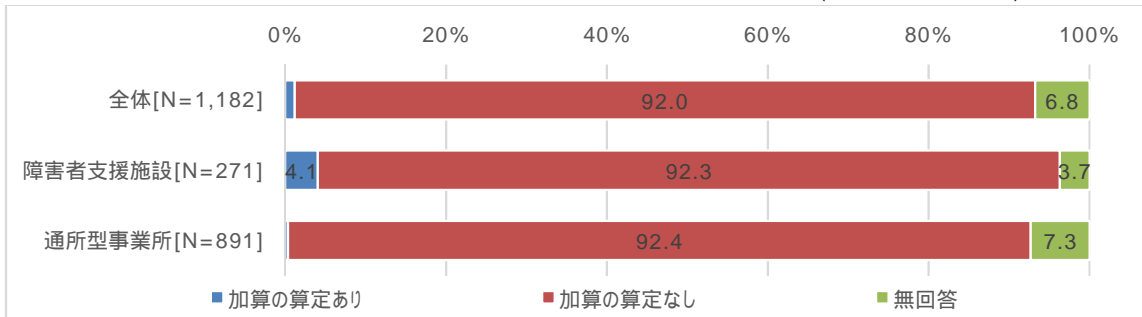
視覚・聴覚・言語障害者支援体制加算の算定状況

視覚・聴覚・言語障害者支援体制加算の算定状況は、「加算の算定なし」が多くなっている。

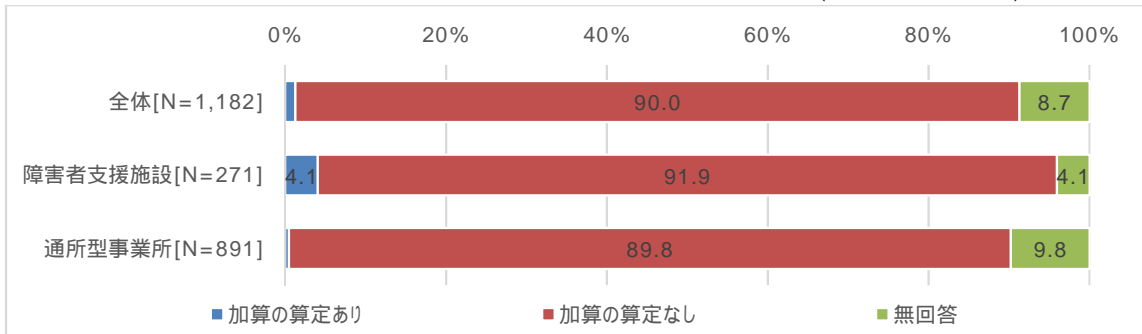
図表 102 視覚・聴覚・言語障害者支援体制加算の算定状況(令和元年9月分)



図表 103 視覚・聴覚・言語障害者支援体制加算の算定状況(平成30年9月分)



図表 104 視覚・聴覚・言語障害者支援体制加算の算定状況(平成30年3月分)



視覚・聴覚・言語障害のある利用者数

視覚・聴覚・言語障害のある利用者数について聞いたところ、平均で「視覚障害」が0.7人、「聴覚障害」が0.4人、「言語障害」が1.6人、「視覚・聴覚・言語障害の重複」が0.4人、合計で3.1人となっている。

図表 105 視覚・聴覚障害のある利用者数

平均値(人)	全体[N=881]		障害者支援施設[N=215]		通所型事業所[N=656]	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
視覚障害	0.7	10.5	1.4	24.5	0.5	6.0
聴覚障害	0.4	6.3	0.9	15.7	0.2	3.2
言語障害	1.6	21.8	3.5	60.6	1.0	9.4
視覚・聴覚・言語障害の重複	0.4	5.3	0.6	10.3	0.3	3.7
合計	3.1	43.9	6.3	111.1	2.1	22.4

視覚・聴覚・言語障害のある利用者への支援を行う職員

視覚・聴覚・言語障害のある利用者への支援を行う職員について聞いたところ、「視覚・聴覚・言語障害に専門性を有する職員」は平均で常勤0.3人、非常勤0.1人（常勤換算）となっている。「視覚・聴覚・言語障害に専門性を有さない職員」は平均で常勤11.7人、非常勤3.2人（常勤換算）となっている。

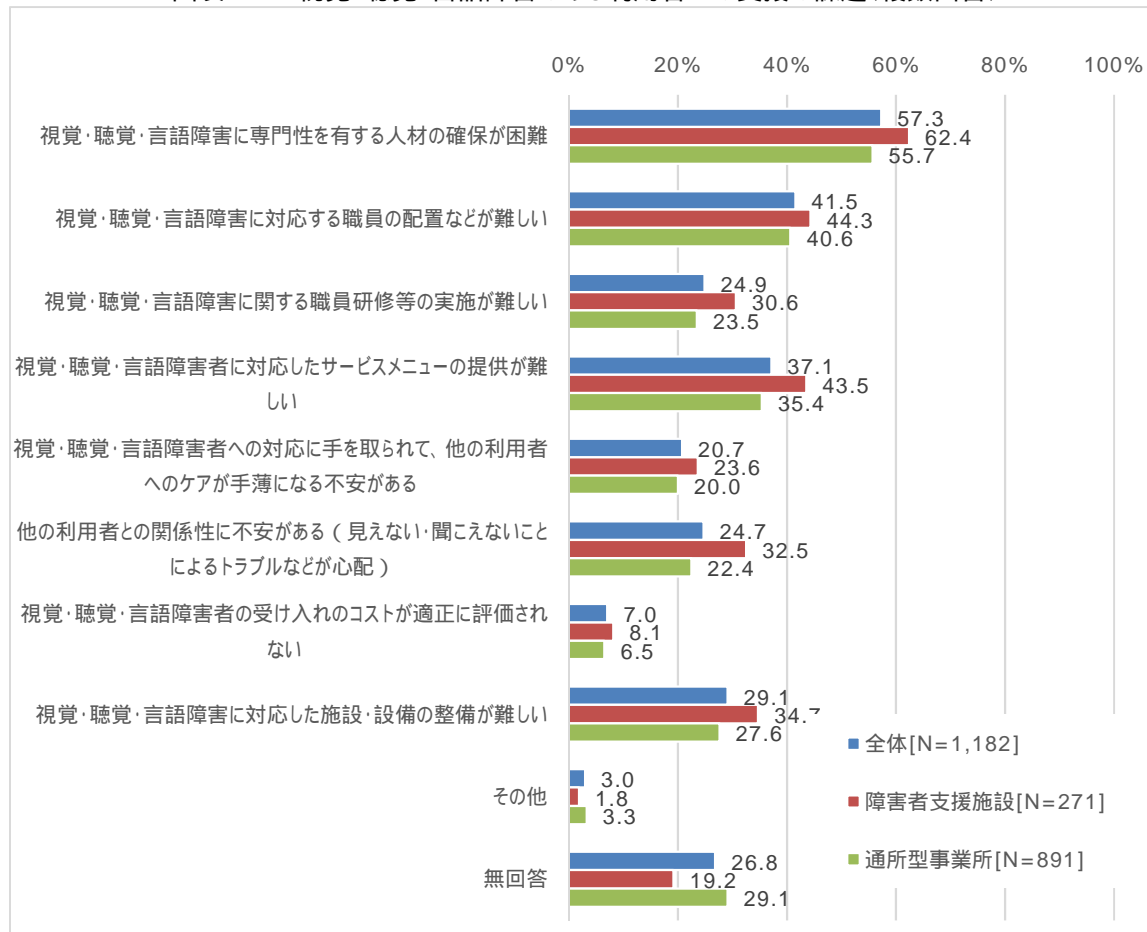
図表 106 視覚・聴覚・言語障害のある利用者への支援を行う職員

平均値（人）	全体[N=345]		
	常勤実人数	非常勤実人数	非常勤換算
視覚・聴覚・言語障害に専門性を有する職員	0.3	0.1	0.1
視覚・聴覚・言語障害に専門性を有さない職員	11.7	6.0	3.2
平均値（人）	障害者支援施設[N=103]		
	常勤実人数	非常勤実人数	非常勤換算
視覚・聴覚・言語障害に専門性を有する職員	0.7	0.1	0.1
視覚・聴覚・言語障害に専門性を有さない職員	23.9	8.3	4.3
平均値（人）	通所型事業所[N=238]		
	常勤実人数	非常勤実人数	非常勤換算
視覚・聴覚・言語障害に専門性を有する職員	0.1	0.1	0.1
視覚・聴覚・言語障害に専門性を有さない職員	6.5	5.0	2.7

視覚・聴覚・言語障害のある利用者への支援の課題

視覚・聴覚・言語障害のある利用者への支援の課題については、「視覚・聴覚・言語障害に専門性を有する人材の確保が困難」が57.3%と最も多く、次いで、「視覚・聴覚・言語障害に対応する職員の配置などが難しい」が41.5%、「視覚・聴覚・言語障害者に対応したサービスメニューの提供が難しい」が37.1%となっている。

図表 107 視覚・聴覚・言語障害のある利用者への支援の課題（複数回答）



(8) サービス提供・サービスメニュー等の状況

サービスごとの延べ利用者数

令和元年9月の最終週1週間のサービスごとの延べ利用者数を聞いたところ、平均で、「健康管理、医療的ケア」が58.3人、「余暇活動の実施（レクリエーション、カラオケ、ビデオ鑑賞、余暇としての買物や散歩等）」が57.2人、「入浴」が45.2人、「生産活動の実施（自主製品の製造販売、下請け・内職作業、労務提供、喫茶店等ショップ経営等）」が44.6人等となっている。

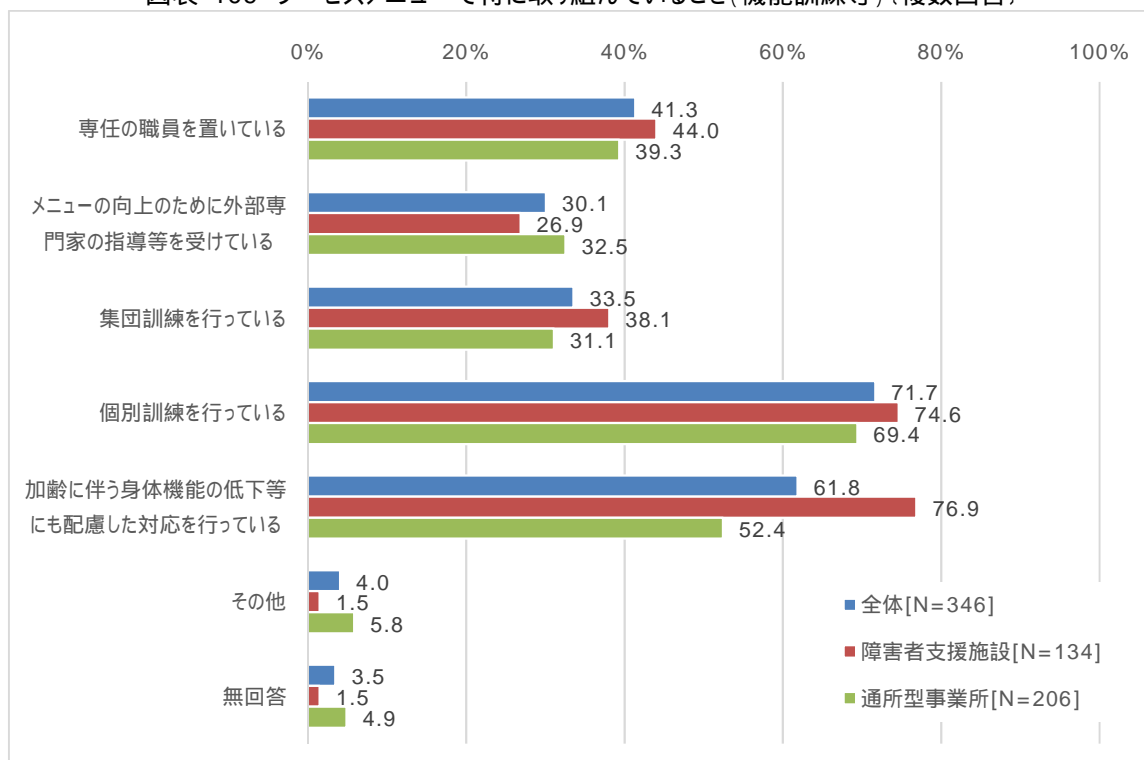
図表 108 サービスごとの延べ利用者数

平均値（人）	全体[N=1,077]			
	総数（延べ人数）	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者（重心以外）
機能訓練等（理学療法、作業療法等）	16.2	2.2	2.3	1.8
健康管理、医療的ケア	58.3	7.8	5.7	7.2
入浴	45.2	7.8	4.0	4.1
生産活動の実施（自主製品の製造販売、下請け・内職作業、労務提供、喫茶店等ショップ経営等）	44.6	6.7	0.8	1.0
創作活動の実施（造形、絵画、園芸等）	32.3	4.0	2.2	2.0
余暇活動の実施（レクリエーション、カラオケ、ビデオ鑑賞、余暇としての買物や散歩等）	57.2	8.7	5.7	3.0
日常生活上の相談支援	15.8	2.9	0.8	1.6
その他（買物、散歩等）	21.6	4.6	0.7	1.2
平均値（人）	障害者支援施設[N=253]			
	総数（延べ人数）	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者（重心以外）
機能訓練等（理学療法、作業療法等）	40.3	5.3	3.6	6.4
健康管理、医療的ケア	147.1	22.2	11.0	25.0
入浴	143.4	28.1	7.9	15.1
生産活動の実施（自主製品の製造販売、下請け・内職作業、労務提供、喫茶店等ショップ経営等）	49.6	10.3	0.6	2.5
創作活動の実施（造形、絵画、園芸等）	62.3	10.1	2.1	7.2
余暇活動の実施（レクリエーション、カラオケ、ビデオ鑑賞、余暇としての買物や散歩等）	109.2	21.2	8.6	9.8
日常生活上の相談支援	38.9	9.0	1.5	6.0
その他（買物、散歩等）	42.3	12.3	0.4	4.3
平均値（人）	通所型事業所[N=812]			
	総数（延べ人数）	うち、強度行動障害を有する者	うち、重症心身障害者	うち、医療的ケアを要する者（重心以外）
機能訓練等（理学療法、作業療法等）	8.6	1.2	1.9	0.4
健康管理、医療的ケア	29.9	3.3	4.2	1.8
入浴	13.4	1.4	2.7	0.7
生産活動の実施（自主製品の製造販売、下請け・内職作業、労務提供、喫茶店等ショップ経営等）	42.9	5.6	0.9	0.6
創作活動の実施（造形、絵画、園芸等）	23.0	2.1	2.2	0.4
余暇活動の実施（レクリエーション、カラオケ、ビデオ鑑賞、余暇としての買物や散歩等）	40.7	4.8	4.8	0.9
日常生活上の相談支援	8.7	1.0	0.6	0.3
その他（買物、散歩等）	15.1	2.2	0.8	0.3

サービスメニューで特に取り組んでいること

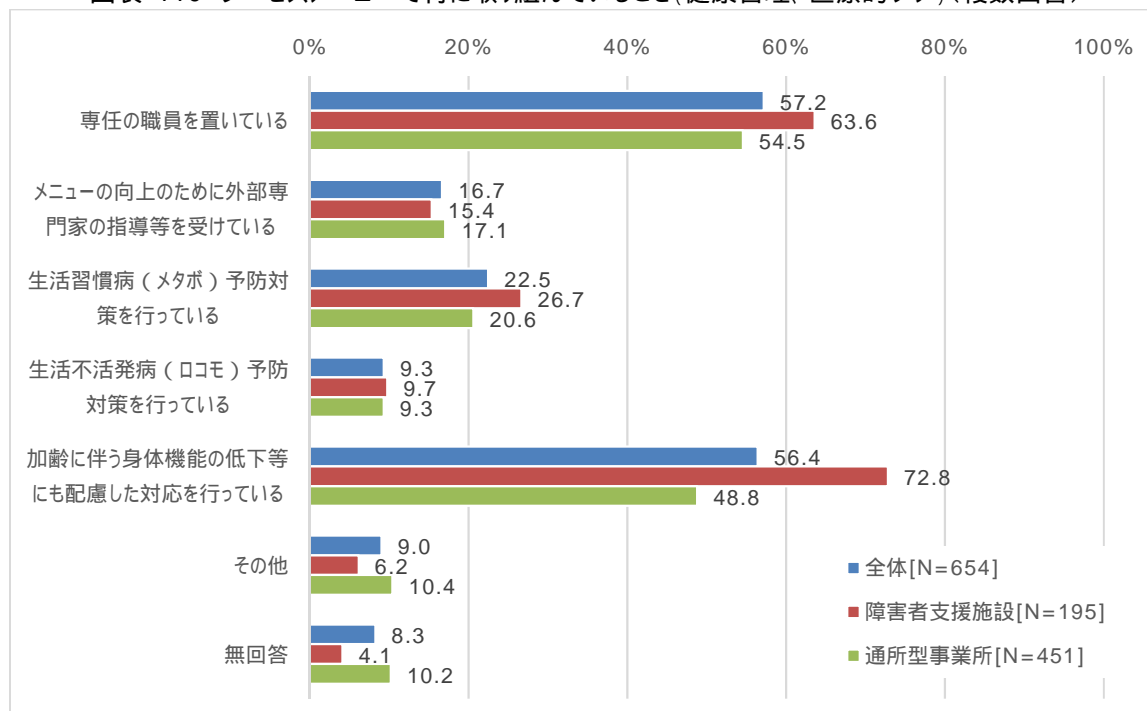
各サービスの利用者がある事業所に、サービスメニューで特に取り組んでいることを聞いたところ、機能訓練等については、「個別訓練を行っている」が71.7%、「加齢に伴う身体機能の低下等にも配慮した対応を行っている」が61.8%等となっている。

図表 109 サービスメニューで特に取り組んでいること(機能訓練等)(複数回答)



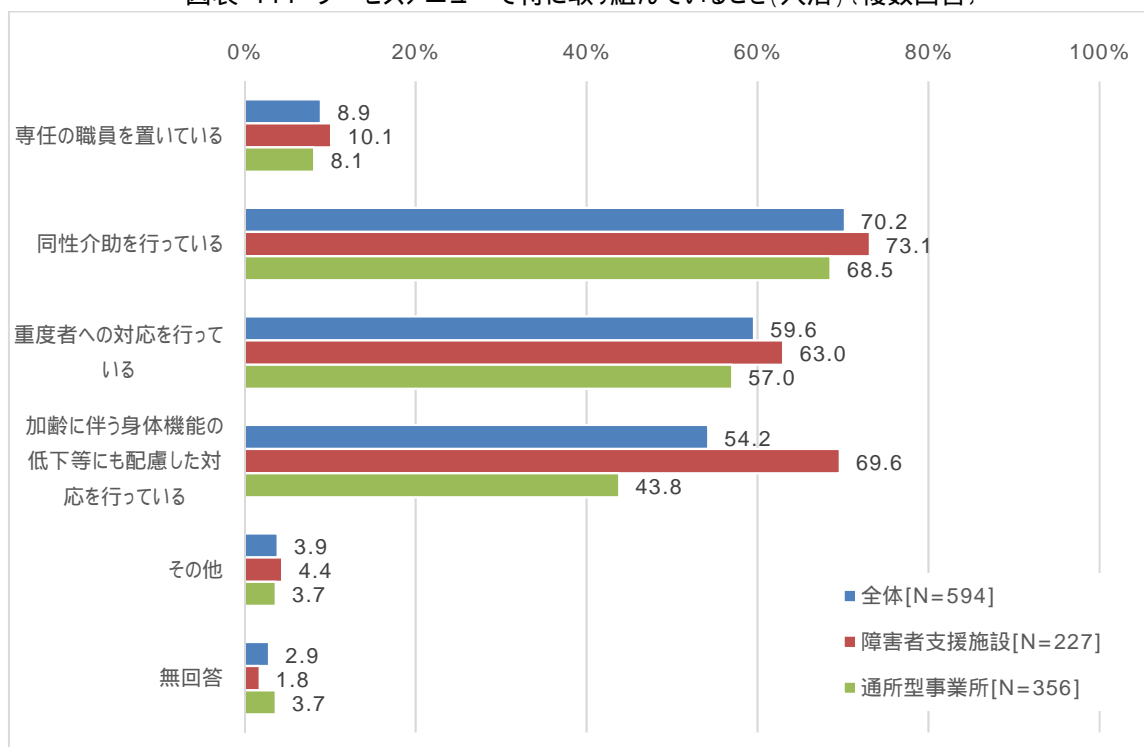
健康管理、医療的ケアについては、「専任の職員を置いている」が57.2%、「加齢に伴う身体機能の低下等にも配慮した対応を行っている」が56.4%等となっている。

図表 110 サービスメニューで特に取り組んでいること(健康管理、医療的ケア)(複数回答)



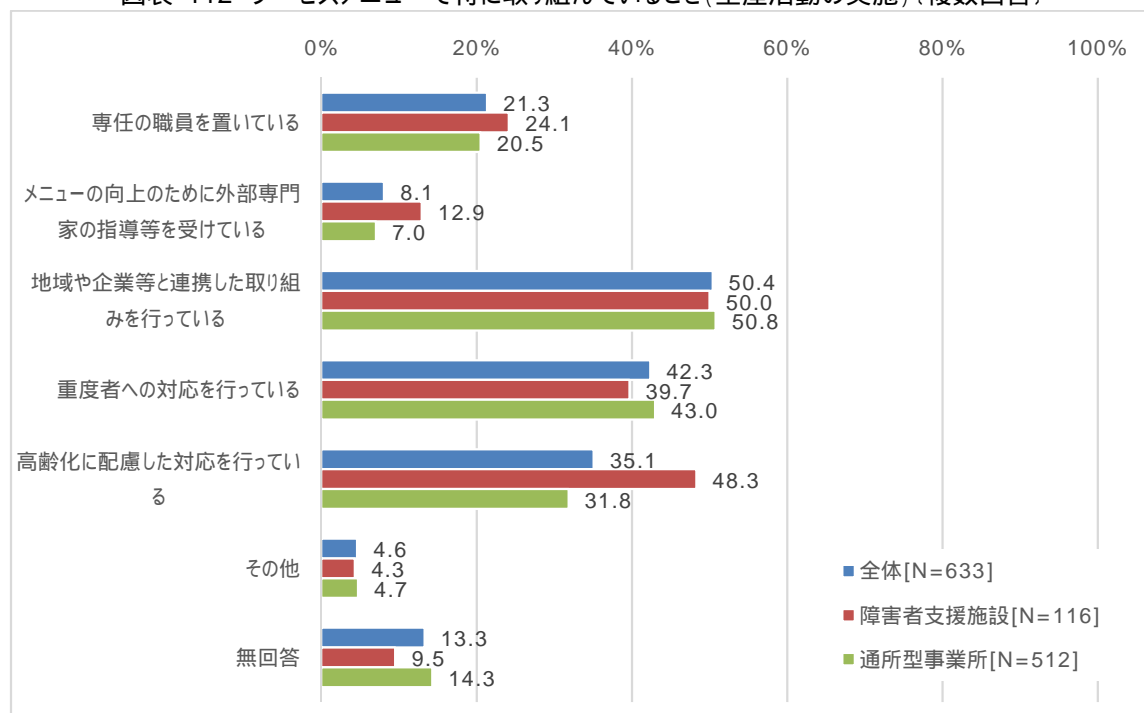
入浴については、「同性介助を行っている」が70.2%、「重度者への対応を行っている」が59.6%、「加齢に伴う身体機能の低下等にも配慮した対応を行っている」が54.2%等となっている。

図表 111 サービスメニューで特に取り組んでいること(入浴)(複数回答)



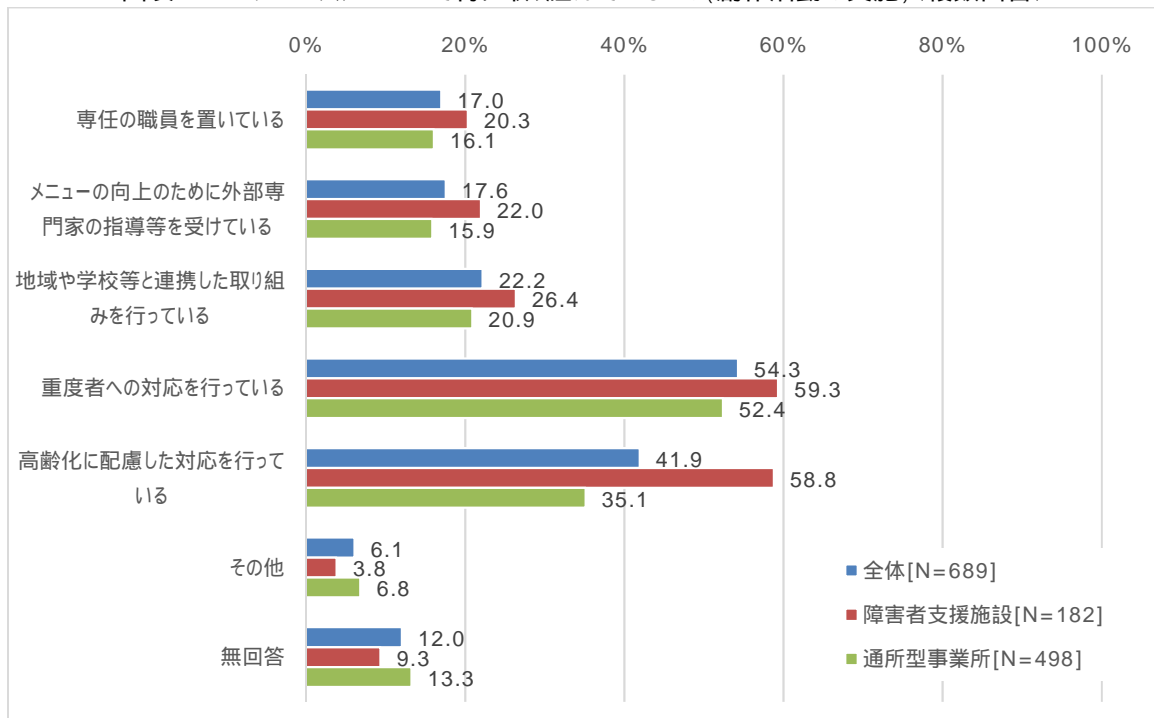
生産活動の実施については、「地域や企業等と連携した取り組みを行っている」が50.4%、「重度者への対応を行っている」が42.3%等となっている。

図表 112 サービスメニューで特に取り組んでいること(生産活動の実施)(複数回答)



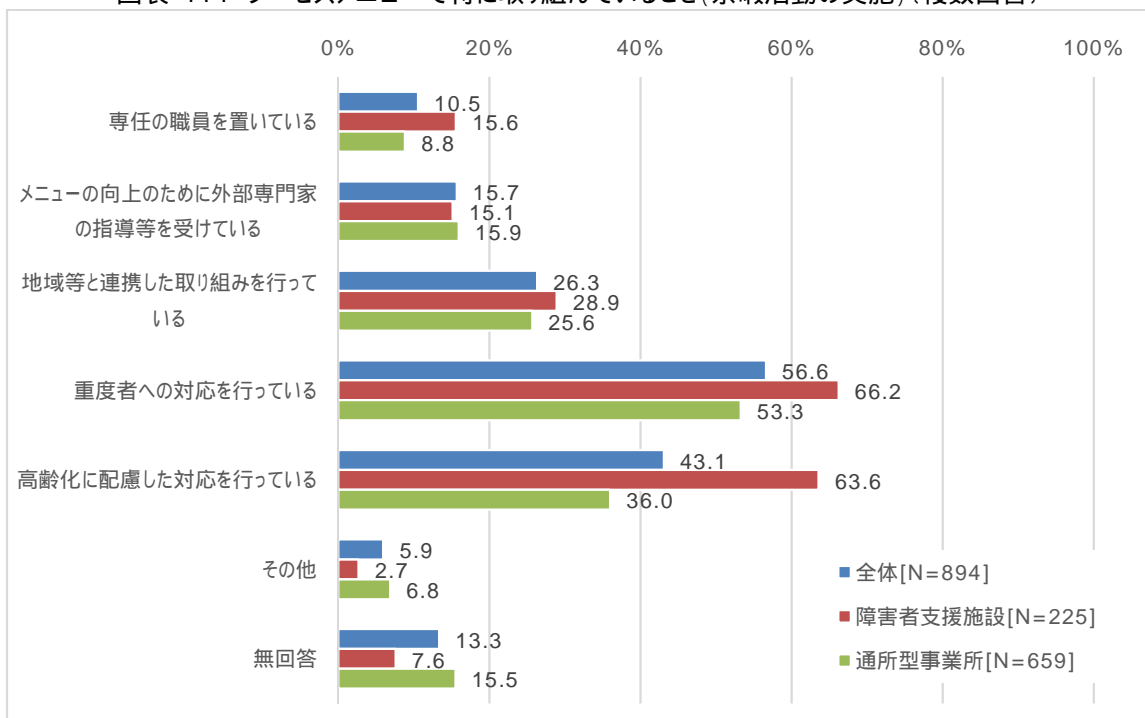
創作活動の実施については、「重度者への対応を行っている」が54.3%、「高齢化に配慮した対応を行っている」が41.9%等となっている。

図表 113 サービスメニューで特に取り組んでいること(創作活動の実施)(複数回答)



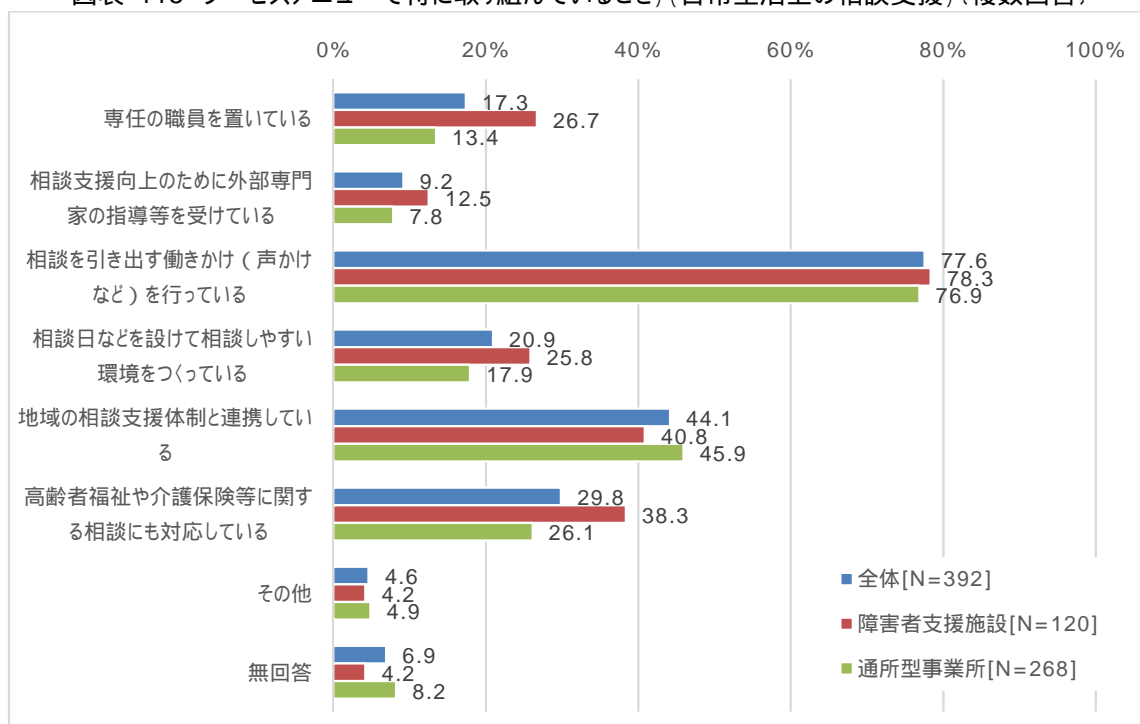
余暇活動の実施については、「重度者への対応を行っている」が56.6%、「高齢化に配慮した対応を行っている」が43.1%等となっている。

図表 114 サービスメニューで特に取り組んでいること(余暇活動の実施)(複数回答)



日常生活上の相談支援については、「相談を引き出す働きかけ（声かけなど）を行っている」が77.6%、「地域の相談支援体制と連携している」が44.1%等となっている。

図表 115 サービスメニューで特に取り組んでいること（日常生活上の相談支援）（複数回答）



平均工賃（賃金）日額

生産活動を実施している事業所に、利用者に支払った平均工賃（賃金）日額について聞いたところ、平成30年度の平均で570.2円、平成29年度の平均で567.4円となっている。

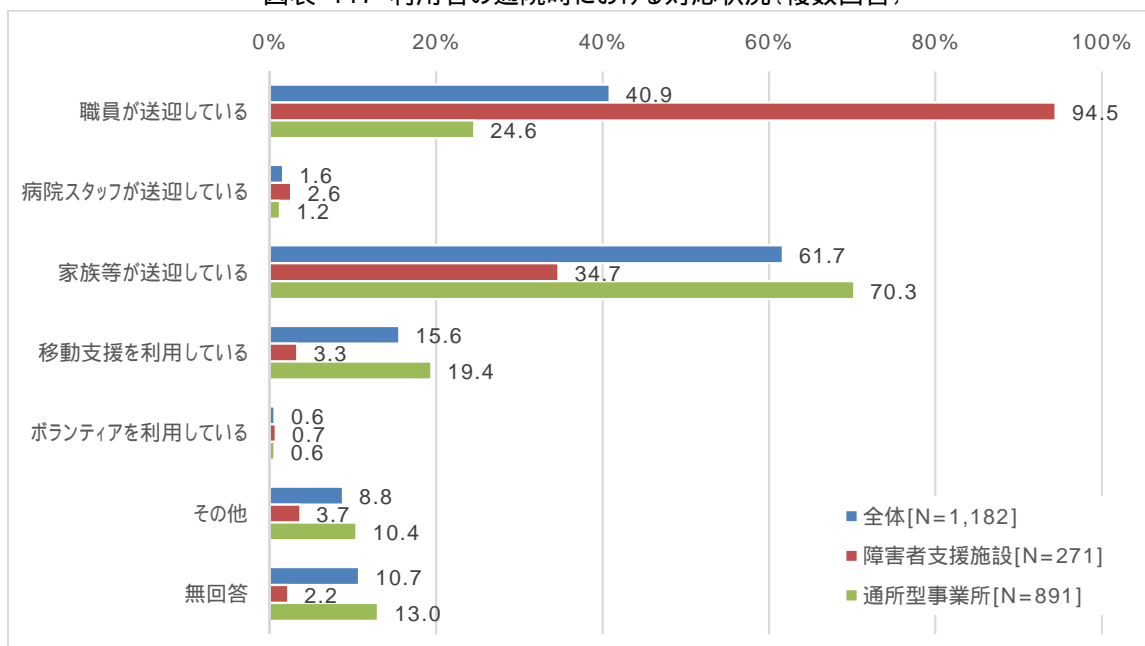
図表 116 平均工賃（賃金）日額

平均値（円）	全体[N=438]	障害者支援施設[N=57]	通所型事業所[N=378]
平成30年度の平均工賃（賃金）日額	570.2	602.7	568.9
	全体[N=404]	障害者支援施設[N=55]	通所型事業所[N=346]
平成29年度の平均工賃（賃金）日額	567.4	615.4	563.5

通院支援の状況

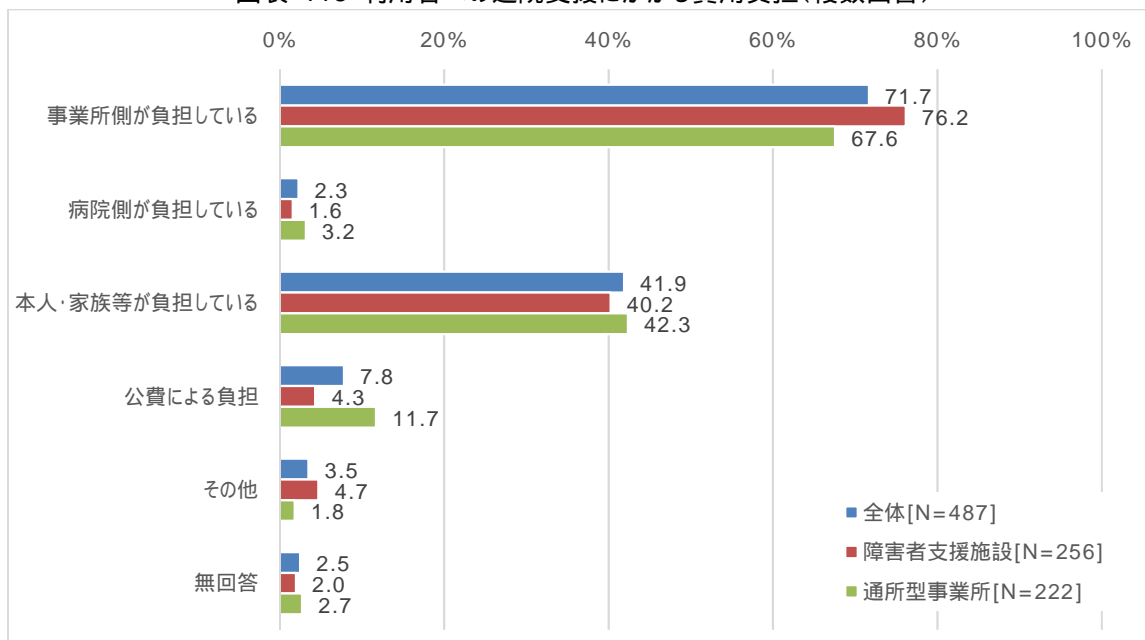
利用者の通院時における対応状況については、「家族等が送迎している」が61.7%、「職員が送迎している」が40.9%等となっている。

図表 117 利用者の通院時における対応状況(複数回答)



職員または病院スタッフが送迎していると回答した事業所に、利用者への通院支援にかかる費用負担について聞いたところ、「事業所側が負担している」が71.7%と多く、次いで、「本人・家族等が負担している」が41.9%となっている。

図表 118 利用者への通院支援にかかる費用負担(複数回答)



令和元年9月の通院支援の状況については、「ひと月の通院にかかる延べ時間数」が平均で1,219.5分、「通院した人の実人数」が10.3人、「通院した人の延べ人数」が18.3人となっている。

図表 119 通院支援

平均値	全体[N=550]	障害者支援施設 [N=172]	通所型事業所 [N=367]
ひと月の通院にかかる延べ時間数(分)	1,219.5	3,014.3	369.7
通院した人の実人数(人)	10.3	24.8	3.1
通院した人の延べ人数(人)	18.3	44.6	5.3

事業所に対応している医療的ケア

事業所に対応している医療的ケアは、「服薬管理」が70.8%、「創傷処置」が32.7%等となっている。

図表 120 事業所に対応している医療的ケア(複数回答)

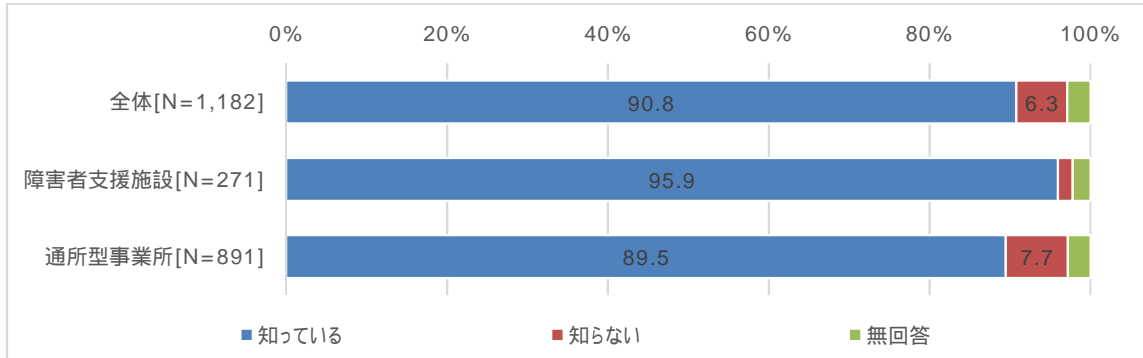
(%)	全体[N=1,182]	障害者支援施設 [N=271]	通所型事業所 [N=891]
レスピレーター管理	4.6	0.7	5.7
気管挿管・気管切開	9.7	4.8	11.1
鼻咽喉エアウェイ	2.1	0.7	2.5
酸素吸入	12.4	11.4	12.5
頻回の吸引(6回/日以上)	12.5	8.1	13.7
ネブライザー(6回/日以上または継続使用)	5.7	4.4	5.8
中心静脈栄養(IVH)	1.0	0.4	1.2
経管(経鼻・胃ろう含む)	23.0	23.2	22.8
腸ろう・腸管栄養	4.5	2.2	5.2
持続注入ポンプ使用(腸ろう・腸管栄養時)	2.3	0.0	2.9
継続する透析(腹膜灌流を含む)	1.1	2.6	0.7
定期導尿(3回/日以上)	4.6	4.8	4.6
人工肛門	8.5	17.0	6.2
持続モニター管理(心拍・血圧・酸素飽和度等)	6.8	1.1	8.4
じょくそうの処置	20.4	41.7	13.6
創傷処置	32.7	57.9	25.0
疼痛管理	7.0	17.0	3.8
インスリン注射	10.8	15.9	9.4
導尿	15.0	26.9	11.2
浣腸	27.2	66.4	14.9
排便	22.5	49.8	14.0
服薬管理	70.8	91.1	64.8
その他	5.3	6.3	4.9
無回答	25.0	7.0	30.2

(9) 第三者評価について

福祉サービス第三者評価制度の認知状況

福祉サービス第三者評価制度の認知状況は、「知っている」が90.8%となっている。

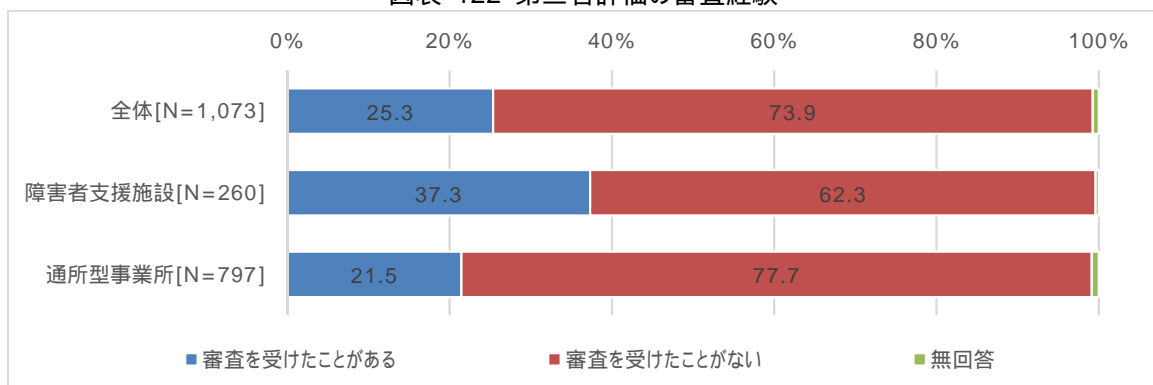
図表 121 福祉サービス第三者評価制度の認知状況



第三者評価の審査経験

第三者評価の審査経験は、「審査を受けたことがない」が73.9%、「審査を受けたことがある」が25.3%となっている。

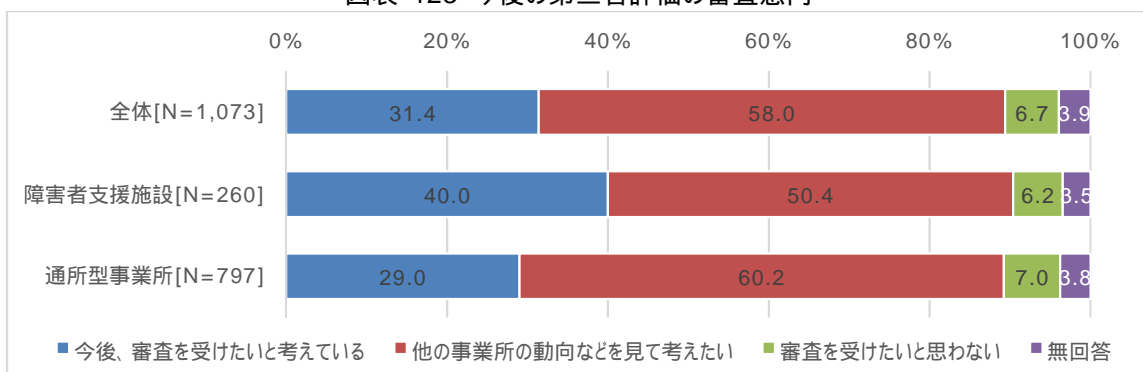
図表 122 第三者評価の審査経験



今後の第三者評価の審査意向

今後の第三者評価の審査意向は、「他の事業所の動向などを見て考えたい」が58.0%、「今後、審査を受けたいと考えている」が31.4%となっている。

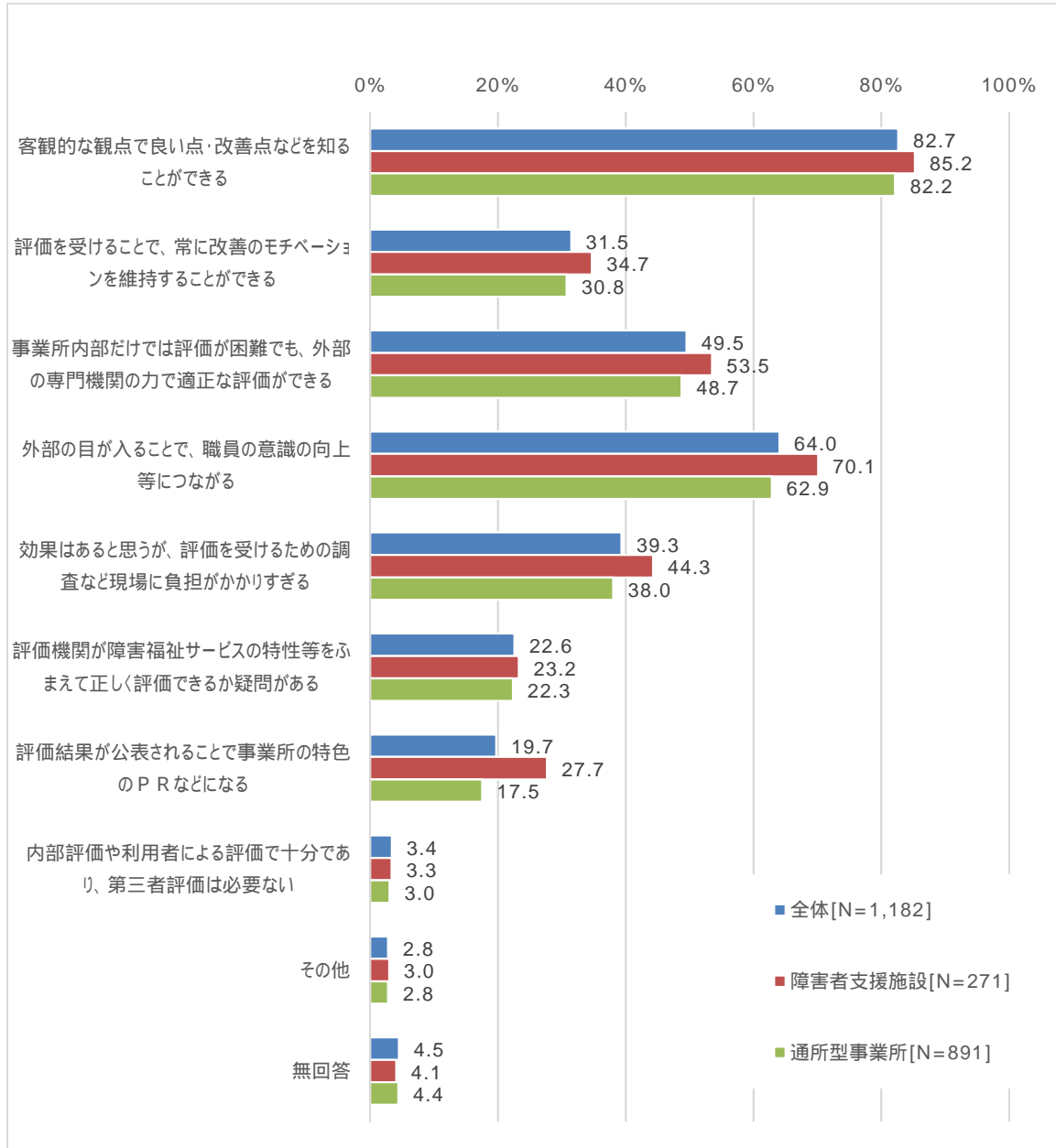
図表 123 今後の第三者評価の審査意向



第三者評価を受けることについて

第三者評価を受けることについては、「客観的な観点で良い点・改善点などを知ることができる」が82.7%と最も多く、次いで、「外部の目が入ることで、職員の意識の向上等につながる」が64.0%、「事業所内部だけでは評価が困難でも、外部の専門機関の力で適正な評価ができる」が49.5%等となっている。

図表 124 第三者評価を受けることについて(複数回答)

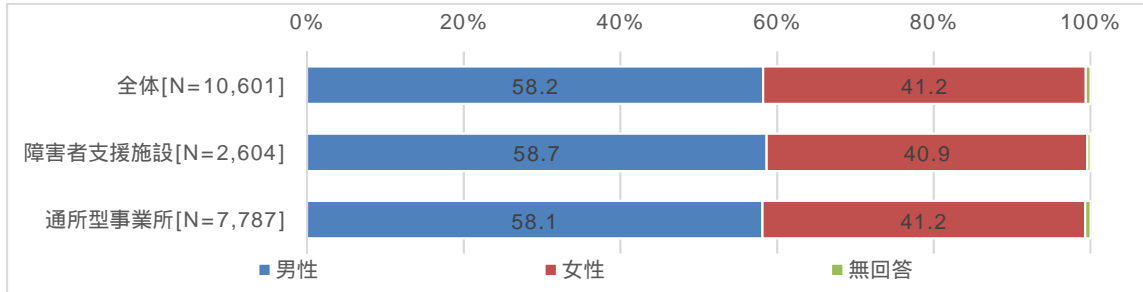


(10) 利用者の状況

性別

性別は、「男性」が58.2%、「女性」が41.2%となっている。

図表 125 性別



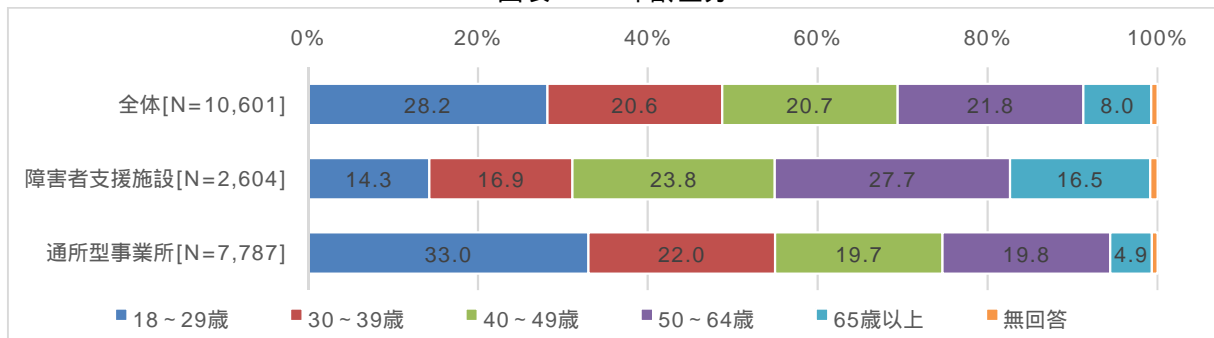
年齢

年齢は、平均で41.3歳となっている。年齢区分で見ると、「18～29歳」が28.2%、「50～64歳」が21.8%、「40～49歳」が20.7%、「30～39歳」が20.6%、「65歳以上」が8.0%となっている。

図表 126 年齢

平均値 (歳)	全体 [N=10,521]	障害者支援施設 [N=2,582]	通所型事業所 [N=7,736]
年齢	41.3	48.0	38.9

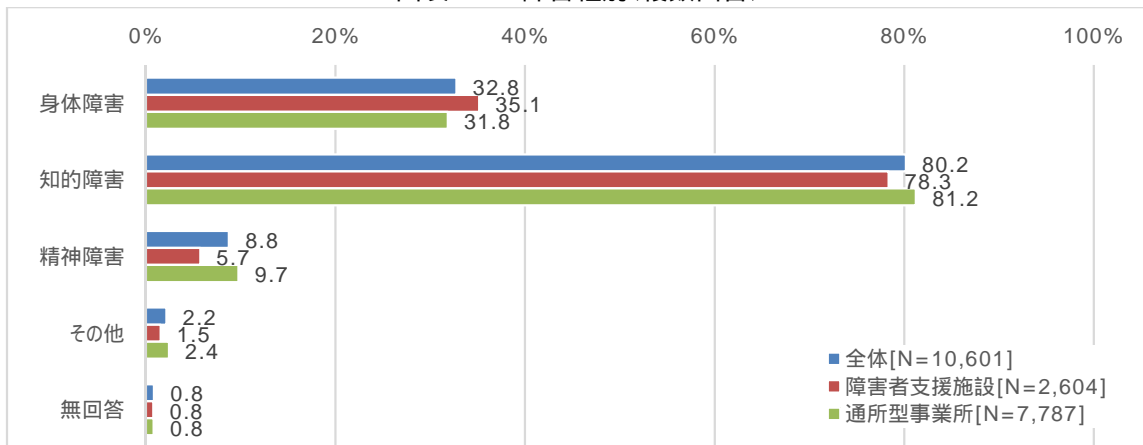
図表 127 年齢区分



障害種別

障害種別は、「知的障害」が80.2%、「身体障害」が32.8%等となっている。

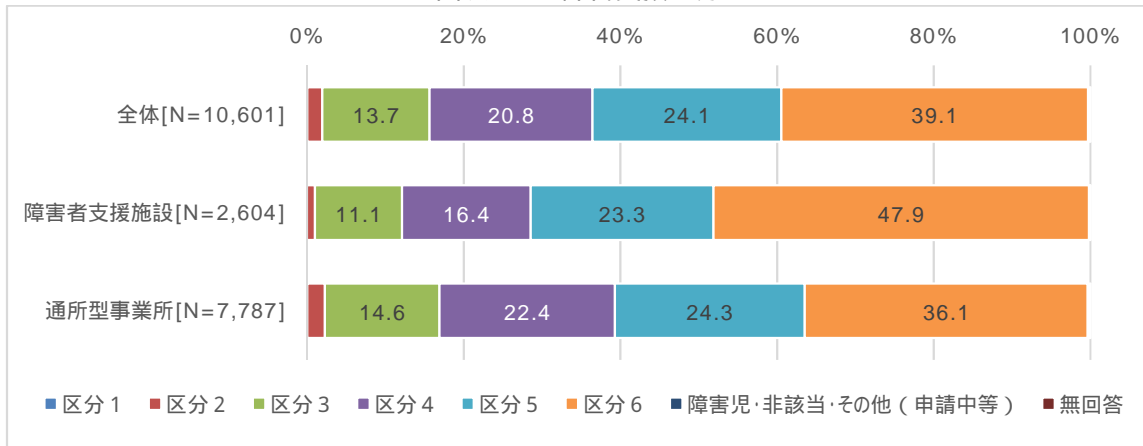
図表 128 障害種別〔複数回答〕



障害支援区分

障害支援区分は、「区分6」が39.1%と最も多く、次いで、「区分5」が24.1%、「区分4」が20.8%となっている。

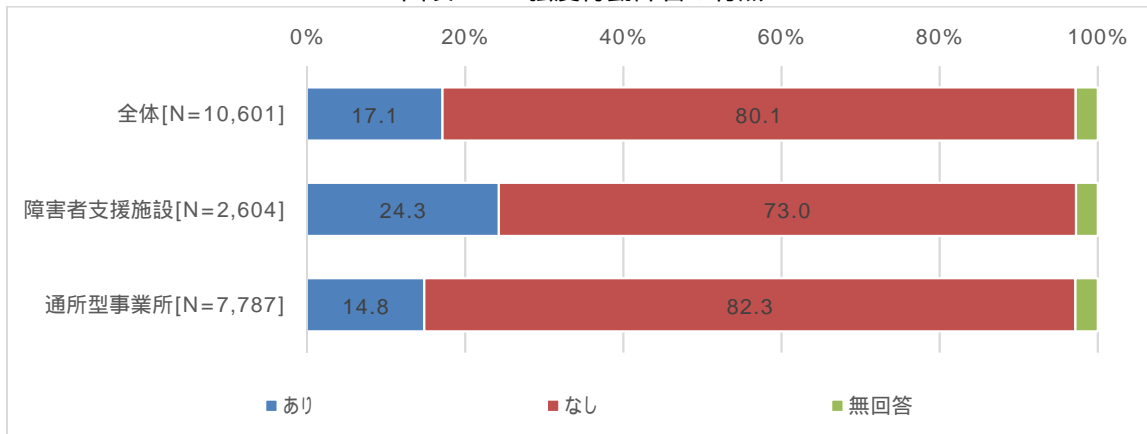
図表 129 障害支援区分



強度行動障害の有無

強度行動障害の有無は、「なし」が80.1%、「あり」が17.1%となっている。

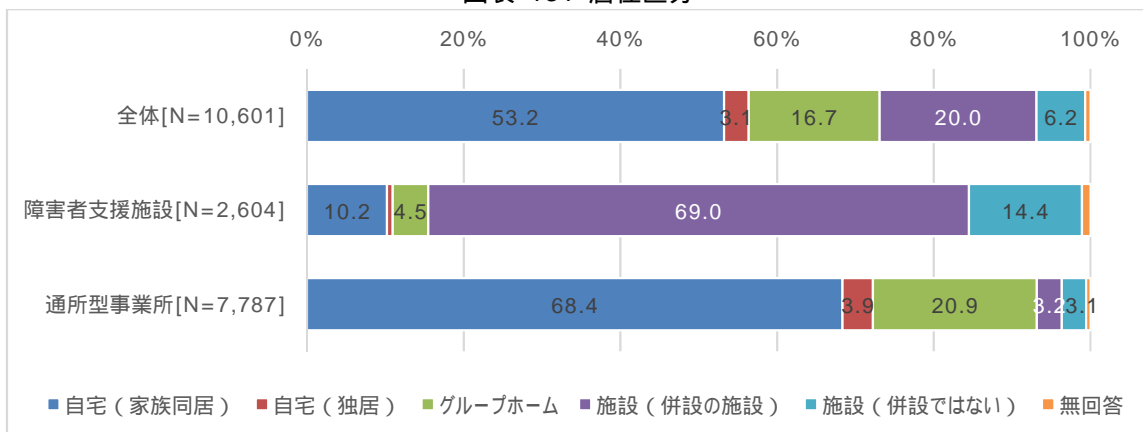
図表 130 強度行動障害の有無



居住区分

居住区分は、「自宅(家族同居)」が53.2%、「施設(併設の施設)」が20.0%、「グループホーム」が16.7%となっている。

図表 131 居住区分



利用日数

令和元年9月の利用日数を聞いたところ、平均で17.4日となっている。

図表 132 利用日数

平均値（日）	全体[N=10,465]	障害者支援施設 [N=2,573]	通所型事業所 [N=7,688]
利用日数	17.4	20.7	16.2

利用時間

令和元年9月の月末1週間の利用時間を聞いたところ、総利用時間の平均は22.9時間、内訳は、「生産活動の実施」が6.9時間、「余暇活動の実施」が6.1時間、「創作活動の実施」が2.8時間等となっている。

図表 133 利用時間

平均値（時間）	全体[N=9,939]	障害者支援施設 [N=2,393]	通所型事業所 [N=7,350]
総利用時間	22.9	25.8	22.0
機能訓練等	0.9	1.3	0.7
健康管理	1.4	2.3	1.1
入浴	0.8	2.2	0.4
生産活動の実施	6.9	3.6	8.1
創作活動の実施	2.8	3.2	2.6
余暇活動の実施	6.1	7.9	5.5
日常生活上の相談支援	0.5	0.8	0.4
その他	3.4	4.3	3.2

医療的ケアの状況

医療的ケアの状況については、行っていない（無回答）利用者が56.1%となっている。実施している医療的ケアとしては、「服薬管理」が37.5%と比較的多くなっている。

図表 134 医療的ケアの状況

（％）	全体[N=10,601]	障害者支援施設 [N=2,604]	通所型事業所 [N=7,787]
レスピレーター管理	0.5	0.0	0.7
気管挿管・気管切開	1.5	0.3	1.8
鼻咽喉エアウェイ	0.2	0.1	0.2
酸素吸入	0.7	0.3	0.9
頻回の吸引（6回/日以上）	1.8	0.3	2.3
ネブライザー（6回/日以上または継続使用）	0.3	0.1	0.4
中心静脈栄養（IVH）	0.0	0.0	0.0
経管（経鼻・胃ろう含む）	3.8	2.3	4.2
腸ろう・腸管栄養	0.2	0.0	0.3
持続注入ポンプ使用（腸ろう・腸管栄養時）	0.1	0.0	0.1
継続する透析（腹膜灌流を含む）	0.2	0.5	0.1
定期導尿（3回/日以上）	0.3	0.3	0.3
人工肛門	0.3	0.8	0.2
持続モニター管理（心拍・血圧・酸素飽和度等）	1.0	0.1	1.3
じょくそうの処置	1.0	1.5	0.8
創傷処置	4.8	8.9	3.5
疼痛管理	1.0	2.2	0.6
インスリン注射	0.5	0.8	0.4
導尿	1.0	1.2	0.9
浣腸	2.7	8.2	0.8
排便	1.1	2.7	0.6
服薬管理	37.5	73.5	25.0
その他	4.9	4.1	5.2
無回答	56.1	24.2	67.2

たんの吸引回数等

令和元年9月の利用最終日におけるたんの吸引回数等を聞いたところ、「たんの吸引回数」は平均0.3回、「経管栄養回数」は平均0.1回となっている。

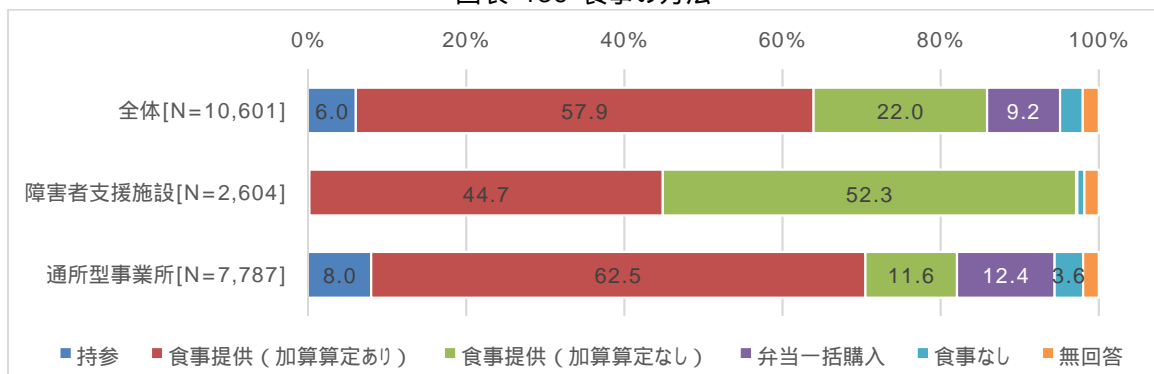
図表 135 たんの吸引回数等

平均値（回）	全体[N=5,619]	障害者支援施設 [N=1,409]	通所型事業所 [N=4,094]
たんの吸引回数	0.3	0.1	0.3
経管栄養回数	0.1	0.1	0.1

食事の方法

食事の方法は、「食事提供（加算算定あり）」が57.9%、「食事提供（加算算定なし）」が22.0%となっている。

図表 136 食事の方法



入浴回数

令和元年9月の月末1週間の入浴回数を聞いたところ、平均で1.8回となっている。

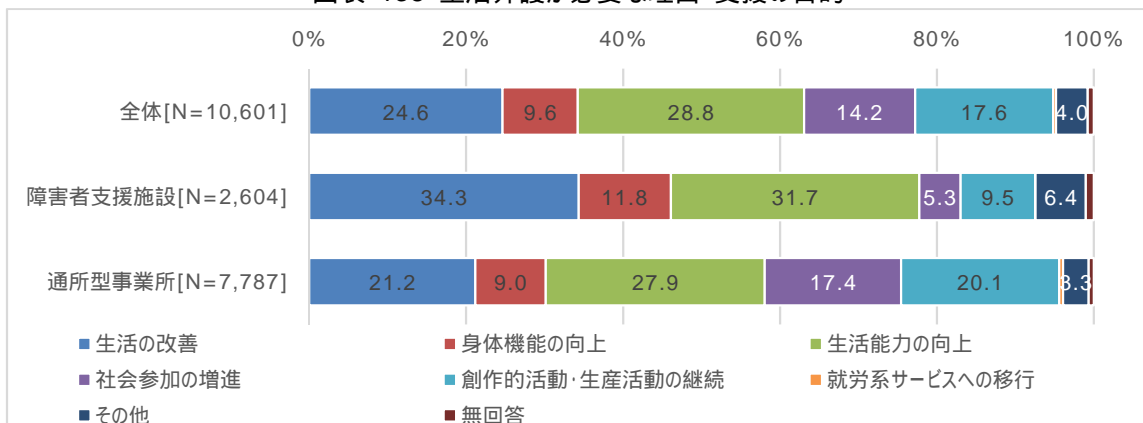
図表 137 入浴回数

平均値（回）	全体[N=7,960]	障害者支援施設 [N=2,405]	通所型事業所 [N=5,367]
入浴回数	1.8	3.5	1.0

生活介護が必要な理由・支援の目的

生活介護が必要な理由・支援の目的は、「生活能力の向上」が28.8%、「生活の改善」が24.6%、「創作的活動・生産活動の継続」が17.6%等となっており、比較的分散している。

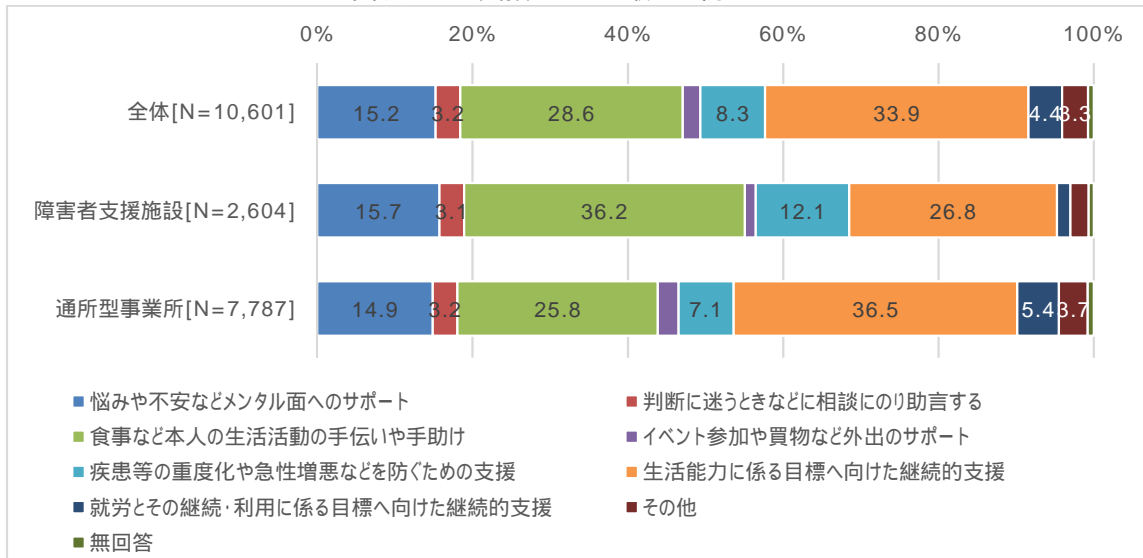
図表 138 生活介護が必要な理由・支援の目的



支援において最も重視したこと

支援において最も重視したことは、「生活能力に係る目標へ向けた継続的支援」が33.9%、「食事など本人の生活活動の手伝いや手助け」が28.6%等となっている。

図表 139 支援において最も重視したこと



支援についての職員の負担度

支援についての職員の負担度は、「中等度」が33.2%、「重度」が32.9%等となっており、中～重度が多くなっている。

図表 140 支援についての職員の負担度

